P3PC-1032-01C2

FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ

“Scanner Utility for Microsoft® Windows®”

バージョン 9.15

取扱説明書

Microsoft® Windows®98，Windows®Me，Windows®2000 および Windows®XP をお使いの場合

（※Microsoft® Windows®95，またはWindows NT® 4.0をお使いの場合は、
バージョン8.15 取扱説明書をご覧ください。）

FUJITSU

はじめに

“Scanner Utility for Microsoft® Windows® V9.15”をご購入いただきありがとうございます。本ソフトウェアは､当社イメージスキャナ装置に対応した TWAIN 準拠イメージスキャナドライバ(以降、単に「ドライバ」、または「本ドライバ」)および各種ユーティリティソフトウェアを含んでいます。

本書では、その概要およびインストール方法から操作について説明しており、正しくお使いいただくためのものですので、ご使用前に必ずお読みいただくことを強く推奨いたします。
また、本書に記載されない最新の注意事項に関しては、CD-ROM に含まれる README.TXT をお読み下さい。なお、本書では、各製品を次のように略記しておりますので、あらかじめご了承ください。

- 「Microsoft® Windows® 95 operating system」:「Windows® 95」
- 「Microsoft® WindowsNT® Workstation operating system Version 4.0」
  および「Microsoft® WindowsNT® Server operating system Version 4.0」
  :「WindowsNT® 4.0」
- 「Microsoft® Windows® 98 operating system」:「Windows® 98」
- 「Microsoft® Windows® 2000 Professional」:「Windows® 2000」
- 「Microsoft® Windows® Millennium Edition」:「Windows® Me」
- 「Microsoft® Windows®XP」:「Windows®XP」

Windows® 95、Windows® 98、WindowsNT® 4.0、Windows® 2000、Windows® Me および Windows®XP すべてをさす場合は、単に「Windows®」と記載します。また、特に記載しない限り、説明内容は、「Windows® 95」､「Windows® 98」、「WindowsNT® 4.0」、「Windows® 2000」、「Windows®Me」および「Windows®XP」のすべてを含みます。

Microsoft、Windows および、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel、MMX、Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。
Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の登録商標です。
ISIS、QuickScan およびそれらのロゴは、Pixel Translations（Captiva Software Corporation）の商標および米国における登録商標です。
Adaptec は、Adaptec Inc.の登録商標です。
EZ-SCSI は、Adaptec Inc.の商標です。
その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

［高度な安全性が要求される用途への使用について］

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客さまは本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客さまがハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切責任を負いかねます。

Copyright© PFU LIMITED 2004

本書の構成について

本書は、本ドライバのインストールから、ドライバの使い方について説明しています。

- **インストール**
  本ドライバが動作する環境一式をインストールする手順について説明します。
- **ドライバの使い方**
  ドライバの使い方について説明します。
- **ガンマ補正パターン編集ユーティリティの使い方**
- **スキャナとカメラのプロパティの使い方**
  スキャナとカメラのプロパティについて説明します。
- **トラブルシューティング**
  エラーメッセージの原因や対策、操作や動作に関するトラブルの対処などについて説明します。
- **付録**
  イメージスキャナの仕様が記載されます。

目　次

1. 概　要 1

1.1. 本ドライバの特徴 1

1.2. 動作環境 1

1.3. 用例 3

1.4. 用語の説明 4

2. ＴＷＡＩＮについて 5

2.1. ＴＷＡＩＮとは 5

2.2. ＴＷＡＩＮのしくみ 6

3. インストール 7

3.1. 準備 7

3.2. スキャナドライバのインストール 8

3.3. アンインストール 17

4. ドライバの使い方 18

4.1. ドライバの選択 18

4.2. 画面構成 18

4.2.1. 画像処理ソフトウェアオプションとの連携について 19

4.3. ドライバ情報の表示 20

4.4. イメージ読み取り情報の設定 22

4.5. ドライバ動作指定 35

4.6. 「読取領域」の設定方法について 38

4.7. オプションの設定 39

4.7.1. 回転 40

4.7.2. 動作 44

4.7.3. 全般 50
4.7.4. インプリンタ（エンドーサ） 51
4.7.5. 起動 57
4.7.6. フィルタ 62
4.7.7. 圧縮 67
4.8. 詳細オプションの設定 68
4.8.1. 濃度補正 69
4.8.2. 画像処理 73
4.8.3. 自動ニ値 76
4.8.4. カラー設定時（／グレースケール設定時） 80
4.9. 設定管理オプションの設定 87
4.10. 簡易ダイアログについて 90
4.11. ダウンロードパターンファイルについて 93
5. ガンマ補正パターン編集ユーティリティの使い方 97
5.1. 起動方法 97
5.2. ［ファイル］メニュー 98
5.3. ［ヘルプ］メニュー 98
5.4. ガンマ補正パターンの編集 99
6. スキャナとカメラのプロパティの設定 101
6.1. スキャナとカメラプロパティの表示 101
6.2. 全般タブ 101
6.3. イベントタブ 102
6.4. 診断タブ 105
6.5. 装置情報タブ 106
6.6. 装置設定タブ 107
6.7. バージョン情報タブ 112
6.8. 色の管理タブ 112

6.9. スキャナとカメラのウィザードによる読み取り 113

7. トラブルシューティング.....117

7.1. メッセージ 117

7.1.1. ドライバに関するメッセージ..... 117

7.1.2. ガンマ補正パターン編集ユーティリティに関するメッセージ..... 131

7.2. 操作に関するトラブル 133

7.3. インストールに関するトラブル..... 135

8. 付　録.....136

8.1. イメージスキャナの仕様..... 136

8.2. 保守サービスについて 198

1. 概　要

1.1. 本ドライバの特徴

イメージスキャナの世界標準仕様である「ＴＷＡＩＮ」規約の最新版である V1.9（2004 年 5 月現在）に準拠しており、TWAIN に準拠している多くのアプリケーションでそのままお使いいただくことができます。

「両面読み取り」機能を持つイメージスキャナにも対応しています。アプリケーションが連続読み取りに対応していれば、両面の原稿を読み取ることができます。

1.2. 動作環境

本ドライバは、下記システムで使用することができます。

<SCSI 接続の場合>

・Intel® Pentium® プロセッサおよびその互換 CPU を搭載したパーソナルコンピュータ　（推奨 Intel® Pentium® 100MHz 以上）

・下記のいずれかのオペレーティングシステム

Microsoft® Windows® 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition
Microsoft® Windows® 2000
Microsoft® Windows® XP

注意

Windows® 95,または Windows NT® 4.0 の場合は、FUJITSU TWAIN32 バージョン 8.15 がインストールされます。
「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ バージョン 8.15 取扱説明書」をご覧ください。

・Adaptec® SCSI アダプターまたは、FUJITSU FMV SCSI アダプター

※ 一部動作しないものが有りますので、事前に販売店にご確認下さい。

※ また、インストール媒体に含まれる README.TXT に確認済 SCSI アダプターに関する注意事項を記載しておりますので使用前に一読下さい。

・RAM 32MB 以上 (64MB 以上推奨)

・ハードディスク空き容量 10MB 以上 (画像保存のための領域は除きます。)

・CD-ROM ドライブ (インストール時必要になります.)

・マウス (推奨)

<USB 接続の場合>

・Intel® Pentium® プロセッサおよびその互換CPUを搭載したパーソナルコンピュータ （推奨 Intel® Pentium® 100MHz 以上）

・下記のいずれかのオペレーティングシステム

Microsoft® Windows®98
Microsoft® Windows® Millennium Edition
Microsoft® Windows®2000
Microsoft® Windows®XP

・USB ポート

・RAM 32MB 以上 (64MB 以上推奨)

・ハードディスク空き容量 10MB 以上 (画像保存のための領域は除きます。)

・CD-ROM ドライブ (インストール時必要になります.)

・マウス (推奨)

1.3. 用例

本書の文中に出てくる記述について、以下の規則にしたがっています。

◇ **メニューやボタンについて**

プログラムで参照するメニューやボタンは［］で囲んであります。

例）　［ファイル］メニュー

　　［ＯＫ］ボタン

◇ **キーの表記について**

キートップの表記は、FUJITSU FMV シリーズ標準キーボードに準拠しています。

以下に、異なるキーボードを使用する場合の主な違いについて記述します。

文中	その他の表記
Alt	前面，GRPH
Ctrl	CTRL
Esc	ESC
Enter	改行，↵
Shift	SHIFT
Back Space	後退，BS
F1	PF1, f･1

◇ **マウスの操作に関する用語**

主なマウス操作に関する用語について説明します。

クリック	左ボタンを押して離すこと
ダブルクリック	左ボタンをすばやく２回押すこと
ドラッグ	左マウスのボタンを押したまま、マウス本体を移動すること

◇　操作手順に関する表記

いくつかのメニューを順に操作する必要がある場合、以下のように記述します。

[Ａ]－[Ｂ]－[Ｃ]

これは、[Ａ]を選択した後に[Ｂ], [Ｃ]という順番に操作することを意味します。

◇ **図**

本書内の図や画面操作は、特に記載のない限り、全て日本語 Microsoft® Windows® XP を対象としており、他のオペレーティングシステムをお使いの場合には、これに準じた形になります。

また、接続されたスキャナの機種およびインストールされている製品の版数などにより、表示内容が多少異なる場合が有りますのでご注意下さい。

1.4. 用語の説明

◇ **画像処理オプションボード**

本書内の IPC-2/2D は、IPC-2 および IPC-2D 画像処理回路、

IPC-3/3D は、IPC-3 および IPC-3D 画像処理回路、

IPC-4D は、IPC-4D 画像処理回路のことを表します。

2. ＴＷＡＩＮについて

2.1. ＴＷＡＩＮとは

ＴＷＡＩＮ（“トゥェイン”）は、ソフトウェア・アプリケーションとイメージスキャナなどの画像入力装置との間のやり取りを行うための、標準ソフトウェア・プロトコルとＡＰＩ（アプリケーション・プログラミング・インターフェース）を定義した仕様です。

【TWAIN 開発の背景】

従来のイメージスキャナ開発においては、開発するスキャナに対応したドライバ、サンプルプログラム（デモプログラム）を作成する必要があり、また、機能の追加や性能の向上に応じてドライバのバージョンアップあるいは最初から機種対応に作成しなおす必要がありました。また、ユーザーにとってみれば、装置が変わるたびに操作方法が違うといったわずらわしさなどもありました。

そこで、標準化が必要となり、「ＴＷＡＩＮ」が開発されました。

ＴＷＡＩＮの仕様に対応している入力装置とソフトウェア（ドライバ／アプリケーション）の組み合わせであれば、メーカに関係なく画像の取り込みを行うことができます。

2.2. ＴＷＡＩＮのしくみ

ＴＷＡＩＮの要素には、以下の３つのソフトウェアがあります。

① アプリケーション・ソフトウェア

② ソース・マネージャ

③ ソース

それぞれの要素は、下図のような関係になっています。

図　TWAIN のしくみ

3. インストール

3.1. 準備

1. オペレーティングシステムが正しく組み込まれていることを確認してください。

2. SCSI 接続の場合は、コンピュータ本体に SCSI アダプターが接続され、正しく動作していることを確認してください。
   USB 接続の場合は、コンピュータ本体に USB ポートが搭載されていることを確認してください。

3. インストール先ハードディスクに十分な空き容量があることを確認してください。

4. 旧バージョンの FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバが既にインストールされている場合は、アンインストール（削除）してください。

注意	**旧バージョンをアンインストールする場合は、［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］で、「Scanner Utility for Microsoft Windows」を削除してください。（→3.3 章参照）**

5. パソコンの電源を切断してください。

6. スキャナをご使用のパソコンに接続してください。

注意	**スキャナの接続方法については、装置添付の「オペレーターガイド」を参考にしてください。**

3.2. スキャナドライバのインストール

注意 Windows® XP の画面を例に説明しています。ご使用の OS によって、表示される画面および操作が若干異なります。

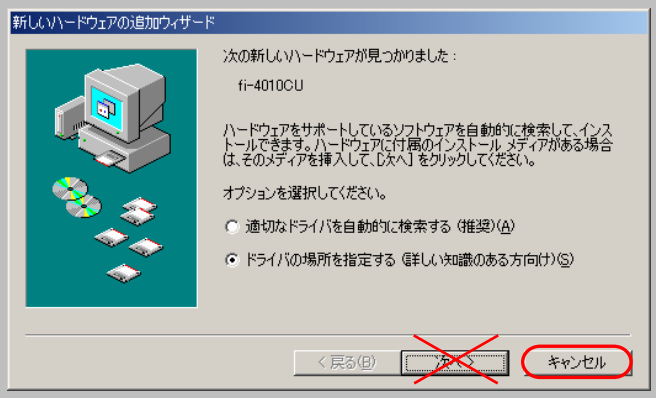
1. スキャナの電源を入れます。
2. パソコンの電源を入れて、Windows®にログオンします。

注意 Windows® 2000 または Windows® XP をご使用の場合は、“Administrator"の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

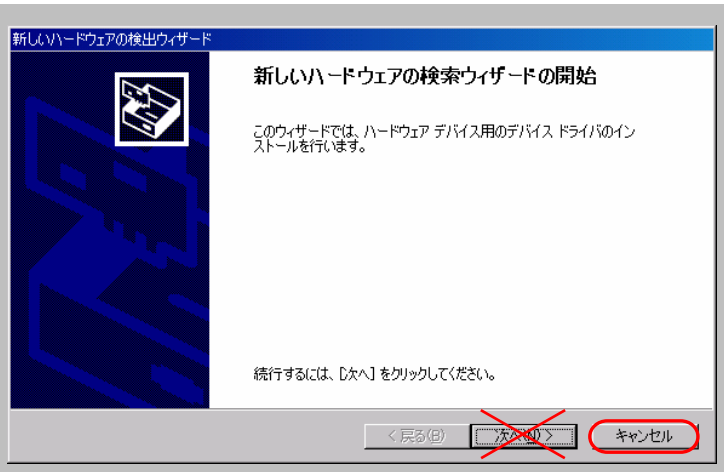
注意 スキャナが自動認識されて「新しいハードウェアの検出ウィザード」（または、「新しいハードウェアの追加ウィザード」）画面が表示される場合があります。ここでは、［**キャンセル**］ボタンをクリックして、ウィザード画面を閉じてください。

（※ご使用の OS によって、画面が異なります。）

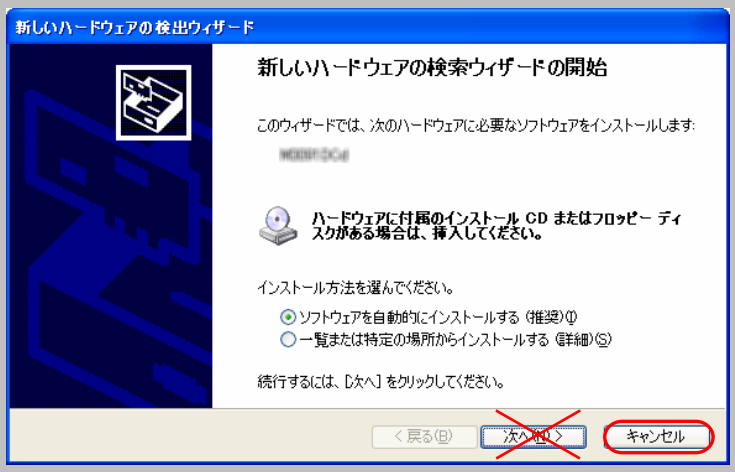
Windows® 98 の場合



Windows® Me の場合



Windows® 2000 の場合



Windows® XP の場合

3. 「スキャナドライバ CD-ROM」を CD ドライブにセットします。

⇒＜セットアップディスク起動画面＞が表示されます。

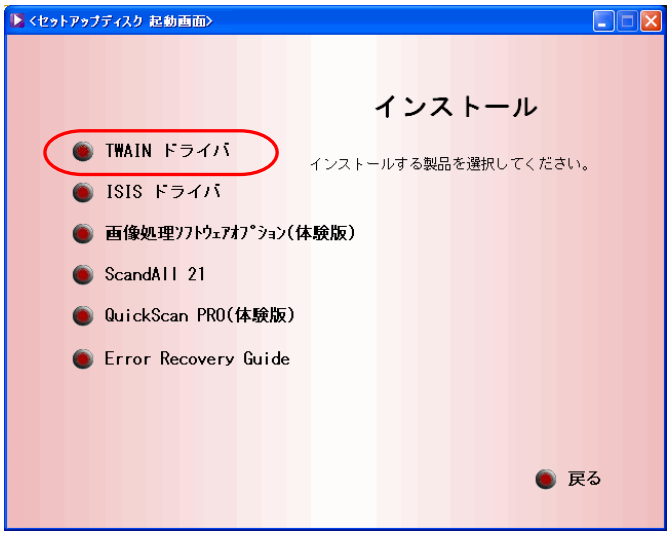
注意

お使いのパソコンの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、＜セットアップディスク起動画面＞が自動表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の“**Install.exe**”を直接実行してください。

4. 以下の画面で、「インストール」をクリックします。

（※ご使用のスキャナによって、画面が異なる場合があります。）

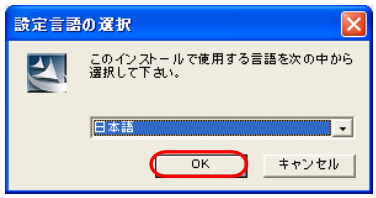
5. 「TWAIN ドライバ」をクリックします。



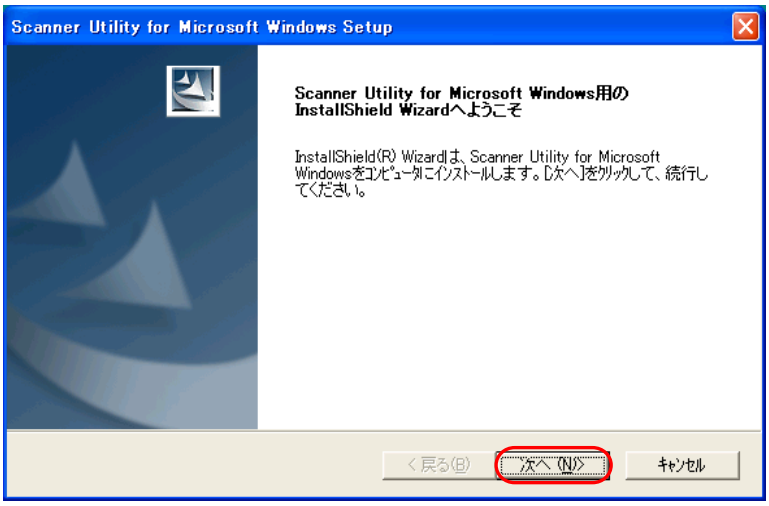
（※ご使用のスキャナによって、画面が異なる場合があります。）

注意	ご使用のスキャナによっては、この後、「Error Recovery Guide」をインストールするかどうかを確認する画面が表示される場合があります。 この場合は、［はい]ボタンをクリックして、Error Recovery Guide をインストールしてください。

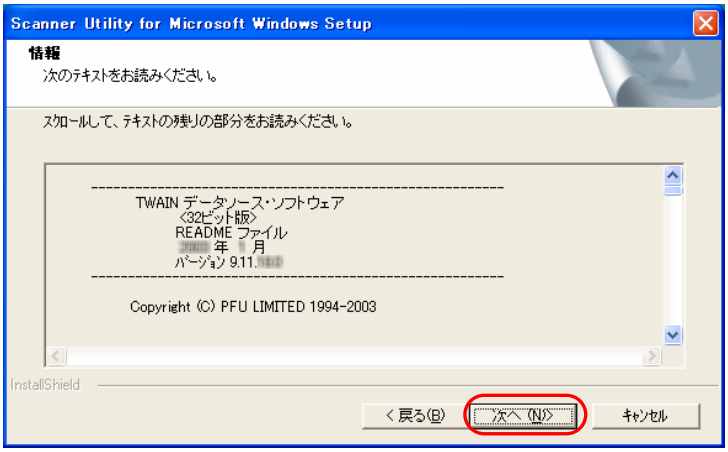
6. 「設定言語の選択」画面で、「日本語」を選択して［OK］ボタンをクリックします。



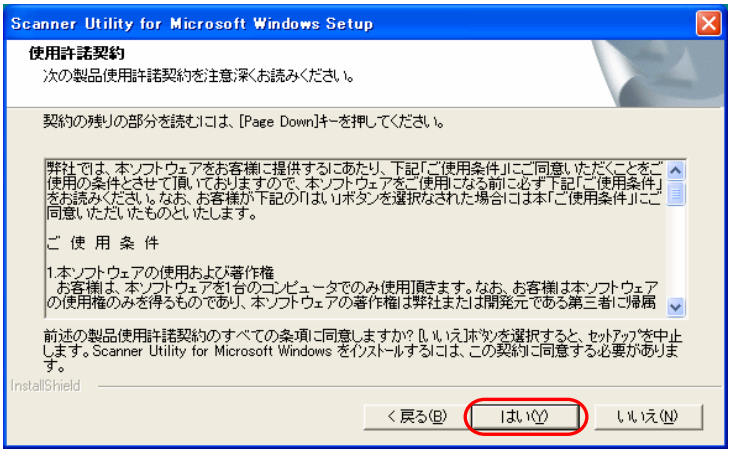
7. 以下の画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。



8. 「情報」画面で、表示される説明をお読みの上、［次へ］ボタンをクリックします。

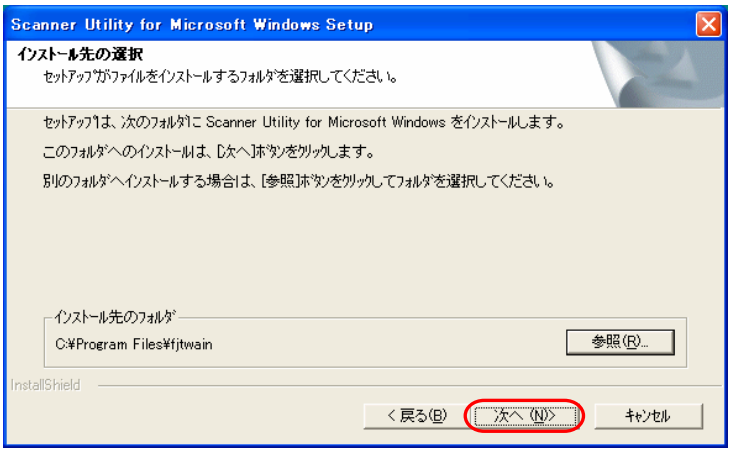


9. 「使用許諾契約」画面で、契約内容に同意する場合は、［はい］ボタンをクリックします。



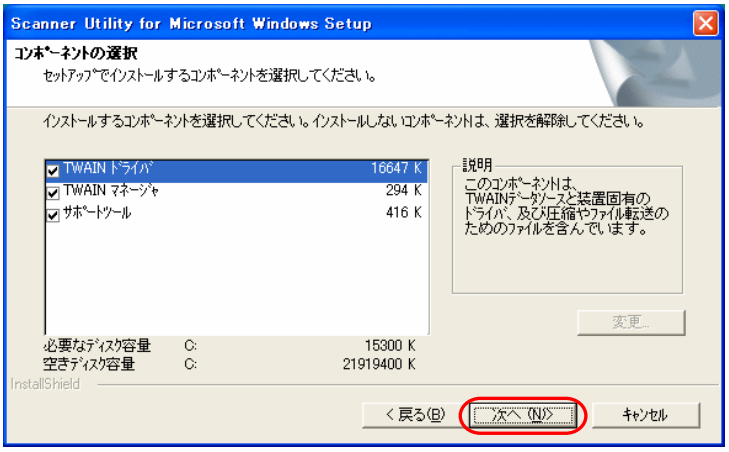
注意	［いいえ］ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

10. 「インストール先の選択」画面で、インストール先を確認し、［次へ］ボタンをクリックします。



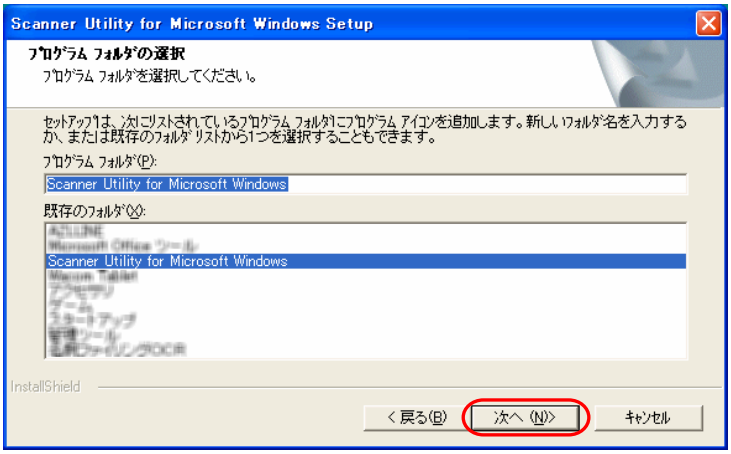
注意	通常は、インストール先フォルダを変更する必要はありません。 変更する際は、［参照］ボタンをクリックして、任意のフォルダを指定してください。

11. 「コンポーネントの選択」画面で、インストールするコンポーネントを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



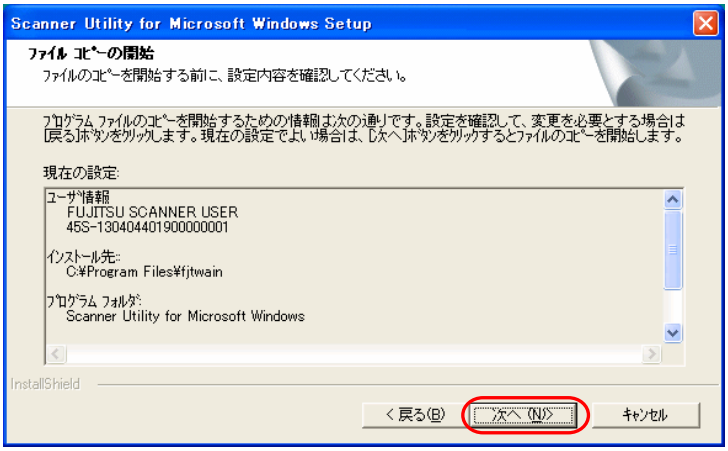
注意　通常は、コンポーネントを変更する必要はありません。

12. 「プログラム フォルダの選択」画面で、プログラムフォルダ名を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

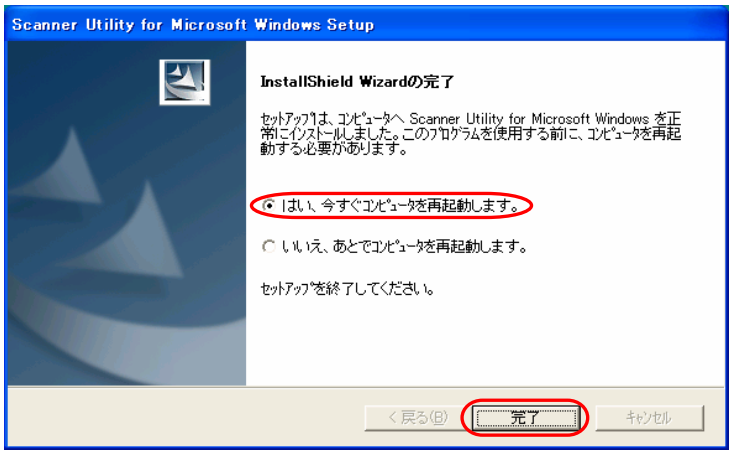


注意　通常は、プログラム フォルダを変更する必要はありません。

13. 「ファイル コピーの開始」画面で、インストールする内容を確認して、［次へ］ボタンをクリックします。



14. インストール完了を通知する画面で、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、［完了］ボタンをクリックします。



15. システムが再起動され、スキャナが認識されます。

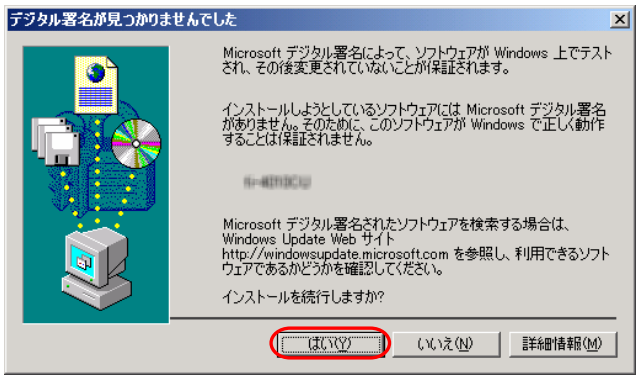
注意　**ご使用の OS によっては、以下のような操作が必要になります。**

Windows® 98 の場合

ディスクの挿入メッセージが表示されますので、Windows® 98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして、［OK］ボタンをクリックします。

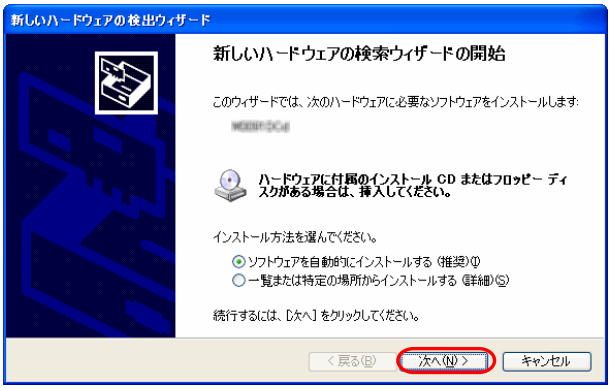
Windows® 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」が表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

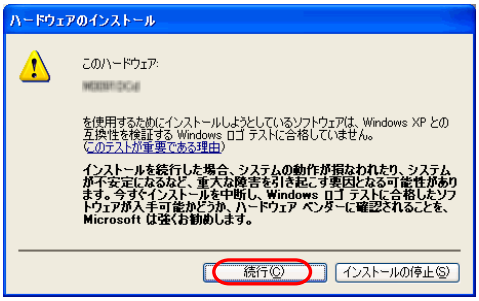


Windows® XP の場合

1)　「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。

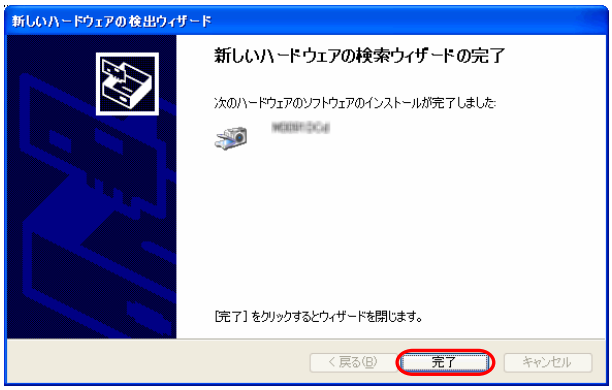


2)　「ハードウェアのインストール」が表示される場合は、
［続行］ボタンをクリックします。



注意　**スキャナの機種によっては、表示されない場合があります。**

3)　インストールの完了を通知する画面で、［完了］ボタンをクリックします。



これで、インストールは終了です。

3.3. アンインストール

インストールしたドライバを削除する場合は、以下の手順でおこないます。

1. パソコンを起動します。

注意 Windows® 2000 または Windows® XP をご使用の場合は、“Administrator"の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

2. 動作しているアプリケーションをすべて終了させます。
3. ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選択します。
   ⇒［コントロールパネル］が表示されます。
4. ［コントロールパネル］のアイコン一覧から、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
   ⇒［アプリケーションの追加と削除］のプロパティ画面が表示されます。
5. 「インストールと削除」の一覧から、「**Scanner Utility for Microsoft Windows**」を選択します。
6. ［追加と削除］ボタンをクリックします。
7. 確認画面が表示されますので、アンインストールを開始してよければ、［OK］ボタンをクリックします。
8. 「アンインストールの完了」画面が表示されますので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、［完了］ボタンをクリックします。

注意 読取を行って保存された画像ファイルなどは、削除されません。
また、TWAIN マネージャなど共通で使用しているファイルを削除するかどうかを聞いてくる場合がありますが、その他の TWAIN 対応アプリケーション、ドライバなどをインストールされている場合には、［いいえ］を選択して、削除しないようにしてください。

ご使用の OS によっては、画面表示が多少異なる場合があります。各 OS の表示に従ってください。
例：Windows® XP の場合
- 「アプリケーションの追加と削除」→「プログラムの追加と削除」
- ［追加と削除］ボタン → ［変更と削除］ボタン

4. ドライバの使い方

4.1. ドライバの選択

TWAIN 対応のアプリケーションから、本ドライバをお使いになる場合、TWAIN データソース(ドライバ)の選択画面から、使用するスキャナ装置名を選択してください。一般的なアプリケーションでは、データソースの選択画面は、メニューから、[スキャナの選択...]や[TWAIN 入力機器の選択...]等のメニューを選択することにより、表示されます。
詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書等をご覧ください。

4.2. 画面構成

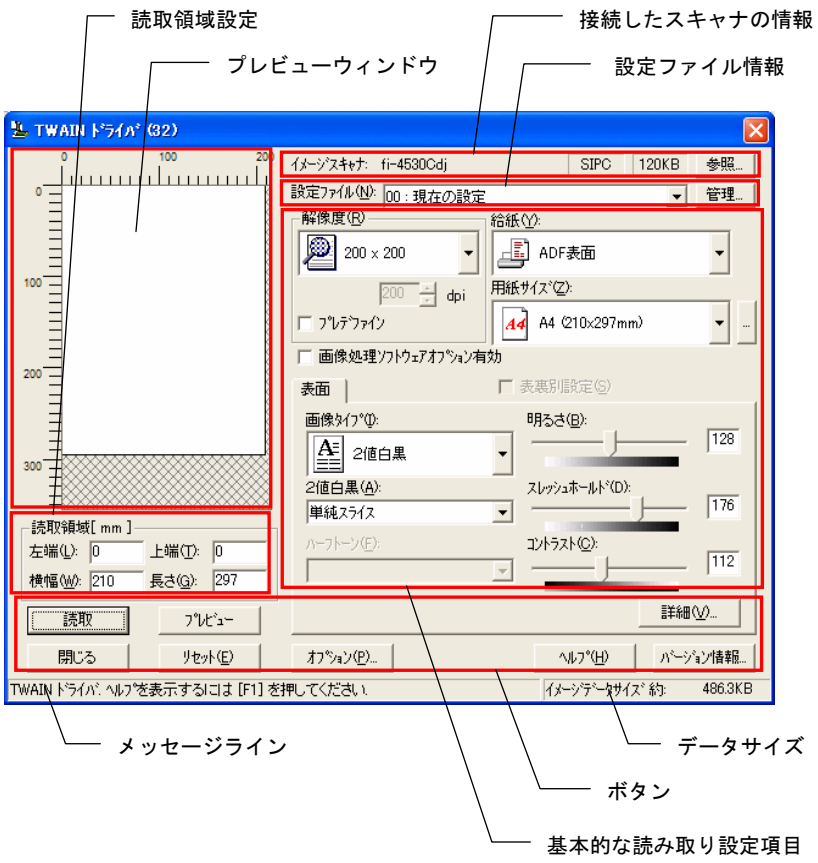
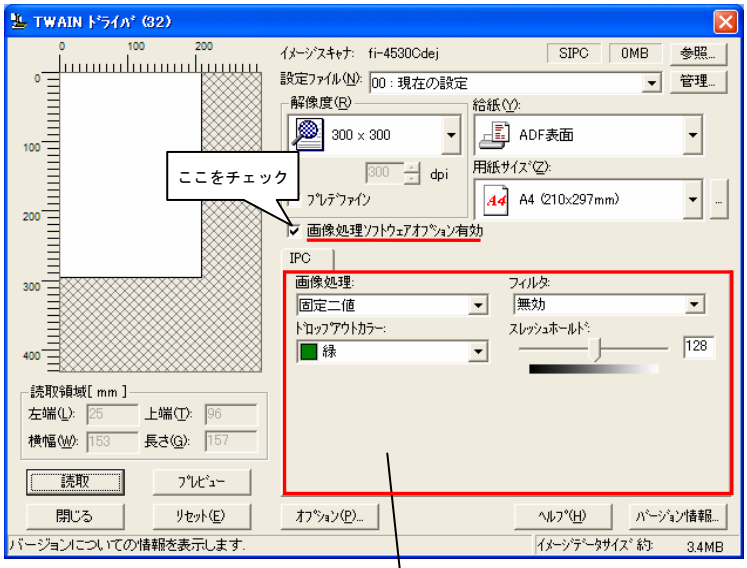


図　メインダイアログ

4.2.1. 画像処理ソフトウェアオプションとの連携について

別売の「画像処理ソフトウェアオプション」をインストールして「ソフトウェア IPC 有効」をチェックすると、TWAIN ドライバ　設定画面の一部が、画像処理ソフトウェアオプションの設定画面に切り替わります。



ここで、「画像処理ソフトウェアオプション」の設定が可能になりました。

注意

・TWAIN ドライバ画面で設定するには、「画像処理ソフトウェアオプション」の V2.1 以降が必要です。
・画像処理ソフトウェアオプションの各種設定については、「画像処理ソフトウェアオプション 取扱説明書」を参照してください。

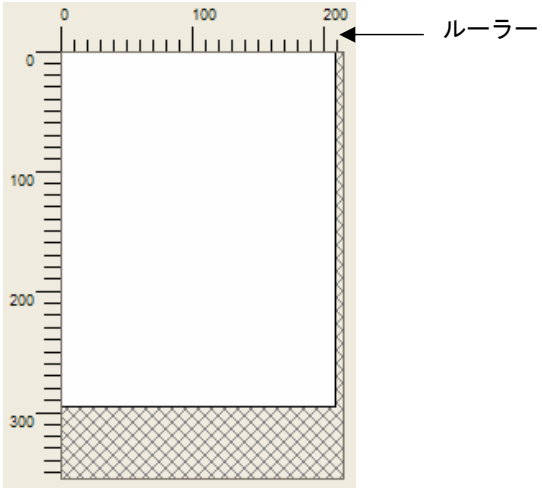
次ページ以降に、各部分の説明／操作方法などを記述します。

4.3. ドライバ情報の表示

◆ イメージスキャナ名

接続されているイメージスキャナの名称、オプションボードの名称および、スキャナ内蔵メモリの容量（MB 単位）が表示されます。
接続されていない場合は、空欄となります。
スキャナに画像処理オプションボードが搭載されている場合は、オプションボードの種類も表示されます。
IPC-3/3D は、機種や装置の版数により、正常に検出されない場合があります。その場合は、IPC2 と表示されますが機能上は問題ありません。

◆ プレビューウィンドウ



イメージ画像の仮読み込みデータの表示、および「読取領域」の設定を行うためのウィンドウです。
後述の「読取領域」の設定方法及び「プレビュー」ボタンに関する記述を参照してください。

◆ ルーラー

指定されている「設定単位」を基にした、大まかな目盛りが表示されます。選択されているスキャナ装置により、目盛りの幅も異なります。

◆ メッセージライン

入力／設定項目の上をマウスカーソルが通過した際に、その項目の簡単な説明が表示される、画面下部の行のことをいいます。

◆ データサイズ

現在の設定で、読み取った場合の１画像当たりのデータ量の概算値を表します。

注意

非圧縮時のデータの大きさです。アプリケーションから、画像圧縮を指定された場合や、アプリーションで画像圧縮された場合には、保存されるファイルサイズなどは本表示とは異なり、通常はより小さくなります。

4.4. イメージ読み取り情報の設定

◆ 表裏別設定

両面読取に対応したスキャナ装置で読み取る場合に、イメージ読取情報を設定する対象面を指定します。

両面とも同じ設定で読み取りたい場合には、[表裏別設定]チェックボックスのチェックをはずしてください。左側に「両面」というタブが１つ表示され「表面」、「裏面」に同じイメージ読み取り情報を設定することが可能になります。

「表面」と「裏面」を異なる設定で読み取りたい場合には、[表裏別設定]チェックボックスをチェックしてください。左側に「表面」,「裏面」の２つのタブが表示され、これらを切替えることにより、各々の面の設定が可能となります。

本機能は、給紙方法で ADF(両面)を選択している時のみ有効となります。両面読み取りが可能なスキャナ機種については、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ 解像度

１インチあたりのピクセル（ドット，画素）数を指定します。

リスト中に表示される定型の解像度または「カスタム」を指定します。

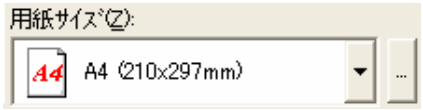
「カスタム」を選択すると、1dpi 刻みで設定することができます。

「プレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の３つの解像度によって、簡単に読み取ることができます。
また、プレデファインの設定は、［...］ボタンを押して、プレデファイン解像度設定画面からお好みの設定に変更することもできます。

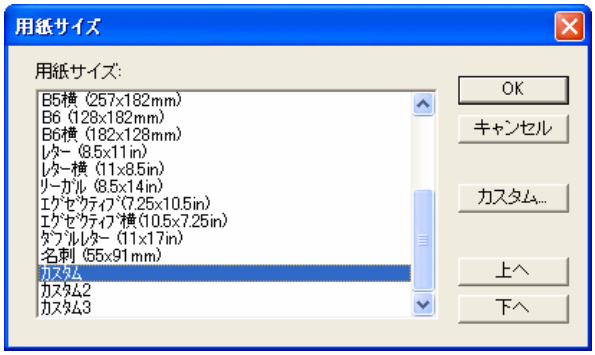
各解像度設定には、「カラー」、「グレースケール」、「白黒二値」の３つの画像タイプに対する解像度が設定され、「画像タイプ」の変更に連動して自動的に切り替えられます。
※設定を初期値（デフォルト）に戻したい場合は、［既定］ボタンをクリックします。

解像度を上げると、よりきれいな画像が得られますが、その分ファイルサイズが大きくなり、読み取りにかかる時間も長くなります。
また、スキャナの機種やオプションの有無によりサポートされる解像度が異なります。
付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照して下さい。

◆　用紙サイズ



読み取りに使用する原稿のサイズを指定します。
リスト中に表示される定型サイズまたはカスタムサイズ（3 種類登録可能）の中から選択します。
［...］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。ここで、リストに表示される原稿サイズの並び順を、自由に入れ替えることができます。



［カスタム］　：選択したカスタムサイズの設定を行います。
［上へ］　：選択した原稿サイズを一つ上に移動します。
［下へ］　：選択した原稿サイズを一つ下に移動します。

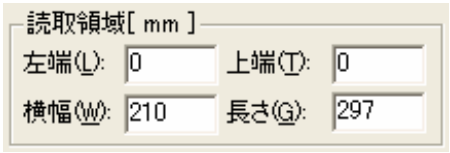
カスタムサイズには、任意の原稿サイズが 3 種類まで登録できます。
［カスタム］ボタンをクリックすると「カスタム用紙サイズ設定」画面が表示されるので、読み取りに使用する原稿のサイズを入力してください。（この時、原稿サイズは、読み取り方向に対する横幅×長さで指定するようにしてください。）

スキャナの機種によりサポートされない原稿サイズがあります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

名前　　：用紙サイズ一覧に表示させたい名前を入力します。

横幅，長さ　：スクロールバーを操作するか、直接原稿サイズを入力して指定します。
この時の単位は[オプション]-[全般]-「単位・定規」で指定されている単位が適用されます。

◆　**読取領域**



イメージの読み取り開始位置、読み取りの横幅・長さを指定します。
指定可能な最大サイズは、選択された用紙サイズの大きさとなります。
また、最小サイズは、設定単位により、inch=1.000 ｲﾝﾁ、mm=26 ミリメートル、 pixel=解像度(1 インチあたりのドット数)となります。

「左端」：読取領域の給紙方向に対して左端（X 座標）
「上端」：読取領域の給紙方向に対して上端（Y 座標）
「横幅」：給紙方向に対して横方向の大きさ
「長さ」：給紙方向に対して縦方向の大きさ

それぞれの値は以下の関係があります。

0≦左端＜（用紙幅－最小値）
0≦上端＜（用紙長－最小値）

最小値≦横幅≦（用紙幅－左端）

最小値≦長さ≦（用紙長－上端）

◆　給紙

原稿の供給元を選択します。

イメージスキャナには、ＡＤＦ（自動給紙機構）による読み取りのほかに、フラットベッドと呼ばれる原稿台による読み取り方法があります。

ＡＤＦの場合、通常１つの原稿は１度しか読み取ることができませんが、フラットベッドの場合、同じ原稿を繰り返して読み取ることができます。

フラットベッド

装置のフラットベッド上におかれた原稿を読み取ります。

ＡＤＦ（表面）

装置の自動給紙機構（ＡＤＦ）上の原稿を読み取ります。この場合、「表面」のみが読み取られます。

ＡＤＦ（両面）

装置の自動給紙機構（ＡＤＦ）上の原稿を読み取りますが、「表」→「裏」→「表」→「裏」．．．のように、原稿の両面を交互に読み取ります。

「両面同時読み取り」に対応している装置でのみ使用することが出来ます。

また、本機能をご使用になる場合には、呼び出し元のアプリケーションが「連続読み取り」に対応している必要があります。対応していない場合には、「表」面のみのデータをアプリケーションに受け渡します。

長尺帳票（表面）

[用紙サイズ]で指定可能な原稿サイズに対して、最大長さを超えるような長い原稿（長尺帳票）を読み取る場合に使用します。

この場合、表面のみが読み取られます。

選択すると、「用紙サイズ設定」ダイアログが表示されますので、読み取る原稿のサイズを指定してください。

※長尺帳票指定時は、プレビュー表示および、読取領域指定をすることはできません。

※機種によっては、長尺帳票指定時は、[画像タイプ]にて、カラー、グレースケールを選択できない場合があります。（「8.1. **イメージスキャナの仕様**」をご参照ください。）

※機種によっては、[解像度]を 400dpi 以下に設定する必要があります。

※対応機種以外では、「給紙」の選択項目に表示されません。

長尺帳票（両面）

長尺帳票（表面）と同様、[用紙サイズ]で指定可能な原稿サイズに対して、最大長さを超えるような長い原稿（長尺帳票）を読み取る場合に使用します。

この場合、「表」→「裏」→「表」→「裏」．．．のように、原稿の両面を交互に読み取ります。

ＡＤＦ（裏面）

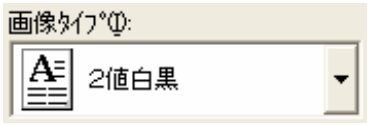
装置の自動給紙機構（ＡＤＦ）上の原稿を読み取ります。

この場合、「裏面」のみが読み取られます。

スキャナの機種により、サポートされる給紙方法が異なります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

注意 **両面を指定される際、アプリケーションで枚数が指定できる場合には、原稿の枚数でなく、ページ数にて指定してください。「表」→「裏」で２ページと数えます。**

◆　画像タイプ



読み取りイメージの種類を選択します。
目的とする画像に適した種類をリスト中から選択します。

２値白黒

白黒の２階調で読み取ります。「読取パラメータ」の「スレッシュホールド」の設定にしたがって白と黒を区別します。線画や文字の読み取りに適しています。

中間調白黒（ハーフトーン）

白黒の２階調で中間調処理を施して読み取ります。「ハーフトーン」の設定にしたがったパターンによりグレーを擬似的に白黒で表現します。内蔵のディザパターンまたは誤差拡散法が選択できます。写真などの濃淡があるイメージの読み取りに適しています。
機種によってはサポートされていないパターンがあります。詳しくは、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

多値（グレースケール）

モノクロの２５６階調で読み取ります。写真などの細かい濃淡を忠実に表現できます。２値白黒に比べて、多量のメモリを消費します。
機種によってはサポートされない場合があります。詳しくは、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。
また、スキャナ装置の版数によってもサポートされない場合があります。詳しくは、装置をご購入の販売店等にお問い合わせください。

4bit 多値（グレースケール）

モノクロの 16 階調で読み取ります。「多値（グレースケール）」に比べて、データサイズを小さく抑えることができます。

機種によってはサポートされない場合があります。詳しくは、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

自動像域分離

読み取り時に線画と写真画像を区別して読み取ります。本選択をした場合には、線画部分は「２値白黒」で読み取り、写真画像部分は「中間調白黒(ハーフトーン)」で読み取ります。写真と線画／文字が混在した文書に適しています。

機種によってはサポートされていない場合があります。詳しくは、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

選択的強調

線画と写真画像をハーフトーンで読み取り、線画部分のみに強調処理を施します。

文字と写真が混在した文書を文字だけ強調させたい場合に最適です。

スキャナの機種によっては、サポートされない場合があります。詳しくは付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

24bit カラー※

24bit(16,777,216 色)カラーで読み取ります。カラー写真などのカラーイメージを取り込むのに最適です。

多値（グレースケール）よりもさらに大量のメモリを消費します。

256 色カラー※

8bit(256 色)カラーで読み取ります。カラー図表などの混在したドキュメントを取り込むのに最適です。

24bit カラー選択時に比べて、データサイズを小さく抑えることができます。

ただし、画質は 24bit カラー選択時に比べて劣化します。画質を優先する場合は 24bit カラーをご使用ください。

８色カラー※

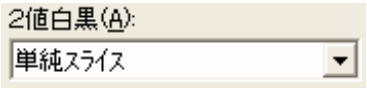
8 色カラーで読み取ります。

２５６カラーよりもさらに、データサイズが小さくなります。

ただし、画質は 24bit カラーおよび、２５６カラー選択時に比べて劣化します。画質を優先する場合は 24bit カラーをご使用ください。

※カラー対応のスキャナのみ、サポートされます。詳しくは付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆　２値白黒



「画像タイプ」で[２値白黒]を指定したときに、その処理方法を指定します。

単純スライス

「スレッシュホールド」の設定に従い、単純２値化処理を行います。

自動（簡易，完全）

イメージスキャナ本体が持つ、自動２値機能を有効とする場合に指定します。

本設定が選択されると、「スレッシュホールド」の設定は無効となります。
また、自動２値には、「自動(簡易)」と「自動(完全)」の2種類のモードがあり、[詳細]ダイアログにて設定することが可能です。
ただし、「自動(完全)」については画像処理オプションがある場合に限ります。そのため、画像処理オプションを装着できる機種でのみサポートされます。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

自動（浮動スライス）

新聞などのように、地色が白でない用紙を読取り、良好に2値化処理を行うことができます。
スキャナの機種によっては、選択できない場合があります。詳しくは付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆　ハーフトーン

中間調処理で使用するハーフトーンパターンを、リスト中に表示される装置内蔵のパターンから選択します。
得たいイメージに適したハーフトーンを選択してください。「画像タイプ」で「中間調白黒（ハーフトーン）」、「自動像域分離」を選択した場合に有効となります。
スキャナの機種によっては、選択できない場合があります。詳しくは付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

濃い写真画像用

濃い写真の読み取りに適したパターン処理を施します。

濃い文字＋写真混在用

濃い文字と写真の混在した画像の読み取りに適したパターン処理を施します。

淡い写真画像用

淡い写真の読み取りに適したパターン処理を施します。

淡い文字＋写真混在用

淡い文字と写真の混在した画像の読み取りに適したパターン処理を施します。

ダウンロード

「ディザダウンロードファイル」で指定されたディザダウンロードパターンによる処理をおこないます。
ファイルの記述方法等は、後述の「ダウンロードパターンファイルについて」を参照してください。
スキャナの機種によっては、サポートされない場合があります。詳しくは付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

誤差拡散法

読み取った画素密度と印刷した画素密度の間の誤差を少なくするための方法で、写真をより自然な感じで読み取ることが可能です。
スキャナの機種によって、サポートされない場合があります。詳しくは付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

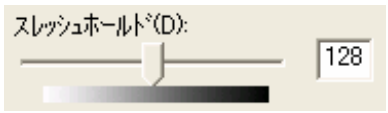
◆　**読取パラメータ**

読み取りに際しての、微調整について設定します。
特に決まった設定値はありませんので、原稿ごとにいろいろと設定してみて調べてください。

✧　**明るさ**（Brightness）:

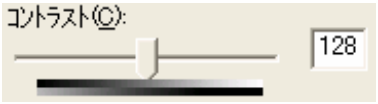
イメージ全体の明るさを設定します。
1(**明るい**)～255(**暗い**)の範囲で指定します。
イメージ全体を暗くしたい場合は設定値を大きく、全体を明るくしたい場合は設定値を小さくします。
「画像タイプ」で「中間調白黒（ハーフトーン）」、「自動像域分離」を選択している時に設定が可能です。

✧　**スレッシュホールド**（Threshold）:



白黒イメージの白と黒を区別する基準となるしきい値を設定します。1(**明るい**)～255(**暗い**)の範囲で指定します。
「画像タイプ」で「２値白黒」を選択している時にのみ設定が可能です。また、自動２値を選択している場合は、スキャナ装置により、自動的に適切なスレッシュホールド値が使用されますので本設定値を変更することは出来ません。
薄い色を黒として読み取りたい場合には、この値を大きくします。逆に読み取りたくない薄い色がある場合には、この値を小さくします。

✧ **コントラスト**（Contrast）:



読み取ったイメージの濃淡の強さを設定します。

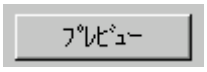
1(弱い(ソフト))～255(強い(シャープ))の範囲で指定します。「画像タイプ」で「多値（グレースケール）」以外を選択している時に設定が可能です。

この設定値を大きくするとイメージの濃い部分はより濃く、淡い部分はより淡く読み取られます。

スキャナの機種により、サポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

4.5. ドライバ動作指定

◆ ［プレビュー］

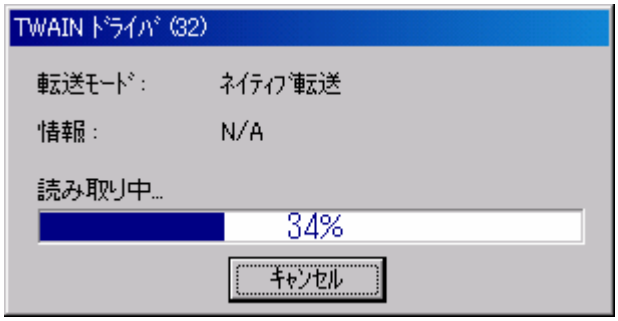


現在の設定を基に、仮読み込み（プレビュー）を行い、プレビューウィンドウにイメージ画像の表示を行います。
実際の読み取りを行う前に、プレビューで読み取りイメージを確認したり、読み取り範囲を指定したりすることができます。

基本的には、フラットベッド搭載機の場合、フラットベッド読み取り時のみ有効となります。非搭載機の場合、ADF 上の 1 枚目の原稿（両面の場合は表面のみ）が読み取られます。
スキャナの機種により、サポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

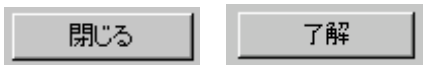
◆ ［読取］

設定されている値を基に、実際に読み取りを行います。
読み取り中は次のような「プログレス・インジケータ」が表示され、読み取り状況を確認できます。読み取りを途中でやめたい場合は、［キャンセル］ボタンを押してください。
下部に表示される文字列は、本ドライバとアプリケーション間で使用されるデータの転送モードを表します。
「転送モード」には、ネーティブモード，メモリモード，ファイルモードがあり、ご使用のアプリケーションにより異なります。
また、一部の機種では、読み取り中の原稿の傾きを「情報:」部に表示します。



プログレス・インジケータ

◆ ［閉じる］／［了解］

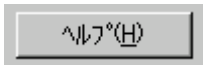


読み取りを行わずに、ダイアログを閉じます。設定を変更した場合、変更した設定値は初期値ファイルに保存されます。

◆ ［リセット］

現在の設定値を、画面をオープンした直後の状態に戻します。

◆ ［ヘルプ］



オンラインヘルプを表示します。また、カーソルのある項目で[F1]キーを押すと、その項目に関するヘルプが表示されます。

注意

［F1］キーによるヘルプの表示は、使用しているアプリケーションによって機能しない場合があります。これは、本ドライバに対する操作がアプリケーションを通して行なわれるためで、アプリケーション側における［F1］キーの取り扱いの違いによるものです。 ［Ctrl］キーや［Shift］キーを押しながら［F1］キーを押すことにより機能する場合も有ります。

◆　［オプション］

装置固有の機能などについての設定を行うための「オプションダイアログ」を表示します。後述の「オプションの設定」を参照してください。

◆　［詳細］ボタン

濃度補正，画像処理に関する設定を行うための「詳細」ダイアログを表示します。

◆　管理ボタン

設定ファイルの管理および簡易ダイアログ表示切り替えの設定を行うための「設定管理ダイアログ」を表示します。

◆　［バージョン］

本ドライバのバージョンを確認したい時は、このボタンを
押して下さい。

4.6. 「読取領域」の設定方法について

プレビューウィンドウにおける読取領域の指定手順は以下の通りです。

設定：

1．マウスの左ボタンを押し、読取領域の始点（左端、上端）を指定します。（カーソルが「＋」の形に変わります。）

2．そのままドラッグして読取領域をひろげます。（カーソルの移動とともに、範囲枠がひかれます。）

3．マウスの左ボタンを離して読取領域の終点を決定します。

移動：

1．範囲枠の内側に、マウスカーソルを移動します。（カーソルが「手」の形になります。）

2．マウスの左ボタンを押します。（カーソルが「手」を握った形になります。）

3．そのままドラッグして、範囲枠を移動します。

4．マウスの左ボタンを離して、移動先を決定します。

解除：

範囲枠を解除するには、次のいずれかの方法で行います。

- 範囲枠の外側（かつ、読み取り原稿サイズの内側）で、マウスの左ボタンをクリックします。
- 別の用紙を選択します。

4.7. オプションの設定

装置固有の機能や、機種によりサポートするしないの差が大きい項目のなかで、その動作設定に関するものについては、「オプションダイアログ」を通して設定を行います。
オプションの指定は、大きく分けて「回転」、「動作」、「全般」、「インプリンタ（エンドーサ）」、「起動」、「フィルタ」、「圧縮」の７つで構成されています。
装置により、サポートされる機能が異なりますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照ください。（使用できない機能には、 が表示されます。）
以下に、オプションダイアログの各機能について説明します。
まず、共通部分について説明します。

◆　［了解］

設定値を有効にし、オプションダイアログを終了します。

◆　［キャンセル］

設定値を無効とし、以前に設定されていた値に戻して終了します。

◆　［ヘルプ］

オンラインヘルプを表示します。

次に、各機能について説明します。

4.7.1. 回転

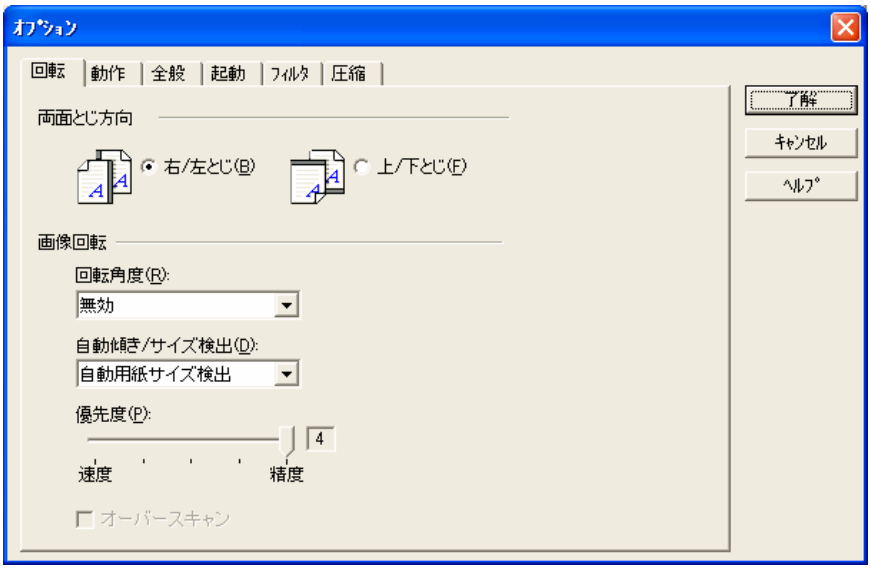
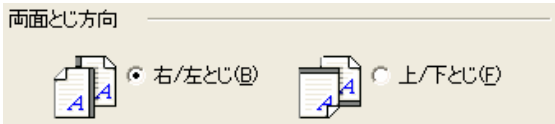


図　オプションダイアログ(回転)

◆　両面とじ方向



ADFにて両面読取を行う際に、原稿のとじ方向を指定します。

右/左とじ

両面とも読み取った画像をそのままの状態で出力します。
左右とじの原稿を読み取る場合に選択してください。

上/下とじ

裏面のみ、読み取った画像を180°回転して出力します。
上下とじ（表面と裏面の印刷方向が逆）の原稿を読み取る場合に選択してください。

※原稿表面の印刷方向に対して頭から読取りを行った場合を基準として、画像の出力結果が表/裏同じ方向になるように設定されています。

◆ 回転角度

読み取った画像を右または左に９０°づつ回転させて出力します。

無効

読み取った画像をそのまま出力します。

90度右回転

読み取った画像を右方向（時計回り）に90°回転させた状態で出力します。

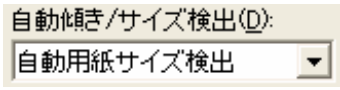
90度左回転

読み取った画像を左方向（反時計回り）に90°回転させた状態で出力します。

180度回転

読み取った画像を180°回転させた状態で出力します。

◆ 自動傾き／サイズ検出



無効

読取った画像をそのまま出力します。

後端検出

ADF読取時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

長さの異なる複数の原稿をADFで連続読み取りした場合、それぞれ原稿の長さに応じた出力結果がえられます。

ただし、[用紙サイズ]で指定された長さ以上の読み取りはできません。

一部のアプリケーションでは、正常動作しない場合があります。

自動傾き補正

ADFにて読取を行う際に、傾いて搬送された原稿の傾きを検出し、その傾きを自動で修正して出力します。

自動用紙サイズ検出

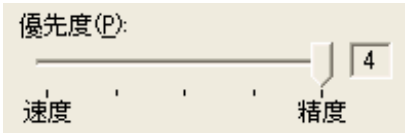
原稿のサイズを検出し、読取った画像をそのサイズで出力します。また、原稿が傾いた状態で読取られた場合は、同時に原稿の傾きを検出してその傾きを自動で修正します。
サイズの異なる複数の原稿をADFにて連続読取りすると、それぞれの原稿のサイズに合った出力結果が得られます。
用紙サイズがうまく検出されない場合には、読取る原稿のサイズに対して、[用紙サイズ]の設定を大きめにしてください。検出精度が向上します。
(ただし、fi-4860C, fi-4990C, fi-5650C, fi-5750Cの場合、常に、読取り可能な最大用紙サイズで読み取って、用紙サイズの検出を行うため、[用紙サイズ]の設定には依存しません。)
本機能は、一部のアプリケーションでは、正常な画像が得られない場合があります。
また、原稿の形状が長方形でない場合も、正しく検出できない場合があります。
この機能は、ADF読み取り時のみ有効となります。
(※フラットベッド読み取り時に使用すると正しく検出されません。)
fi-5750Cの場合は、「黒色原稿押さえパッド」オプション(別売)を装着することにより、フラットベッド読み取り時にも本機能を利用することが可能です。

黒背景

通常は、原稿読み取り時の背景は、白を使用しますが、本オプションを指定していただくと、原稿の外に黒い枠を付けることが可能です。

スキャナの機種により、サポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

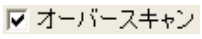
◆ **優先度**



自動用紙サイズ検出時の検出処理精度を設定します。
原稿を読取る際に、読取速度を優先させたい場合は数値を小さく、検出精度を優先させたい場合は数値を大きく設定してください。
[自動傾き/サイズ検出]で、[自動用紙サイズ検出]を選択したときのみ設定可能となります。

（[自動用紙サイズ検出]を選択しても有効にならない場合は、設定不要です。）

◆ **オーバースキャン**



「用紙サイズ」の設定より少し大きめに読み取ります。
［自動傾き/サイズ検出］で「黒背景」を選択したときのみ設定可能となります。

スキャナの機種により、サポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

4.7.2. 動作

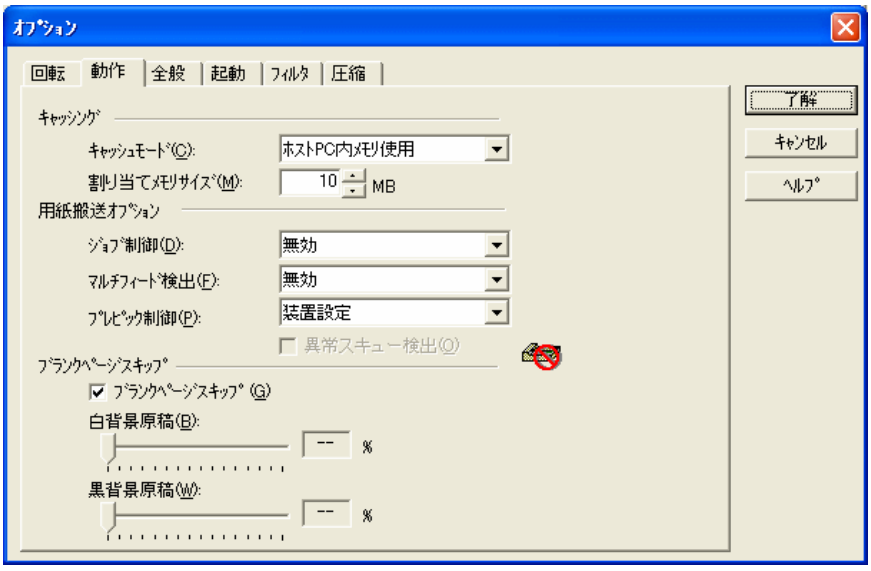
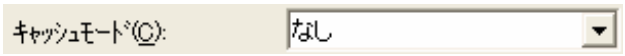


図　オプションダイアログ(動作)

◆　キャッシュ



原稿読取時に先読み処理（キャッシング）を行うかどうかを指定します。本指定により、より高速な読取を行う事が可能になります。ご使用のアプリケーションの処理が遅くて読取り動作が止まってしまうような場合に、速度低下を改善できます。（ただし、ご使用の環境によっては、効果のない場合もあります。）
以下の４種類のモードがあります。

なし

キャッシングを行いません。

先行読取り

原稿一枚分の読取りデータを先読みして PC 内のメモリ（パソコンのメインメモリ）に蓄えます。

ホスト PC 内メモリ使用

「割り当てメモリサイズ」に応じて、可能な限り先読み処理を行い、PC内メモリに蓄えます。
設定可能な割り当てメモリサイズは1～200MBです。

スキャナ内メモリ使用

スキャナに内蔵されたメモリを使用して先読み処理を行います。（対応機種以外では、表示されません。）

両メモリ使用

[ホストPC内メモリ]および[スキャナ内メモリ]を併用して先読み処理を行います。（対応機種以外では、表示されません。）

◆ ジョブ制御

特定の用紙形状の原稿(特殊用紙)をアプリケーションにより、検出することが可能になります。アプリケーション側で本機能に対応している必要があります。

無効

検出をしません。そのまま読み取りを行います。

読み取り後、継続

特殊用紙を検出後、読み取りを継続します。特殊用紙上のデータも有効になります。

読み取り後、中止

特殊用紙を検出後、読み取りを中止します。特殊用紙上のデータも有効になります。

スキップ後、継続

特殊用紙を検出後、読み取りを継続します。特殊用紙上のデータはスキップされ、アプリケーションに受け渡しされません。

スキップ後、中止

特殊用紙を検出後、読み取りを中止します。特殊用紙上のデータはスキップされ、アプリケーションに受け渡しされません。

スキャナの機種により、サポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ マルチフィード検出

設定した条件により、マルチフィード（一度に２枚以上の原稿が重なって給紙されてしまう現象）の検出を行います。
本設定をオンにしておくと、マルチフィードが検出された場合、装置を停止させ、エラーメッセージを表示します。

無効

マルチフィード検出を行いません。

装置設定

装置設定に従い、マルチフィード検出を行います。

厚さの違いを検出

装置内のセンサで、搬送される原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送された時の厚さの変化によりマルチフィード検出を行います。

長さの違いを検出

装置内のセンサで、搬送される原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送された時の原稿の長さの変化によりマルチフィード検出を行います。

長さと厚さの違いを検出

厚さ、長さの両方を監視し、マルチフィード検出を行います。

重なりを検出

装置内のセンサで、搬送される原稿の重なりを監視し、マルチフィード検出を行います。

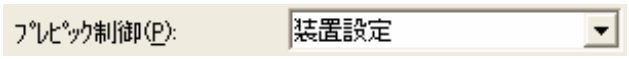
重なりと長さの違いを検出

原稿の重なり、長さの両方を監視し、マルチフィード検出を行います。

長さの異なる原稿を連続読取する場合は「厚さの違いを検出」で、厚さの異なる原稿を読み取る場合は「長さの違いを検出」で、などのように使いわけることにより検出精度を上げることができます。

スキャナの機種によって、使用できる検出方法が異なります。
付録の「イメージスキャナの仕様」を参照してください。

◆ プレピック制御



ADF 読み取り時に、読み取り動作を開始する前にあらかじめ原稿をピック（プレピック）するかどうかを指定します。
プレピックとは、読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置手前まで搬送しておくことをいいます。

無効

プレピックを行いません。
読み取り動作を開始してから、原稿が搬送されます。

有効

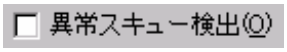
プレピックを行います。
読み取り動作を開始する前に、読み取り位置手前まで、あらかじめ原稿が搬送されます。

装置設定

装置設定に従います。

※「有効」を選択した場合、プレピック処理を行う分、「無効」に比べて読み取り速度が速くなります。
また、「有効」にした場合は、読み取り途中でキャンセルした時に、原稿が装置内搬送部に残ります。

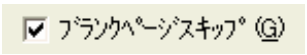
◆ 異常スキュー検出



ADF 読み取り時に、原稿の傾きを監視します。
原稿が傾いた状態で搬送された場合に、エラーメッセージを表示して読み取りを中止します。
※このとき、検出された原稿の画像データは破棄されます。
※マルチフィード検出指定時のみ有効となります。

◆ ブランクページスキップ

ＡＤＦ連続読取時に、ブランクページ（白紙または，真っ黒な紙）をとばして読取りを行います。



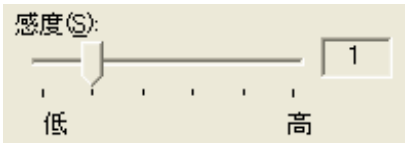
このチェックボックスをチェックすると、本機能が有効となります。

※ 本機能を有効にすると、キャッシュ設定が「PC 内メモリ使用」、「両メモリ使用」以外の設定の場合、自動的に「PC 内メモリ使用」に切り替わります。

<<２値白黒、ハーフトーン設定の場合>>

白紙の場合は［**白背景原稿**］、黒紙の場合は［**黒背景原稿**］のスライダにてスキップ条件の設定を行います。
スライダ右に表示される数値はゴミ分布率(*1)を表し、読み取った原稿がこの数値以下の場合にブランクページと認識します。
設定範囲は、OFF(--),および 0.2～3.0%(0.2 刻み)になります。

<<カラー、グレースケール設定の場合>>



1～５の 5 段階で、ブランクページ（白紙）のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。

<ブランクページスキップがうまく機能しない場合>

- ブランクページを読み取ってしまう場合は、設定数値を大きくしてください。
- 必要な原稿まで読み飛ばしてしまう場合は、設定数値を小さくしてください。

本機能は、キャッシングの設定を、「ホスト PC 内メモリ使用」および、「両メモリ使用」にした時のみ使用可能となります。

*1：読取領域に対する黒点の占める割合（白紙の場合）

※［自動傾き／サイズ検出］で「黒背景」が指定されていると、ブランクページスキップがうまく機能しない場合があります。
また、読み取った画像にノイズ(汚れ)が多い場合にも、ブランクページスキップがうまく機能しない場合があります。

4.7.3. 全般

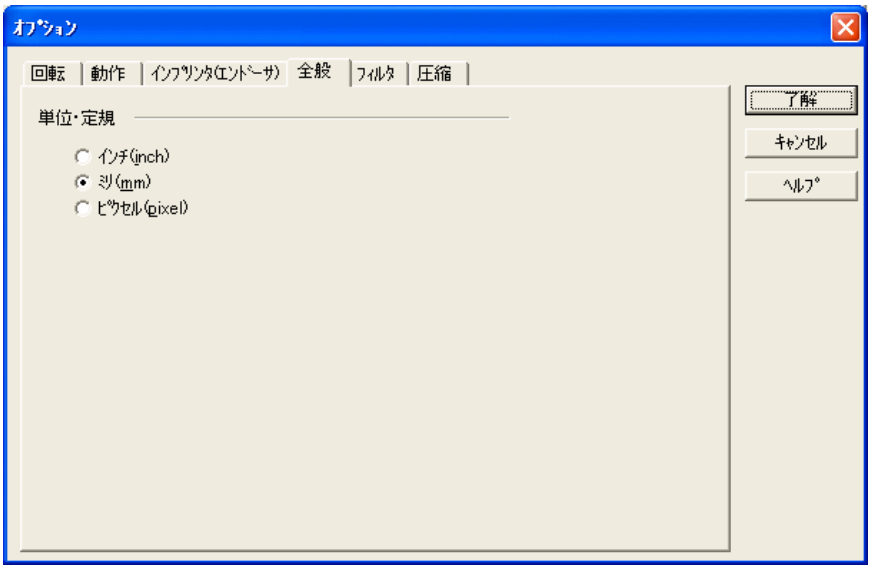
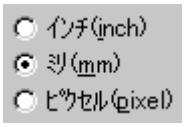


図　オプションダイアログ(全般)

◆　**単位・定規**



読取り領域およびプレビューウィンドウの単位系を、選択します。

１インチ＝25.4 ミリメートルとして計算されます。

インチ→ミリメートルの値変換では、１ミリメートルに満たない分は四捨五入されます。

注意

TWAIN の規約上、データの横幅は 32 ビット単位にそろえる必要があるため、指定値によっては、最大 31 ドット分の誤差が含まれます。

4.7.4. インプリンタ（エンドーサ）

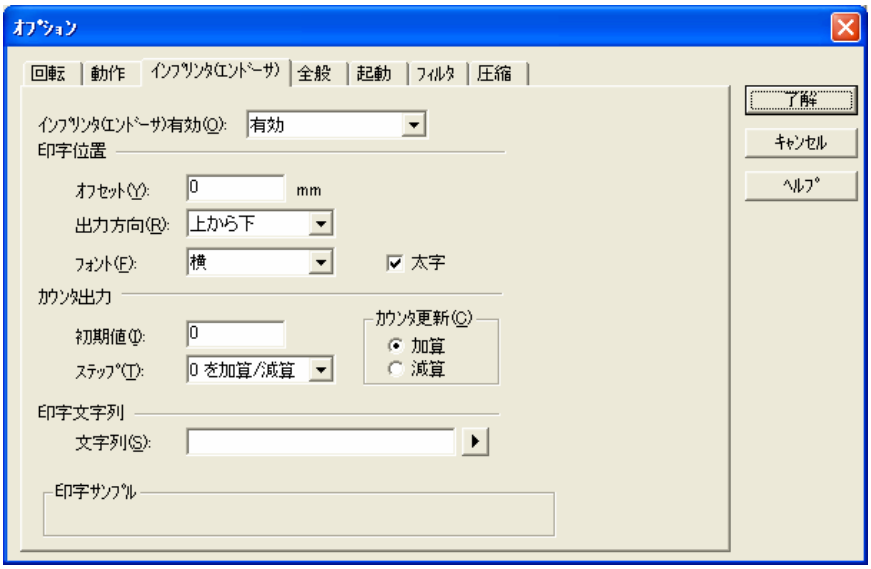


図 オプションダイアログ（インプリンタ）

◆ インプリンタ（エンドーサ）有効

装置の**インプリンタ**機能の有効/無効を指定します。
本設定を有効にした場合には、読み取り完了後に、以降の指定にしたがって、読み取り原稿に印字されます。
ただし、**インプリンタ**（エンドーサ）オプションがある場合にかぎられます。そのため、**インプリンタ**オプションを装着できる装置でのみサポートされます。
サポートの有無については、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

無効

インプリンタによる印字を行いません。

有効

インプリンタを使用して、原稿に印字を行います。

この場合は、原稿を読み取った後に、原稿の裏面に印字します。そのため、読み取り結果に印字は含まれません。

装置によっては、2 種類のインプリンタを装備して、切り替えて使用できます。この場合、「**有効**」が以下のように表示されます。

プレインプリンタ有効　（読み取り前、表面に印字）

フロント側インプリンタを使用して、原稿に印字を行います。この場合は、原稿を読み取る前に、原稿の表面に印字します。そのため、読み取り結果に印字を含むことができます。

ポストインプリンタ有効　（読み取り後、裏面に印字）

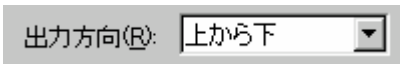
リア側インプリンタを使用して、原稿に印字を行います。この場合は、原稿を読み取った後に、原稿の裏面に印字します。そのため、読み取り結果に印字は含まれません。。

※「プレインプリンタ」と「ポストインプリンタ」は同時に使用することはできません。

◆　**オフセット（印字位置）**

印字位置を、原稿の先端からどのくらいの位置にするかを指定します。ただし、本指定の基準値は、装置により異なるため、詳細は、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆　**印字方向（印字位置）**



印字文字列の書き出し方向を指定します。読取方向に対して文字列の先頭から書き出す場合は「上から下」、逆に、後ろから書き出す場合は「下から上」を選択してください。

ただし、可能な設定に関しては、装置に依存しますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ フォント（印字位置）

印字文字列に使用するフォントの向きを指定します。

縦： ＡＢＣＤ　０１２３

横： ⊲Ⅲᑌᑎ　○⊢ᔓᘐ

印字方向 →

可能な設定に関しては、装置により異なりますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ 太字

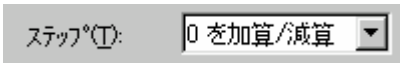
印字文字列を太字フォントで出力します。

可能な設定に関しては、装置により異なりますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ 初期値（カウンタ出力）

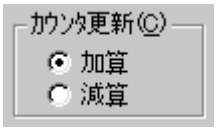
印字文字列にカウンタ値を含む設定をした場合の初期値を指定します。設定可能範囲は、装置により異なりますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ ステップ（カウンタ出力）



設定したカウンタ値のカウンタ間隔を指定します。つまり、原稿 1 枚が読み取られる度に、印字されるカウンタにこの設定を加算または減算します。0,1,2 のいずれかが指定できます。一般的に、片面原稿では 1 を両面原稿では 2 を指定します。

◆ カウンタ更新（カウンタ出力）



指定した「ステップ」で減算するか加算するかを指定します。

◆ 印字文字列

印字する文字列を指定します。
直接入力することにより、以下の文字列を出力することができます。

ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　：A～Z, a～z
英数字　　：0, 1～9
記号　　：!”#$%&’()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
その他　　：（スペース）

（ただし、文頭にスペースを入れた場合、スペースは無視されます。）

さらに、下記の定義を使用することができます。これらの定義は、▶をクリックすることにより表示されるメニューより選択することも可能となります。

%YYYY ： 読取時の年号を西暦 4 桁で印字します。

%YYY ： 読取時の年号を和暦(平成)2 桁で印字します。

%YY　：読取時の年号を西暦下 2 桁で印字します。

%MMM　：読取時の月を英略字で印字します。つまり、１月の場合には、"JAN"、２月の場合には、"FEB"と印字します。

%MM　：読取時の月を 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、1 月の場合には、"01"、12 月の場合には、"12"と印字します。

%M　：読取時の月を必要最小桁数で印字します。つまり、1 月は、"1"、12 月の場合は、"12"と印字します。

%DD　：読取時の日付を 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、3 日の場合には、"03"、26 日の場合には、"26"と印字します。

%D　：読取時の日付を必要最小桁数で印字します。つまり、12 桁で印字します。つまり、3 日の場合には、"3"、26 日の場合には、"26"と印字します。

%HH　：読取時の時間を 24 時間表示 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、午前 8 時の場合には、"08"、午後 2 時のときには、の場合には、"14"と印字します。

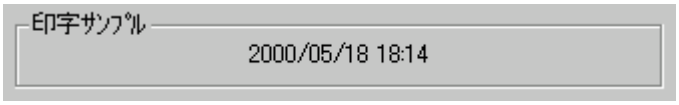
%H　：読取時の時間を 24 時間表示必要最小桁数で印字します。つまり、午前 8 時の場合には"8"、午後 2 時の場合には"14"を印字します。

%NN　：読取時の分を 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、午前 8 時 2 分の場合には、"02"、午後 2 時 48 分の場合には、"48"と印字します。

%N　：読取時の分を必要最小桁数で印字します。つまり、午前 8 時 2 分の場合には、"2"、午後 2 時 48 分の場合には、"48"と印字します。

%0Nud：ページごとに増減を行うカウンタ値を N 桁で印字します。
指定可能なカウンタの桁数は、5 桁と 8 桁の 2 種類で、それぞれ“%05ud”，“%08ud”と記述します。（ただし、装置によっては８桁に対応していない場合がありますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。）
このカウンタ値の初期値、増減方法などに関しては、前述の「カウンタ」部分により指定できます。
本指定は、印字文字列の最後にのみ指定することが可能です。

◆　印字サンプル



前記で指定した印字文字列の印字例を表示します。

注意

カウンタや日時などの印字に関しては、読取時点の設定が有効になるため、印字サンプル部分に表示されるものが、そのまま印字されるわけではありません。

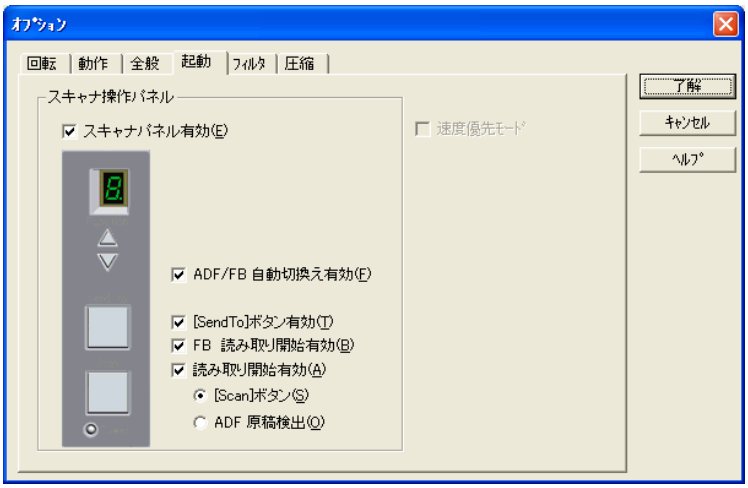
4.7.5. 起動

省電力モード、低速用紙搬送、スキャナ操作パネルの設定を行います。
スキャナの機種により、表示される画面や設定項目が異なったり、［起動］画面自体が表示されない場合があります。

fi-4110CU, fi-4110C(M3091DC), fi-4210C(M3092DC)の場合

fi-4120C, fi-4120C2, fi-4220C, fi-4220C2, fi-4530C の場合

図 オプションダイアログ（起動）

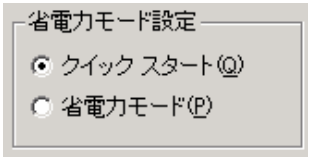


fi-5750C の場合

fi-5650C の場合

図 オプションダイアログ（起動）

◆　省電力モード設定



クイックスタートモード

スキャナ装置の利用状況に関わらず、ランプが点灯したままになるため、ランプが安定するまでの待ち時間を省くことができます。

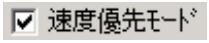
省電力モード

電力の消費を抑えるために、スキャナ装置を使用していない状態が 14 分経過すると、自動的にランプを消灯します。

◆　低速用紙搬送有効

より高画質なイメージデータを得るための指定です。
スキャナ走査上のスタート・ストップの回数が減り、ムラのない高画質な画像を得ることができます。

◆　速度優先モード



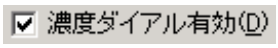
カラー、グレースケール読み取り時の読み取り速度を高速化します。チェックすると、通常より読み取り速度がアップしますが、画質は多少劣化します。画質よりも読み取り速度を優先させたい場合にチェックしてください。

◆　スキャナ操作パネル

ースキャナパネル有効

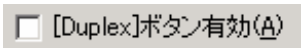
スキャナ装置上の操作パネルを有効にするかどうかを指定します。チェックすることにより、以下のパネル上ボタン操作が有効となります。（ただし、ボタン操作は、本ドライバ起動中のみ有効となります。）

－濃度ダイヤル有効



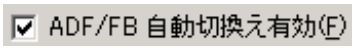
装置の濃度ダイヤルの値を読取りに反映するかを指定します。
「スキャナパネルと原稿検出を有効にする」と本設定が共にチェックされている時のみ有効です。
濃度ダイヤルにより、5 段階の濃度設定が可能となります。
装置のダイヤルを UP 側にダイヤルを移動すると、「通常」→「少し暗い読取」→「暗い読取」に、Down 側にダイヤルを移動すると、「通常」→「少し明るい読取」→「明るい読取」になります。中央が｢通常｣になります。

－[Duplex]ボタン有効



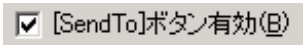
スキャナ操作パネル上の Duplex ボタン(片面／両面切り換え)の設定を読取りに反映するかを指定します。
また、ADF から読み取るか、FB（フラットベッド）から読み取るかを判断して、自動的に切り替えます。
チェックすると、
ADF に原稿がある場合は、ADF から読み取りを開始し、
ADF に原稿がない場合は、FB から読み取りを開始します。
さらに、ADF 上に原稿がある場合は、［Duplex］ボタンを押すたびに片面→両面→片面...の順に切り替わります。

－ADF/FB 自動切換え有効



ADF から読み取るか、FB（フラットベッド）から読み取るかを判断して、自動的に切り替えます。
ADF に原稿がある場合は、ADF から読み取りを開始し、
ADF に原稿がない場合は、FB から読み取りを開始します。

－[Send To]ボタン有効



装置の［Send To］ボタンを押下するとプレビューを開始するかどうかを指定します。

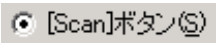
－FB 読み取り開始有効

FB（フラットベッド）に原稿をセットして、カバーを閉じると、自動的に読み取りを開始します。

－読み取り開始有効

装置のイベントによって、読み取りを開始するかどうかを指定します。

－［Scan］ボタン



装置上の［Scan］ボタンを押すと読取りを開始します。

－原稿検出

ADF 部で原稿を検出すると自動的にスキャンを開始します。

4.7.6. フィルタ

フィルタ処理の設定を行います。
リストボックス内に使用可能なフィルタ名の一覧が表示されます。
フィルタ名の左側にあるチェックボックスをチェックすると、読み取った画像に対して、そのフィルタ処理が実行されます。
フィルタ名を選択して、［プロパティ］ボタンをクリックすると、そのフィルタの設定画面が表示されます。

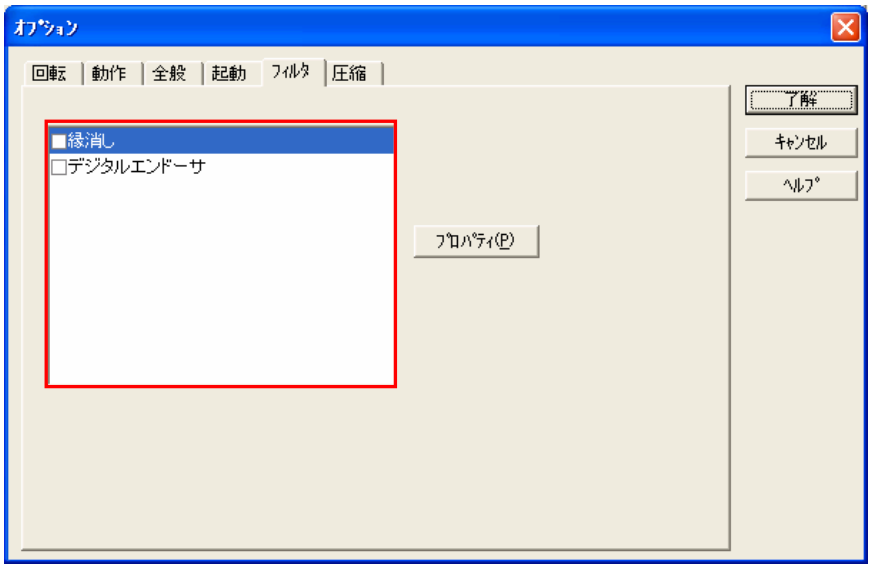


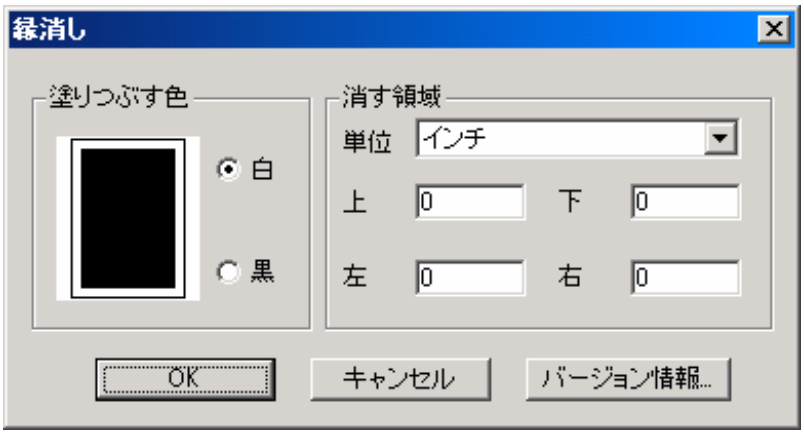
図 オプションダイアログ（フィルタ）

以下に、フィルタの種類と、その設定方法について説明します。

◆　縁消し

画像の端の余分なデータを単一色で塗りつぶし、見栄えをよくします。

塗りつぶす色（白または黒）、および領域の指定が可能です。



ー塗りつぶす色

画像枠を塗りつぶす色を指定します。

「白」または「黒」を指定することができます。読み取る原稿の背景色に合わせて、どちらか一方を選択してください。

ー消す領域

・[単位]

「インチ」、「ミリ」、「ピクセル」の中から単位を指定します。

・[上]，[下]，[左]，[右]

画像の端からどれだけの領域を塗りつぶすかを、数値で指定します。

[上]：画像上端からの幅を入力します。

[下]：画像下端からの幅を入力します。

[左]：画像左端からの幅を入力します。

[右]：画像右端からの幅を入力します。

それぞれ、以下の範囲内で設定してください。

0 ＜ [上]＋[下] ＜ [画像長さ]

0 ＜ [左]＋[右] ＜ [画像横幅]

※これらの範囲を外れた設定を行うと、縁消し処理は無効となります。

◆ **デジタル エンドーサ**

読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。

このフィルタを使用することにより、読み取った画像データに名前や日付、連番を付けて管理することができます。

ー印字位置

出力する文字列の書き出し位置を指定します。

X オフセット：左端からの幅方向の位置を指定します。

Y オフセット：上端からの長さ方向の位置を指定します。

単位　　：mm, inch のどちらかを指定します。

ーカウンタ出力

文字列としてカウンタを出力する場合に、その数値の設定を行います。

初期値　　：　カウンタの初期値を指定します

ステップ　　：　カウンタの増加／減少量を指定します。

カウンタ更新　：　カウンタを増加させるか、減少させるかを指定します。

例）初期値＝0、ステップ＝2、カウンタ更新＝加算 の場合、

0, 2, 4, 6, 8, ...

ー出力文字列

出力する文字列を指定します。

直接入力することにより、以下の文字列を出力することができます。

ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　：A～Z, a～z

英数字　：0, 1～9

記号　：!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

その他　：（スペース）

（ただし、文頭にスペースを入れた場合、スペースは無視されます。）

さらに、下記の定義を使用することができます。これらの定義は、▸をクリックすることにより表示されるメニューより選択することも可能となります。

%YYYY：読取時の年号を西暦 4 桁で印字します。

%YYY：読取時の年号を和暦(平成)2 桁で印字します。

%YY：読取時の年号を西暦下 2 桁で印字します。

%MMM：読取時の月を英略字で印字します。つまり、１月の場合には、"JAN"、２月の場合には、"FEB"と印字します。

%MM：読取時の月を 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、1 月の場合には、"01"、12 月の場合には、"12"と印字します。

%M：読取時の月を必要最小桁数で印字します。つまり、1 月は、"1"、12 月の場合は、"12"と印字します。

%DD：読取時の日付を 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、3 日の場合には、"03"、26 日の場合には、"26"と印字します。

%D：読取時の日付を必要最小桁数で印字します。つまり、3 日の場合には、"3"、26 日の場合には、"26"と印字します。

%HH：読取時の時間を 24 時間表示 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、午前 8 時の場合には、"08"、午後 2 時のときには、の場合には、"14"と印字します。

%H：読取時の時間を 24 時間表示必要最小桁数で印字します。つまり、午前 8 時の場合には"8"、午後 2 時の場合には"14"を印字します。

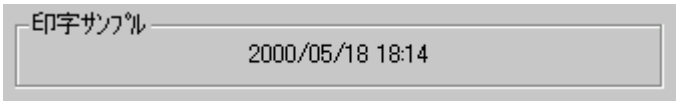
%NN：読取時の分を 2 桁で印字します。2 桁に満たない場合には、左に 0 をつめます。つまり、午前 8 時 2 分の場合には、"02"、午後 2

時 48 分の場合には、″48″と印字します。

%N　：　読取時の分を必要最小桁数で印字します。つまり、午前 8 時 2 分の場合には、″2″、午後 2 時 48 分の場合には、″48″と印字します。

%0Nud:　ページごとに増減を行うカウンタ値を N 桁で印字します。
指定可能なカウンタの桁数は、5 桁と 8 桁の 2 種類で、それぞれ“%05ud”，“%08ud”と記述します。
このカウンタ値の初期値、増減方法などに関しては、前述の「カウンタ」部分により指定できます。
本指定は、印字文字列の最後にのみ指定することが可能です。

ー印字サンプル



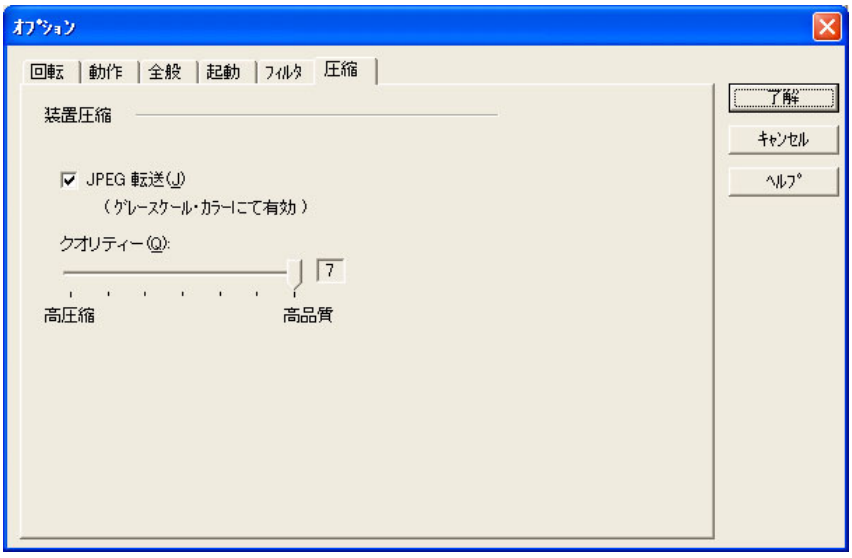
前記で指定した印字文字列の印字例を表示します。

注意

カウンタや日時などの印字に関しては、読取時点の設定が有効になるため、印字サンプル部分に表示されるものが、そのまま印字されるわけではありません。

4.7.7. 圧縮

イメージスキャナからデータを転送する際に、JPEG 圧縮を行うかどうかを指定します。(本指定は、カラー、グレースケールで読み取った時にのみ有効となります。)



◆ JPEG 転送

読み取ったイメージデータを、JPEG 方式に変換して転送します。
通常の転送方式（チェックしない場合）に比べて、データサイズが小さくなるため、データ転送にかかる時間を短縮できます。

◆ クオリティー

JPEG 転送時の、データの圧縮率を指定します。
画質を優先させたい場合は数値を大きく、サイズを優先させたい場合は数値を小さく設定してください。

注意

- JPEG 圧縮にて読取りを行うため、画質が劣化することがあります。
- また、JPEG 圧縮を行った場合と、JPEG 圧縮を行わない場合で、イメージの長さや幅が多少異なることがあります。
- イメージスキャナの機種によっては、選択できない場合があります。

4.8. 詳細オプションの設定

装置固有の機能や、機種によりサポートするしないの差が大きい項目の中で、画像処理に関するものについては、「詳細」ダイアログを通して設定を行います。詳細のオプションの指定は、大きく分けて「濃度補正」、「画像処理」、「自動２値」の３つで構成されています。

装置により、サポートされる機能が異なりますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照ください。（使用できない機能には、 が表示されます。）

以下に、オプションダイアログの各機能について説明します。

まず、共通部分ついて説明します。

◆　［既定］

設定値を初期状態（デフォルト）に戻します。

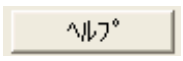
◆　［了解］

設定値を有効にし、オプションダイアログを終了します。

◆　［キャンセル］

設定値を無効とし、以前に設定されていた値に戻して終了します。

◆　［ヘルプ］



オンラインヘルプを表示します。

次に、各機能について説明します。

4.8.1. 濃度補正

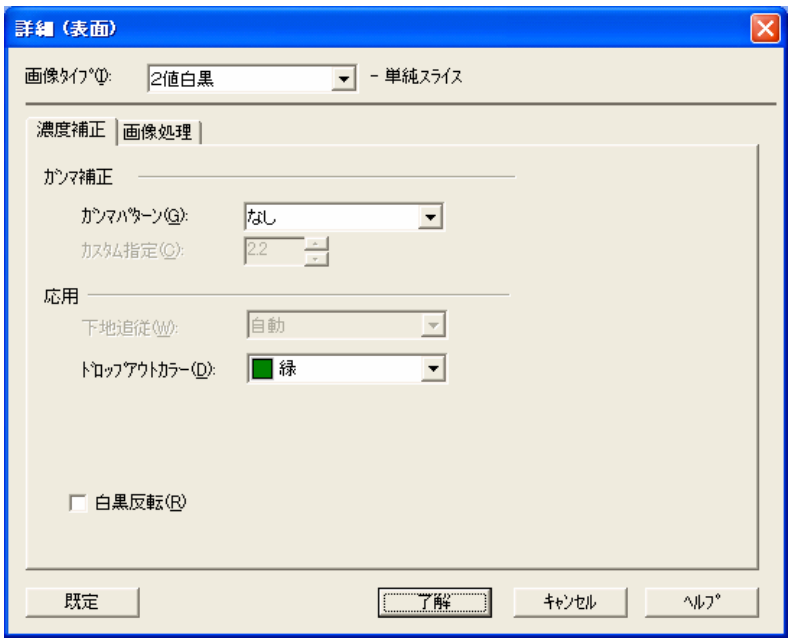


図 詳細ダイアログ（濃度補正）

◆ **ガンマ補正**

画像の非線形性を補正します。スキャナ内のセンサは、文書から反射した光密度に対して線形的な出力をしますが、ほとんどの出力端末は入力に対して線形出力をしないため、線形性の調整が必要となります。

補正パターンには、**なし、ソフト、ハード、ダウンロード、カスタム**の５通りの設定できます。

装置により、サポートされないパターンがあります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

[ダウンロード]を選択すると、上記ダイアログが表示されます。ファイル名一覧から使用するガンマパターンダウンロードファイルを選択して［OK］ボタンを押してください。指定されたパターンでの補正処理を行います。
ガンマパターンダウンロードファイルが一覧に登録されていない場合は、[追加]ボタンにて登録を行ってください。
なお、ファイルの記述方法等につきましては、後述する「ダウンロードパターンファイルについて」を参照してください。

[カスタム]を選択すると、カスタム指定が入力可能になります。
0.1～10.0 の範囲で任意の数値を指定することにより、その数値に対応した補正パターンを指定することができます。

◆ **下地追従**

新聞紙などのように、地色が白でない用紙を読み取る場合に使用します。
自動, **有効**, **無効**の３つの選択肢の中から１つを指定してください。有効を選択した場合は、下地追従（線図）モードとして読み取りを行い、無効を選択した場合は、白基準固定（写真）モードとして読み取りを行います。自動を選択した場合には、「画像タイプ」の指定に従って、最適な設定に自動的に切り替わります。

下地追従とは、原稿の下地の白部分の光密度を調整し、読み取った画素毎に異なる補正を行うことで、不規則性を訂正することをいいます。

IPC-3/3D は感度が高いため、下地追従を選択すると、背景のノイズが増える場合がありますので通常は OFF のままお使いください。

「画像タイプ」で「多値（グレースケール）」を選択している場合は設定ができません。

また、装置により、サポートされない機種があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ **ドロップアウトカラー**

緑，赤，青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取ることができます。例えば、赤い枠がついた、黒い文字を読み取る場合、「赤」を選択して読み取りをおこなえば、黒い文字の部分だけを読み取ることができます。

「白」または、「なし」を選択した場合は、緑、赤、青のドロップアウトをおこないません。

ただし、「白」を選択した場合は、黄色などの色がドロップアウトすることがあります。

「なし」を選択した場合は、お使いのパソコンによっては、読み取り速度が低下する場合があります。

なお、装置によってはサポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ **白黒反転**

読み取りイメージの白と黒を反転するかどうかを指定します。

チェックした場合は、画像の黒と白の画素を、それぞれ白と黒の画素に変えることで反転します。チェックしない場合は、画像の白黒

イメージのままで読み取ります。
お使いのアプリケーションによっては、正常に動作しない場合がありますので、正常に動作しない場合は、アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

4.8.2. 画像処理

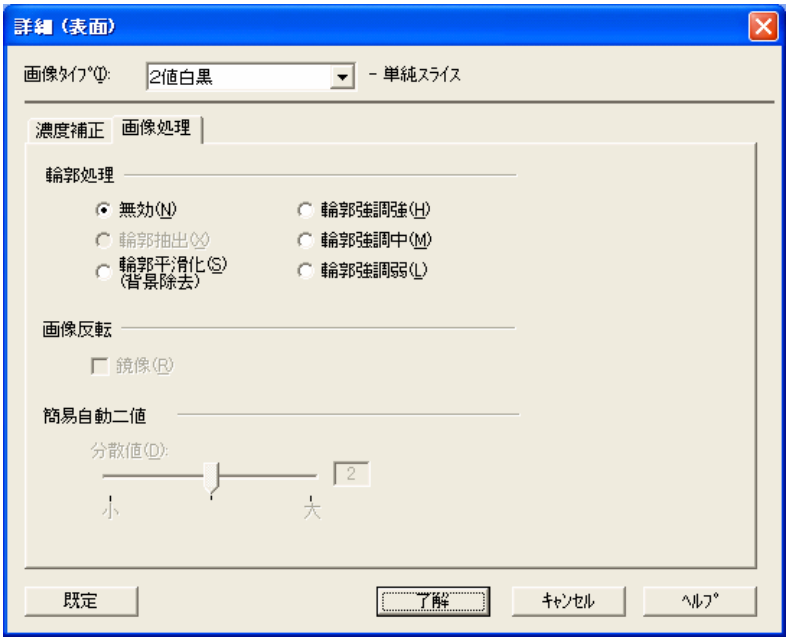
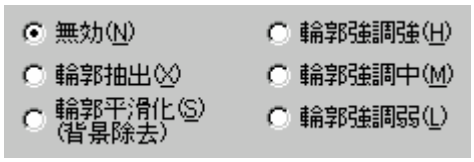


図 詳細ダイアログ（画像処理）

◆ 輪郭処理



読み取ったイメージの鮮明度を設定します。

「無効」，「輪郭抽出」，「平滑化」または「輪郭強調」の中からいずれか１つを指定します。

無効

輪郭処理を行いません。

輪郭抽出

画像の輪郭を抽出して出力します。

閉じた領域ごとに、白と黒の領域の境界がトレースされて

輪郭が抽出されます。

「簡易自動２値」と「輪郭抽出」は排他的に有効になります。

輪郭平滑化

ギザギザになった線を取り除いて、画像内の曲線を滑らかにします。

輪郭強調−強

強めに輪郭を強調して出力します。

最も鮮明なイメージになります。

輪郭強調−中

中くらいの強度で輪郭を強調して出力します。

適度に鮮明なイメージになります。

輪郭強調−弱

弱めに輪郭を強調して出力します。

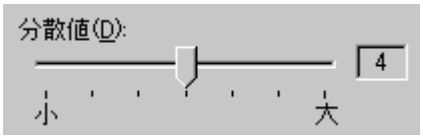
ほんの少し鮮明なイメージになります。

◆ 鏡像

読み取り軸に沿って画像を裏返しにするかどうかを指定します。

チェックした場合、鏡に映した時のような画像が得られます。

◆ 分散値（簡易自動２値）



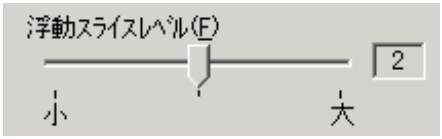
画像の輝度レベルに基づいて画像の動的スレッシュホールドを調整するための値を指定します。

値の指定は、スライダにより行います。値が小さいほど分散値が低くなり、大きいほど分散値が高くなります。スライダのつまみを任意の位置にドラッグすることで設定します。右側に現在の設定値が

表示されます。主に文字認識（ＯＣＲ）で使用し、同一の文書内の暗い部分と明るい部分を両方とも効果的に読み取ることができます。

簡易自動２値設定時のみ有効となります。

◆　**浮動スライスレベル（簡易自動２値）**



浮動スライスによる２値化処理を行う際の、レベルを設定します。

地色の濃い原稿を読取る際は、大きめに設定してください。

自動２値（浮動スライス）設定時のみ表示されます。

4.8.3. 自動二値

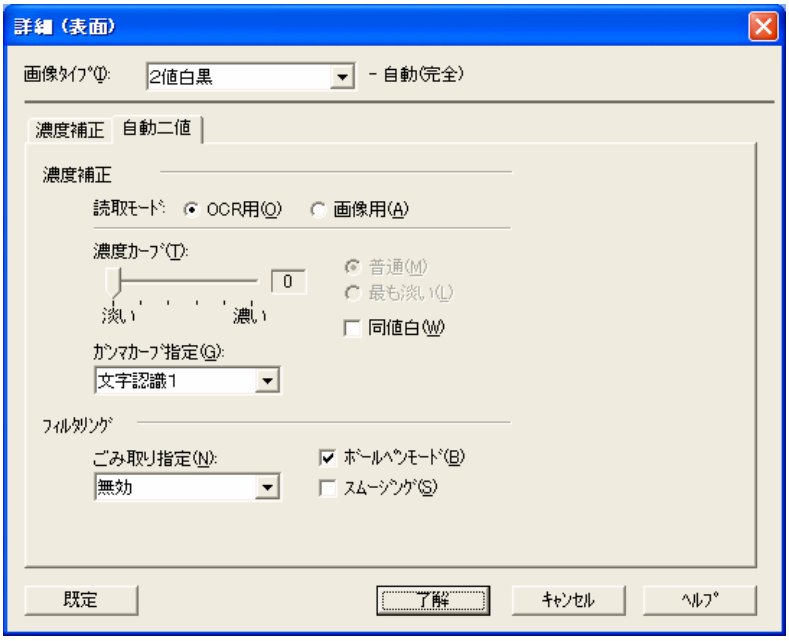
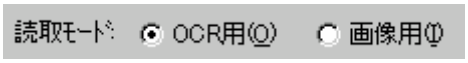


図　詳細ダイアログ(自動２値)

◆　読取モード



以下の２種類の読取モードから選択します。

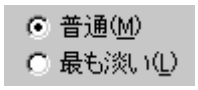
「ＯＣＲ用」：画像の不規則性が望ましくない、文字認識アプリケーション向き。

「画像用」　：前もって平滑化せずに画像を読み取る、画像読み取りアプリケーション向き。

本指定により、枠で囲まれている「濃度カーブ」「ガンマカーブ指定」の選択項目、選択肢が変化します。

IPC-3/3D および IPC-4D を搭載している場合は、［OCR 用］と[画像用]の選択画面は表示されません。

◆ 濃度カーブ



スレッシュホールドと最大密度との関係を指定します。

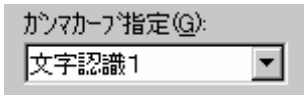
「読取モード」の設定により、指定方法が変わります。

「ＯＣＲ用」の場合、傾きと密度のレベルの設定をスライダにより行います。スライダのつまみを任意の位置にドラッグすることで設定します。スライダの右側に現在の設定値が表示されます。(左図)

「画像用」の場合、「普通」か「最も淡い」のどちらかを選択します。（右図）

IPC-3/3D および IPC-4D を搭載している場合は、「OCR 用」と「画像用」の区別はありません。（右図は表示されません。）

◆ ガンマカーブ指定



ガンマ補正カーブのパターンを指定します。

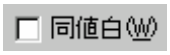
「読取モード」の設定により、選択肢が変わります。

「ＯＣＲ用」の場合、文字認識１、文字認識２のどちらかを選択します。

「画像用」の場合、「濃い画像用」、「均等分割」のどちらかを選択します。

IPC-3/3DおよびIPC-4Dでは、自動コントラストを調整するため、ガンマカーブ指定の必要はありません。(「ガンマカーブ指定」は表示されません。)

◆ 同値白



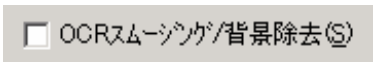
２値化の際、スレッシュホールドの値と読み取ったデータの値が等しい時、このデータを黒とするか白とするかを指定します。

IPC-4D では、**本項目は**選択できません。

◆ ボールペンモード

鉛筆やボールペンで作成された画像を読み取る場合、鉛筆やボールペンのインクの反射光特性は均一でないため、文字の一部の画素が脱落する場合があります。「ボールペンモード」チェックボックスをチェックすると、文字内の明るい領域を検出して、とぎれた線と細い線を補正するフィルタリングを行います。

◆ OCR ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ/背景除去



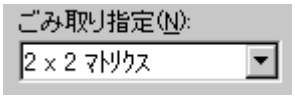
ＯＣＲスムージングは、線画のギザギザ部分を滑らかにする機能、背景除去は、背景のムラを取り除く機能です。

選択した場合に、有効となります。

IPC の種類により、動作する機能が異なりますので、詳しくは IPC ﾎﾞｰﾄﾞ添付のユーザーズガイドをご覧ください。

IPC-3/3D では、「ごみ取り指定」と「OCR ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ/背景除去」は排他的に有効になります。

◆ ごみ取り指定



白い領域の中の黒い小さな点や、黒い領域の中の白い小さな点を「ごみ」や「しみ」とみなして、自動的に除去する機能です。

２×２から５×５ドットマトリクスまでの粒子を除去するアルゴ

リズムを指定することができます。１ドットは解像度に依存し、４００ｄｐｉでは、４００分の１インチに相当します。粒子は、指定した画素数内で別のドットに接続しているかいないかで、文字と区別します。

IPC-3/3D では、「ごみ取り指定」と「OCR ｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ/背景除去」は排他的に有効になります。

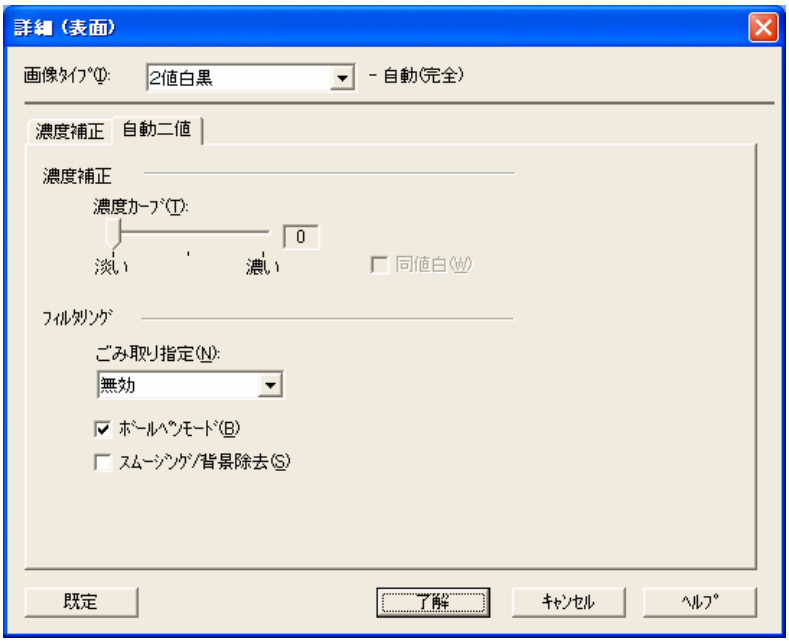


図　詳細のダイアログ（自動２値）<IPC-3/3DおよびIPC-4D搭載時>

4.8.4. カラー設定時（／グレースケール設定時）

カラー対応装置の場合、画像タイプにカラーを選択すると、以下のようなダイアログ構成に変わります。また、一部のカラー対応装置では、グレースケールを選択したときも同様の画面が表示されます。

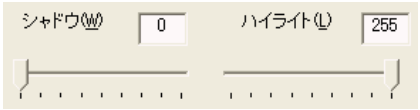
画面には、サンプル画像（補正前）と補正後の画像が表示されていて、各設定項目を変更すると、変更した内容が補正後の画像に反映されます。

各設定項目の効果を、画像サンプルを見ながら適正な値に調整することができます。

（カラー選択時）　　（グレースケール選択時）

図　詳細のダイアログ（色補正）

◆　**シャドウ／ハイライト**　（カラー/グレースケール共通）



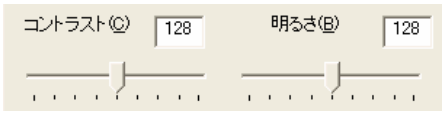
シャドウ：

画像中の最も暗い部分のレベルを指定します。値を大きくすると濃い画像となります。反対に小さくすると淡い画像になります。

ハイライト：

画像中の最も明るい部分のレベルを指定します。値を大きくすると濃い画像となります。反対に小さくすると淡い画像になります。シャドウとハイライトはそれぞれ入力レベルの上限と下限を示しその間のレベルを０～２５５に分配化して出力します。この間隔が狭いとコントラストの強い画像になります。

◆　**コントラスト／明るさ**（カラー/グレースケール共通）



コントラスト：

読み取ったイメージの濃淡の強さを設定します。

1(弱い(ソフト))～255(強い(シャープ))の範囲で指定します。

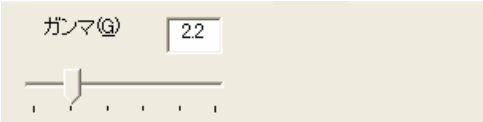
この設定値を大きくするとイメージの濃い部分はより濃く、淡い部分はより淡く読み取られます。

スキャナの機種により、サポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

明るさ：

イメージ全体の明るさを設定します。**1(明るい)～255(暗い)**の範囲で指定します。イメージ全体を暗くしたい場合は設定値を大きく、全体を明るくしたいと感じる場合は設定値を小さくします。

◆ **ガンマ**（カラー/グレースケール共通）

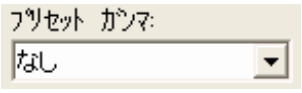


画像の非線形性を補正します。スキャナ内のセンサは、文書から反射した光密度に対して線形的な出力をしますが、ほとんどの出力端末は入力に対して線形出力をしないため、線形性の調整が必要となります。

0.1～10.0 の範囲で任意の数値を指定することができます。

グレースケール設定時は、[プリセットガンマ：]の設定が「カスタム」のときに設定可能となります。

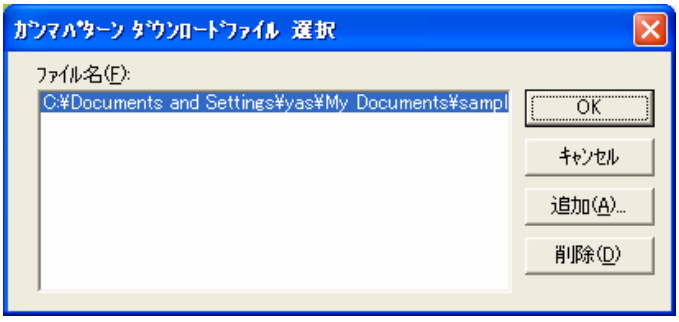
◆ **プリセットガンマ**（グレースケールのみ）



画像の非線形性を補正します。スキャナ内のセンサは、文書から反射した光密度に対して線形的な出力をしますが、ほとんどの出力端末は入力に対して線形出力をしないため、線形性の調整が必要となります。

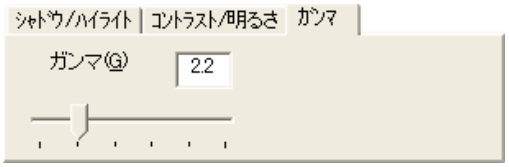
補正パターンには、**なし、ソフト、ハード、ダウンロード、カスタム**の５通りの設定できます。

装置により、サポートされないパターンがあります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

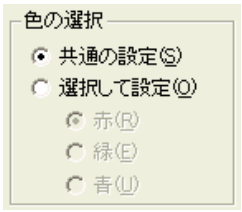


[ダウンロード]を選択すると、上記ダイアログが表示されます。ファイル名一覧から使用するガンマパターンダウンロードファイルを選択して［OK］ボタンを押してください。指定されたパターンでの補正処理を行います。
ガンマパターンダウンロードファイルが一覧に登録されていない場合は、[追加]ボタンにて登録を行ってください。
なお、ファイルの記述方法等につきましては、後述する「ダウンロードパターンファイルについて」を参照してください。

[カスタム]を選択すると、画面左下の[シャドウ／ハイライト］、[コントラスト／明るさ］、[ガンマ]タブから、数値による指定が可能になります。



◆ **色の選択**（カラーのみ）

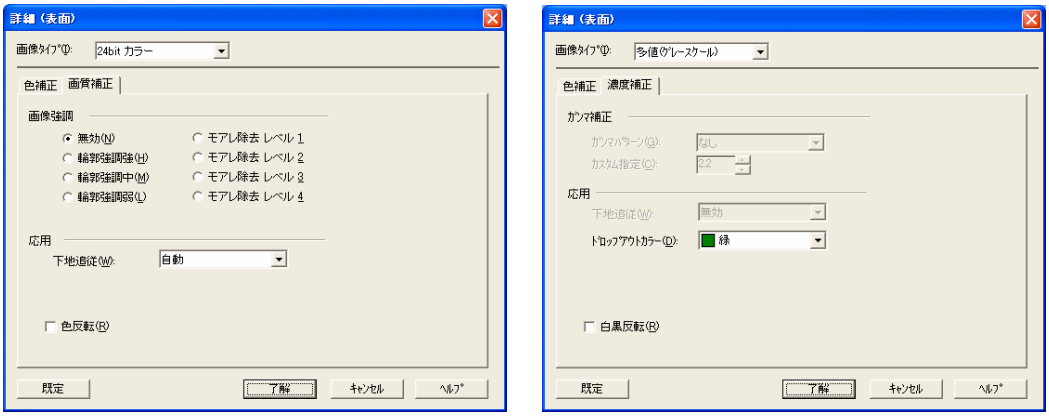


シャドウ／ハイライト、コントラスト／明るさ、ガンマの設定を色ごとに行うことができます。

◆ **sRGB 出力**（カラー/グレースケール共通）

Windows®の標準カラープロファイル「sRGB Color Space Profile.icm」の色管理情報を利用して読み取りを行います。

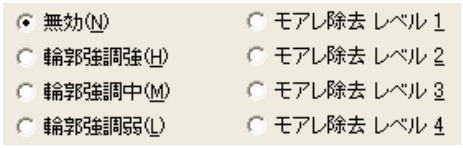
※「色の管理」についての詳細は、Windows のヘルプを参照してください。



画像補正（カラー選択時）　　濃度補正（グレースケール選択時）

図　詳細のダイアログ（画質補正/濃度補正）

◆　画像強調（カラーのみ）



読み取ったイメージの鮮明度を設定します。「無効」，「モアレ除去」または「輪郭強調」の中からいずれか１つを指定します。

無効

輪郭処理を行いません。

輪郭強調強

強めに輪郭を強調して出力します。

最も鮮明なイメージになります。

輪郭強調中

中くらいの強度で輪郭を強調して出力します。

適度に鮮明なイメージになります。

輪郭強調弱

弱めに輪郭を強調して出力します。

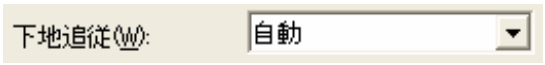
ほんの少し鮮明なイメージになります。

モアレ除去 レベル１／２／３／４

画像内を平滑化しモアレを除去します。

レベルが大きいほど平滑化の度合いが大きくなります。

◆ **下地追従**（カラーのみ）



新聞紙などのように、地色が白でない用紙を読み取る場合に使用します。

自動, **有効**, **無効**の３つの選択肢の中から１つを指定してください。有効を選択した場合は、下地追従（線図）モードとして読み取りを行い、無効を選択した場合は、白基準固定（写真）モードとして読み取りを行います。自動を選択した場合には、「画像タイプ」の指定に従って、最適な設定に自動的に切り替わります。

下地追従とは、原稿の下地の白部分の光密度を調整し、読み取った画素毎に異なる補正を行うことで、不規則性を訂正することをいいます。

なお、装置によってはサポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ **色反転／白黒反転**（カラー/グレースケール共通）

読み取りイメージの色を反転するかどうかを指定します。

チェックした場合は、入力画像の色が反転します。チェックしない場合は、入力画像のイメージのままで読み取ります。

お使いのアプリケーションによっては、正常に動作しない場合がありますので、正常に動作しない場合は、アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

なお、装置によってはサポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

◆ **ドロップアウトカラー**（グレースケールのみ）

緑，赤，青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取ることができます。例えば、赤い枠がついた、黒い文字を読み取る場合、「赤」を選択して読み取りをおこなえば、黒い文字の部分だけを読み取ることができます。

「白」または、「なし」を選択した場合は、緑、赤、青のドロップアウトをおこないません。

ただし、「白」を選択した場合は、黄色などの色がドロップアウトすることがあります。

「なし」を選択した場合は、お使いのパソコンによっては、読み取り速度が低下する場合があります。

なお、装置によってはサポートされない場合があります。付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照してください。

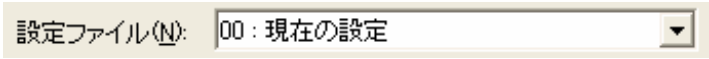
4.9. 設定管理オプションの設定

設定ファイルの管理および、簡易ダイアログ表示切り替えの設定を行います。

メインダイアログの[管理]ボタンを押すと、下記のような「設定管理ダイアログ」が表示されます。

図　設定管理ダイアログ

◆　設定ファイル

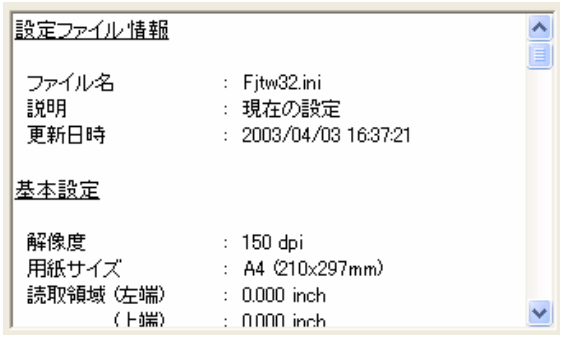


読取条件の設定情報を１つの「設定ファイル」として保存しておくことができます。

あらかじめ本ダイアログで設定された読取条件の設定を、設定ファイル一覧から選択することにより、読取条件を一つ一つ設定しなくても、一度に設定することができます。設定ファイル一覧は、 を押すことにより表示されます。

ここによく使う読取条件を何種類か登録しておくと、次回からの読取作業を効率良く行うことができます。

◆ 設定ファイル情報

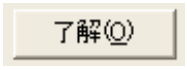


「設定ファイル」にて選択させた設定ファイルの情報が表示されます。

◆ [次回起動時に簡易ダイアログを表示]チェックボックス

このチェックボックスをチェックすると、次回のドライバ起動時に「簡易ダイアログ」が起動します。

◆ [了解]ボタン

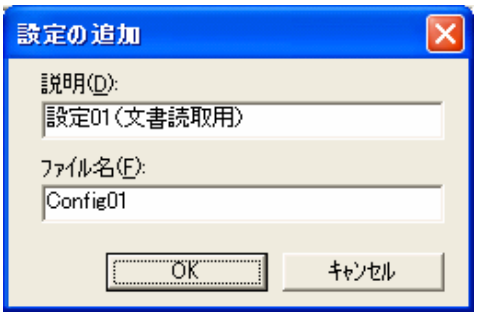


本ダイアログで設定された内容を有効として、本ダイアログを閉じ、メインダイアログに戻ります。

◆ [追加]ボタン

現在のドライバの設定状態を、設定ファイルに追加します。

[追加]ボタンを押すと、設定の追加ダイアログが表示されます。「説明」および「ファイル名」を以下の例のように入力し、[OK]ボタンを押すと、新しい設定ファイルとして追加されます。中止したい場合は、[キャンセル]ボタンを押してください。



説明　　：設定ファイルの選択肢として表示させたい文字列を入力してください。

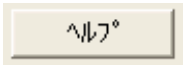
ファイル名：設定を保存するためのファイルの名前を指定します。

◆　［削除］ボタン

不要になった設定ファイルを削除します。

削除したい設定ファイルを選択した状態で[削除]ボタンを押してください。確認のためのダイアログが表示され、[OK]ボタンを押すと設定ファイルが削除されます。中止したい場合は[キャンセル]ボタンを押してください。

◆　［ヘルプ］ボタン



オンラインヘルプを表示します。

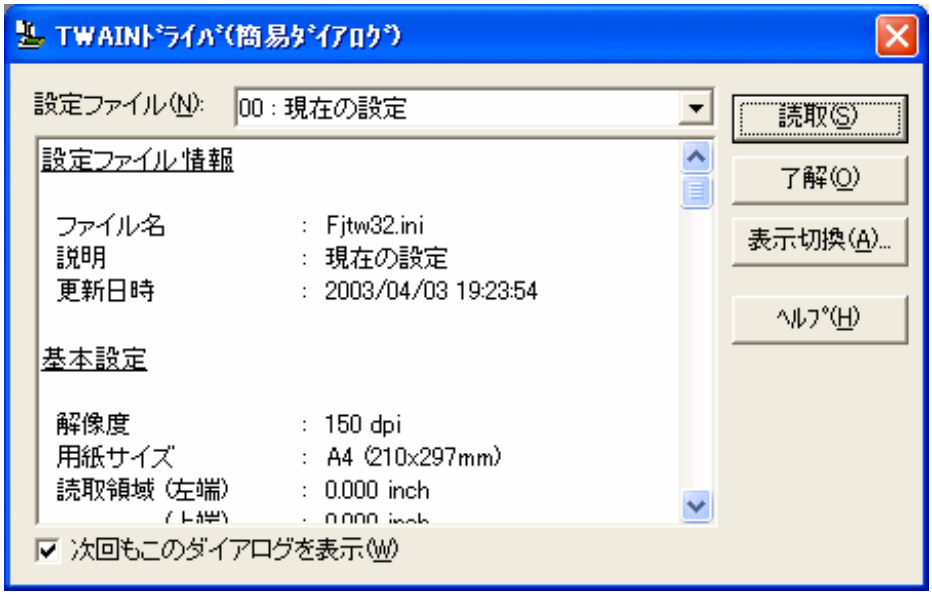
◆　［初期化］ボタン

現在のドライバの設定を、インストール直後の状態に戻します。

4.10. 簡易ダイアログについて

メインダイアログの細かい設定機能を省き、読取り作業に必要な最小限の機能を盛り込んだダイアログです。
登録されている設定ファイルを選択することにより、簡単な操作で読取作業を行うことができます。
定型作業を行う際の誤操作防止にも役立ちます。

設定管理ダイアログの［次回起動時に簡易ダイアログを表示］チェックボックスをチェックすることにより、次回起動時にメインダイアログの代わりに簡易ダイアログが表示されます。



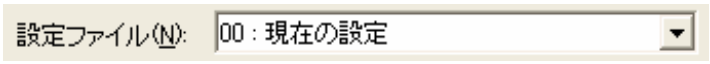
〈読取操作手順〉

1. 設定ファイル一覧から使用するファイルを選択します。
2. ［読取］ボタンをクリックします。

→設定ファイル情報の設定に従い、読み取りを実行します。

〈構成〉

◆　設定ファイル



設定ファイルが一覧表示されます。目的のファイルを選択することによって、そのファイルに保存されている設定情報が読み込まれ、読取実行時に反映されます。

◆　設定ファイル情報

選択した設定ファイルの設定内容が表示されます。

◆　［読取］ボタン

設定ファイルに従い、読取動作を実行します。

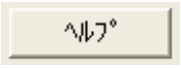
◆　［了解］ボタン

読み取りを行わずに終了します。

◆ ［表示切替］ボタン

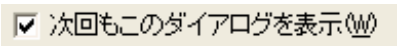
簡易ダイアログ表示から、通常のメインダイアログ表示に切り替えます。

◆ ［ヘルプ］ボタン



オンラインヘルプを表示します。

◆ ［次回もこのダイアログを表示］チェックボックス



このチェックボックスがチェック状態の場合、次回起動時にも簡易ダイアログが起動します。チェックをはずすと、次回起動時には通常のメインダイアログが表示されます。

4.11. ダウンロードパターンファイルについて

本ドライバで使用する「ダウンロードパターンファイル」とは、スキャナで各種画像処理を行う際に使用するパターンを定義したファイルのことをいいます。本ファイルには、下記の二種類があり、それぞれ、「ダウンロード」を選択した時に表示させる「ダウンロード選択ダイアログ」を使用して選択することが可能です。ファイルは、下記の決まりに従ったテキストファイルですので、適当なテキスト編集プログラム(オペレーティングシステムに付属の「メモ帳」等)で編集してください。

◆ **ディザダウンロードパターンファイル**

ディザダウンロードファイルで定義されたパターンをスキャナへダウンロードすることにより、任意のディザパターンで画像を読み取ることが可能になります。ここで、定義されたパターンは、「ハーフトーン」で、「ダウンロード」を選択することにより有効になります。

ただし、装置によってはサポートをしていないものもありますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照ください。

また、ファイル名の拡張子は、標準では「.DTH」ですが、この名前を使わなくても構いません。

記述構成:

(X 方向のサイズ n),(Y 方向のサイズ m),
(X1/Y1 座標のパターン値),
(X1/Y2 座標のパターン値),
(X1/Y2 座標のパターン値),.....
(Xn/Ym-2 座標のパターン値),
(Xn/Ym-1 座標のパターン値),
(Xn/Ym 座標のパターン値)

各要素の意味:

(X 方向のサイズ n)は、X 方向のマトリックスサイズを表します。本ドライバが対象とするスキャナでは、**8** を指定してください。[1]

(Y 方向のサイズ m)は、Y 方向のマトリックスサイズを表します。本ドライバが対象とするスキャナでは、**8** を指定してください。[1]

(Xx/Yy パターン値)X 方向の座標が x で Y 方向の座標が y の明るさを示す値 0(明るい)～255(暗い)が入ります。

注: 各要素間は、数字以外の任意の区切り文字で区切ってください。通常は、, (カンマ)をお使いください。

例: 8×8 マトリックスの場合

8, 8,
128, 128, 128, 128, 128, 128, 128, 128,
255, 128, 128, 128, 128, 128, 128, 128,
255, 255, 128, 128, 128, 128, 128, 128,
255, 255, 255, 128, 128, 128, 128, 128,
255, 255, 255, 255, 128, 128, 128, 128,
255, 255, 255, 255, 255, 128, 128, 128,
255, 255, 255, 255, 255, 255, 128, 128,
255, 255, 255, 255, 255, 255, 255, 128

8 要素

8 要素

[1] fi-5650C、fi-5750Cの場合、1～32までの値を指定できます。

◆ **ガンマダウンロードパターンファイル**

ガンマダウンロードファイルで定義されたパターンをスキャナへダウンロードすることにより、任意のガンマ補正処理を行うことが可能になります。ここで、定義されたパターンは、「ガンマ補正」で、「ダウンロード」を選択することにより有効になります。

ただし、スキャナの機種によってはサポートをしていないものもありますので、付録に記載の「イメージスキャナ仕様」を参照ください。

また、ファイル名の拡張子は、標準では、「.GMA」ですが、この名前を、使わなくても構いません。

本ガンマダウンロードパターンファイルは、後述するガンマ補正パターン編集ユーティリティを使用することにより、簡単に作成することができます。

記述構成:

(X 方向の階調),(Y 方向の階調),
(X0 出力値), (X1 出力値), (X2 出力値), ...
(X253 出力値), (X254 出力値), (X255 出力値)

各要素の意味:

(X 方向の階調)は、入力値の大きさ、階調を表します。(本ドライバでは、256 に固定)

(Y 方向の階調)は、出力値の大きさ、階調を表します。(本ドライバでは、256 に固定)

(Xx 出力値)は、入力値 x に対する出力値を 0(明るい)～255(暗い)で表します。

注: 各要素間は、数字以外の任意の区切り文字で区切ってください。通常は、, (カンマ)をお使いください。

例:

256, 256,

255, 254, 253, 252, 251, 250, 249, 248, 247, 246, 245, 244, 243, 242, 241, 240, 239, 238, 237, 236, 235, 234, 233, 232, 231, 230, 229, 228, 227, 226, 225, 224, 223, 222, 221, 220, 219, 218, 217, 216, 215, 214, 213, 212, 211, 210, 209, 208, 207, 206, 205, 204, 203, 202, 201, 200, 199, 198, 197, 196, 195, 194, 193, 192, 191, 190, 189, 188, 187, 186, 185, 184, 183, 182, 181, 180, 179, 178, 177, 176, 175, 174, 173, 172, 171, 170, 169, 168, 167, 166, 165, 164, 163, 162, 161, 160, 159, 158, 157, 156, 155, 154, 153, 152, 151, 150, 149, 148, 147, 146, 145, 144, 143, 142, 141, 140, 139, 138, 137, 136, 135, 134, 133, 132, 131, 130, 129, 128, 127, 126, 125, 124, 123, 122, 121, 120, 119, 118, 117, 116, 115, 114, 113, 112, 111, 110, 109, 108, 107, 106, 105, 104, 103, 102, 101, 100, 99, 98, 97, 96, 95, 94, 93, 92, 91, 90, 89, 88, 87, 86, 85, 84, 83, 82, 81, 80, 79, 78, 77, 76, 75, 74, 73, 72, 71, 70, 69, 68, 67, 66, 65, 64, 63, 62, 61, 60, 59, 58, 57, 56, 55, 54, 53, 52, 51, 50, 49, 48, 47, 46, 45, 44, 43, 42, 41, 40, 39, 38, 37, 36, 35, 34, 33, 32, 31, 30, 29, 28 , 27, 26, 25, 24, 23, 22, 21, 20, 19, 18, 17, 16, 15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0

5. ガンマ補正パターン編集ユーティリティの使い方

5.1. 起動方法

［スタート］ボタン－［プログラム］－「Scanner Utility for Microsoft Windows」から、「ガンマ補正パターン編集ユーティリティ」を選択してください。
下図のような画面がウィンドウ上に現れます。

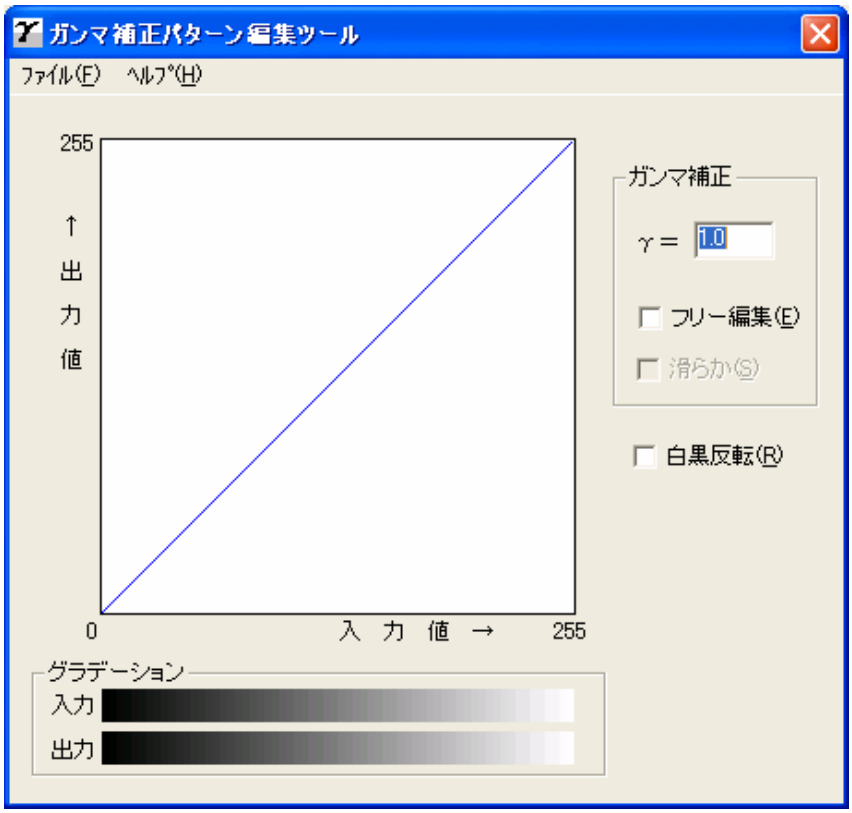
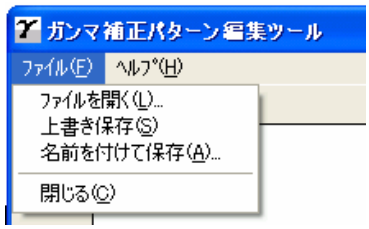


図　ガンマ補正パターン編集ツール起動画面

5.2. ［ファイル］メニュー



◆ ［ファイルを開く...］

ガンマダウンロードファイルを読み込み、グラフとグラデーションを表示します。開いたファイル名はグラフ領域の上に表示されます。

◆ ［上書き保存］

現在編集中のガンマ補正パターンを、グラフ領域の上に表示されているファイル名で保存します。ファイル名が表示されていない状態の時は、名前を付けてファイルに保存します。

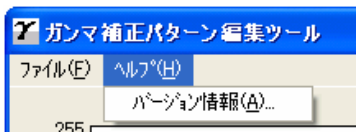
◆ ［名前を付けて保存...］

現在編集中のガンマ補正パターンを、名前を付けてファイルに保存します。保存したファイル名はグラフ領域の上に表示されます。

◆ ［閉じる］

本ユーティリティプログラムを終了します。

5.3. ［ヘルプ］メニュー



◆ ［バージョン情報. . . ］

本ユーティリティに関する情報、およびバージョンを表示します。

5.4. ガンマ補正パターンの編集

◆ グラフ領域

黒線で四角く囲まれた256ﾄﾞｯﾄ×256ﾄﾞｯﾄの白い領域がグラフ領域で、入力値 0～255（横軸）と出力値 0～255（縦軸）の関係が青線で描かれます。グラフは 1 ドットにつき 1 目盛です。

◆ グラデーション

入力は左端を 0 とし、右端を 255 として 1 ドット毎に 256 階調にモノクロ表示し、スキャナから取り込んだ明るさを表します。表示内容は常に一定です。

出力は入力値に対応させて 1 ドット毎に表示され、出力装置に表示される明るさを表します。正確な表示を行うためには、ディスプレイの設定が”True color”である必要があります。

◆ ガンマ補正（γ＝）

エディットボックスに入力された値γを元に出力値を計算してグラフとグラデーションを表示します。入力できる値は 0 より大きい整数または小数です。

《計算式》　出力値＝（入力値÷255）$^{\gamma}$×255　　（入力値＝0～255）

◆ フリー編集

グラフ領域内にマウスカーソルにより直接グラフを描画するかどうかを指定します。

チェックした場合、ガンマ補正入力エディットボックスは使用できなくなり、マウスカーソルによる編集のみが可能となります。

◆ 滑らか

編集する曲線を滑らかな形にスムージングするかどうかを指定します。

フリー編集時のみ有効となります。本設定により、マウスなどにより描いた曲線は自動的に滑らかになるように処理され、グラフとグラデーション表示に反映されます。

◆ **白黒反転**

白と黒を反転させるかどうかを指定します。本設定をチェックした場合、現在の出力値を、（255－出力値）に変換します。

6. スキャナとカメラのプロパティの設定

6.1. スキャナとカメラプロパティの表示

［コントロールパネル］から、［スキャナとカメラ］を選択してください。
ここで、正常にドライバがインストールされている場合には、お使いのスキャナ装置が表示されますので、機種名をダブルクリックするか、または右クリックで［プロパティ］を選択してください。プロパティ画面が表示されます。

ここでは、イベントの設定、スキャナ装置の診断、各種装置に関する情報の確認、および装置設定などを行うことができます。以降に、それぞれの使い方について説明を記載いたします。

※機種によっては、［イベント］および［装置設定］タブが表示されない場合があります。

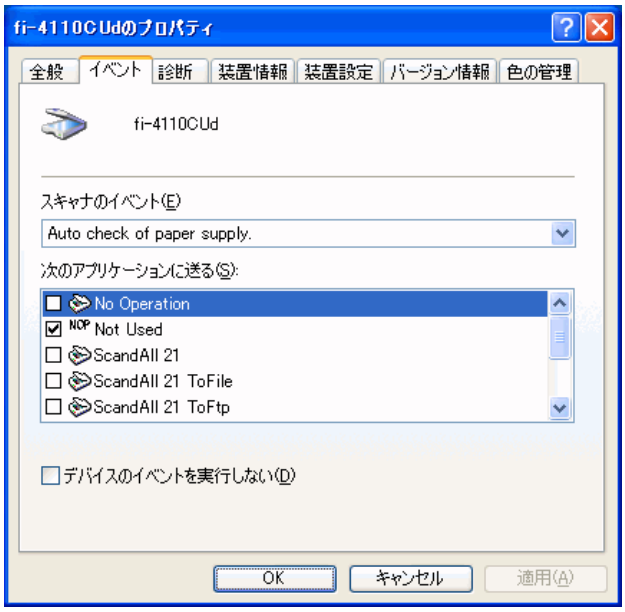
6.2. 全般タブ

この画面より、接続スキャナの全般的な情報の表示、及び接続のテストを行うことができます。

6.3. イベントタブ

この画面では、「スキャナ装置上のボタンを押す」、「原稿をスキャナにセットする」などの“スキャナ イベント”が発生したときに、自動的に起動するアプリケーションの設定を行います。

(本機能に対応していない装置では、本タブは表示されません。)



◆ スキャナイベント

アプリケーションを起動させるための“スキャナイベント”を選択します。

以下のイベントから、設定を行いたい項目を選択してください。

“Auto check of paper supply”

スキャナの ADF に原稿をセットした場合

“Start button”、または **“Scan button”**

装置の[Start]ボタン、または[Scan]ボタンを押した場合

“Send to 1～9”

装置の[SendTo]ボタンを押した場合

(※装置により、表示されないものがあります。)

◆ 次のアプリケーションに送る

［スキャナイベント］にて指定されたイベントが発生した時に起動するアプリケーションを指定します。起動させたいアプリケーションにチェックを付けてください。

複数指定も可能ですが、その場合は、イベント発生時に、起動するアプリケーションを選択する画面が表示されます。

イベントごとに、異なるアプリケーションを起動することもできます。

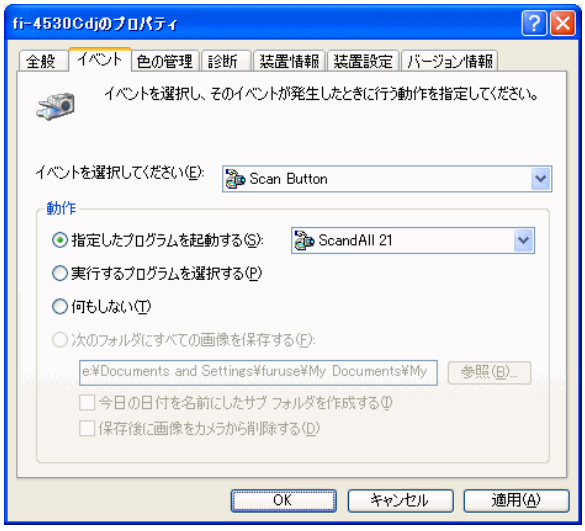
◆ デバイスのイベントを実行しない

本機能を使用しない場合に、チェックを付けます。

※[OK]ボタンや[適用]ボタンを押しても上記設定が有効にならない場合は、PC を再起動してください

Windows XP の場合、以下の画面が表示される場合があります。

（※機能的には同じものです。）



◆ イベントを選択してください

アプリケーションを起動させるための“スキャナイベント”を選択します。

以下のイベントから、設定を行いたい項目を選択してください。

“Feeder loaded with paper”

スキャナの ADF に原稿をセットした場合

“Start button”、または **“Scan button”**

装置の[Start]ボタン、または[Scan]ボタンを押した場合

“Send to 1～9”

装置の[SendTo]ボタンを押した場合

（※装置により、表示されないものがあります。）

◆ **動作**

「イベントを選択してください」で選択したイベントが発生したときの動作を指定します。

ー指定したプログラムを起動する

右のリストボックスで選択されているアプリケーションが起動します。

ー実行するアプリケーションを選択する

アプリケーションを選択する画面が表示されます。

ー何もしない

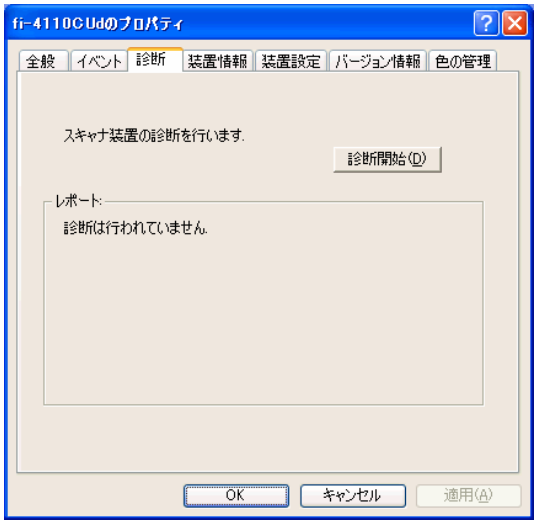
イベントが発生しても、何もしません。

本機能を使用しない場合に、選択します。

6.4. 診断タブ

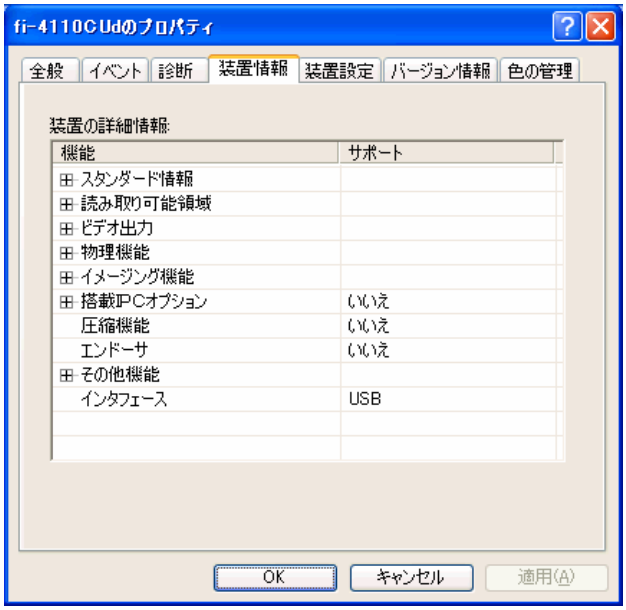
全般タブのデバイスのテストよりも詳しい診断を行います。実行する場合には、[診断開始]ボタンをクリックしてください。

ただし、本機能は、Windows® 2000 および Windows® XP プラットフォーム上では Administrator 権限を持ったユーザーでのみご使用いただけます。



6.5. 装置情報タブ

対象となるスキャナ装置が対応している機能一覧を表示します。表示項目は、対象となる機種によってことなります。ただし本表示は、ハードウェア自身の機能であり、ソフトウェアで実現されている機能に関しては、表示されていませんので、前述の読取時などに指定できる値とは一致しない場合があります。このタブは、スキャナ装置が使用中や接続されていない場合には、表示されません。表示されない場合には、スキャナ使用中のアプリケーションを終了するか、接続を確認したあと、再度表示させてください。



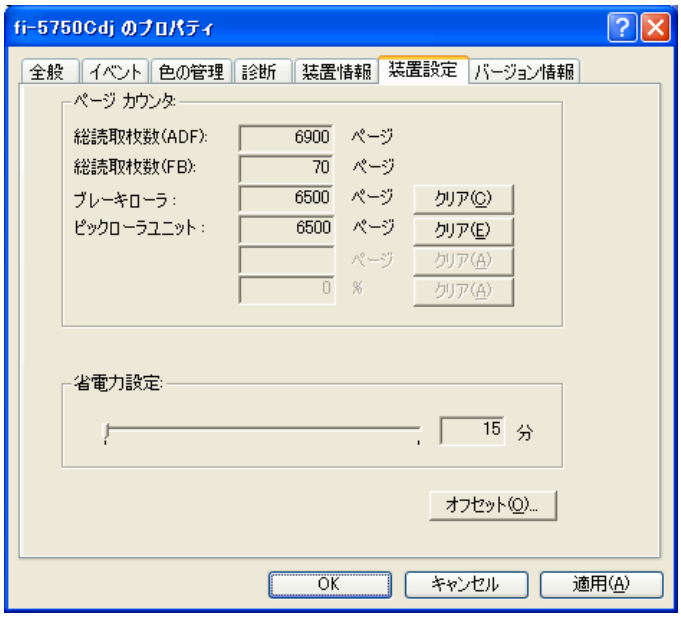
6.6. 装置設定タブ

スキャナ装置の挙動や保守に関わる情報を表示、設定することができます。

ただし、装置によっては、表示されない場合や、設定できない項目（グレーアウト表示されます。）がある場合があります。

設定の変更を行うと適用ボタンが有効となり、変更された設定は適用ボタン、もしくは［OK］ボタンをクリックした場合に装置に対して反映されます。このタブは、スキャナ装置が使用中や接続されていない場合には、表示されません。表示されない場合には、スキャナ使用中のアプリケーションを終了するか、接続を確認したあと、再度表示させてください。

また、本機能は、Windows®2000 および Windows®XP プラットフォーム上では Administrator 権限を持たないユーザーでは、設定を変更することはできません。



◆ **ページカウンタ**：

いままで ADF およびフラットベッド（FB）にて読取を行った総概算枚数や、消耗品を交換してから読取を行った概算枚数および、インプリンタのインク残量を表示します。

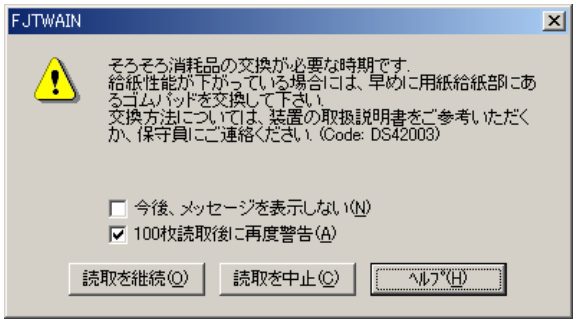
消耗品を交換した後は、［クリア］ボタンを押して、消耗品カウンタをリセットしてください。

装置によっては、本操作は、装置のオペレーションパネル上から操作できるものもあります。また、消耗品の品名表示および個数は装置により異なります。詳しくは、装置の取扱説明書をご覧ください。

注意

スキャナ装置の機種によっては、一度[装置設定]タブを表示すると、装置オペレーションパネルの操作ができなくなる場合があります。
このような場合には、一旦この画面を閉じでから、装置の電源を ON/OFF してください。装置起動後にオペレーションパネル操作が可能になります。

また、スキャナを使用していると、以下のようなメッセージが表示されることがあります。



このメッセージが表示されたら、指示に従い以下の通り交換作業をおこなってください。

＜すぐに消耗品を交換する場合＞

① [今後メッセージを表示しない]※をチェックします。

② 現在読取中の原稿をすべて読み取ってから交換する場合は、[読取を継続]ボタンを、読取作業を中断してすぐに交換する場合は、[読取を中断]ボタンを押して下さい。

③ 装置の取扱説明書に従い、消耗品を交換してください。

④ [装置設定]-[ページカウンタ]の[クリア]ボタンを押して、消耗品カウンタをリセットしてください。

＜後で消耗品を交換する(すぐに交換できない)場合＞

① 今後、このメッセージを表示させないようにしたい場合は、[今後メッセージを表示しない]※を、XXX 枚読取後に再度メッセージを表示させたい場合は、[xxx 枚読取後に再度警告]をチェックしてください。

② 現在の読取作業を継続させたい場合は、[読取を継続]ボタンを、読取作業を中断する場合は、[読取を中断]ボタンを押して、メッセージを閉じでください。

③ 次にこのメッセージが表示された時、あるいはそれ以前にできるだけ早く消耗品交換を行うようにしてください。

④ 消耗品交換後は、[装置設定]-[ﾍﾟｰｼﾞｶｳﾝﾀ]の[クリア]ボタンを押して、消耗品カウンタをリセットしてください。

(※…[今後メッセージを表示しない]をチェックすると、消耗品カウンタをリセットするまで、本メッセージは二度と表示されませんのでご注意ください。)

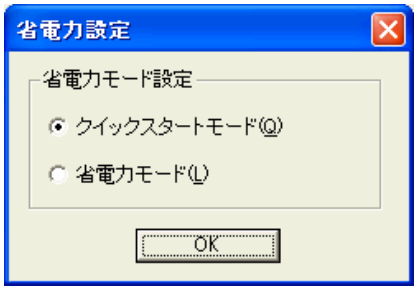
◆ 省電力設定

読取を行った後、ランプを消灯するまでの時間を指定します。

◆ ［省電力設定］ボタン

省電力モードに関する設定を行います。

このボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。



ークイックスタートモード

スキャナ装置の利用状況に関わらず、ランプが点灯したままになるため、ランプが安定するまでの待ち時間を省くことができます。

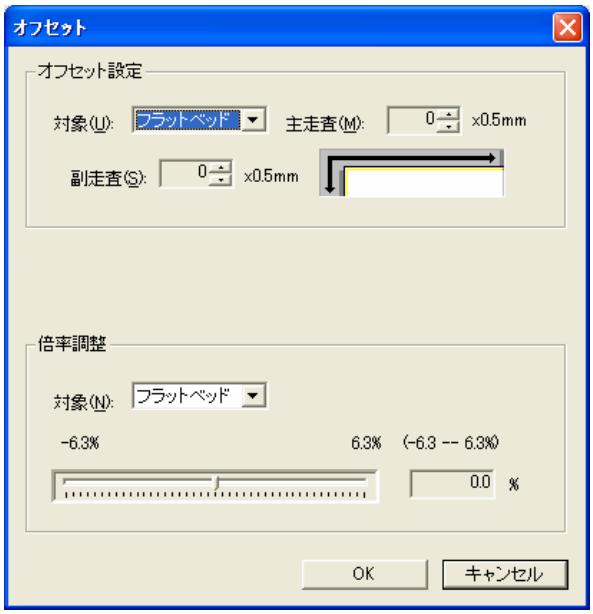
ー省電力モード

電力の消費を抑えるために、スキャナ装置を使用していない状態が 14 分経過すると、自動的にランプを消灯します。

※本ボタンは、スキャナの機種によっては、表示されない場合があります。

◆ [オフセット]ボタン

このボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。
この画面では、先頭位置のオフセット量、および副走査方向の倍率などを変更することができます。



ーオフセット設定

読み取りを行う場合に、原稿と実際に読み取られている位置がことなる場合に、微調整を行うことができます。出荷時には、ある範囲の中で、最適な値に調整されていますので、一般的には、調整して頂く必要はありません。

※設定範囲は装置により異なります。

－用紙先端の影削除モードを有効にする

－用紙左端の影削除モードを有効にする

フラットベッド使用時に、原稿先端及び左端に発生する影を削除するモードを選択することができます。

※スキャナの機種によっては、表示されない場合があります。

－倍率調整

副走査方向の倍率補正値を変更することができます。

ADF は、出荷時の設定値を基準に、ADF 読取時の原稿搬送方向に対して拡大/縮小を行います。

フラットベッドは、出荷時の設定値を基準に、読取りヘッドの移動方向に対して拡大/縮小を行います。

（読取った画像の縦横比が、原稿に対して異なって見える場合に、その調整に使用します。）

※設定範囲は装置により異なります。

－[OK]ボタン

調整値をスキャナ装置内の EEPROM に書き込みます。

※［**オフセット**]ボタンは、スキャナの機種により、設定できる項目が異なります。

（例：fi-4110CU では、ADF 部のみの設定が変更可能となります。）

この設定を変更すると、スキャナ装置の読取動作に大きな影響を及ぼしますので、変更の際は十分に注意してください。

6.7. バージョン情報タブ

本ドライバの版数および、当社ホームページへの案内を表示します。

6.8. 色の管理タブ

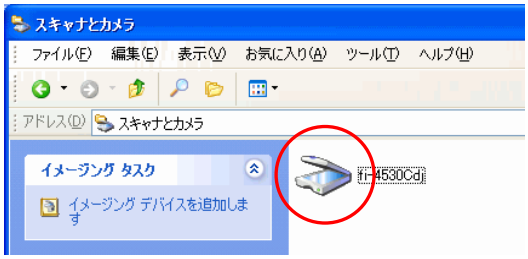
デバイスに関連付けられているカラープロファイルの追加、削除を行います。

本ドライバでは標準状態で“sRGB Color Space Profile.icm”が関連付けられています。

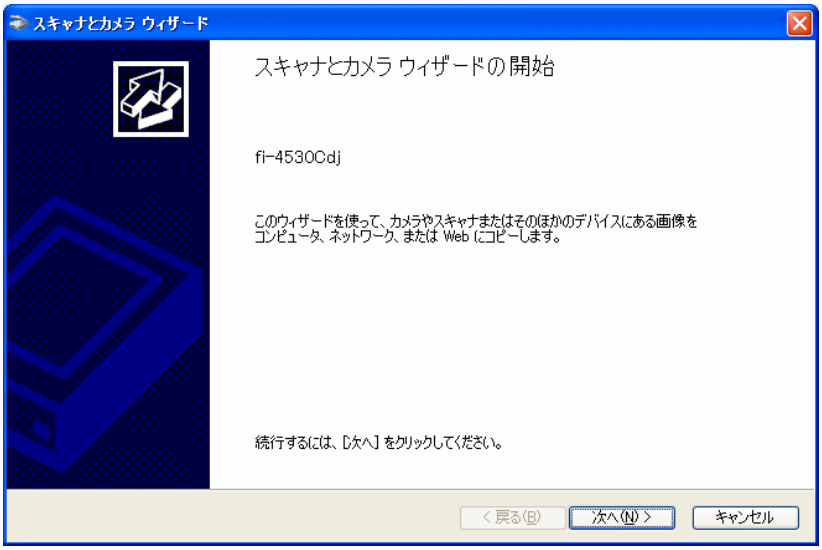
6.9. スキャナとカメラのウィザードによる読み取り

Windows® XP の場合、［コントロールパネル］－［スキャナとカメラ］から、「スキャナとカメラ ウィザード」を使用して、スキャナからの読み取りを行うことができます。（対応機種のみ）

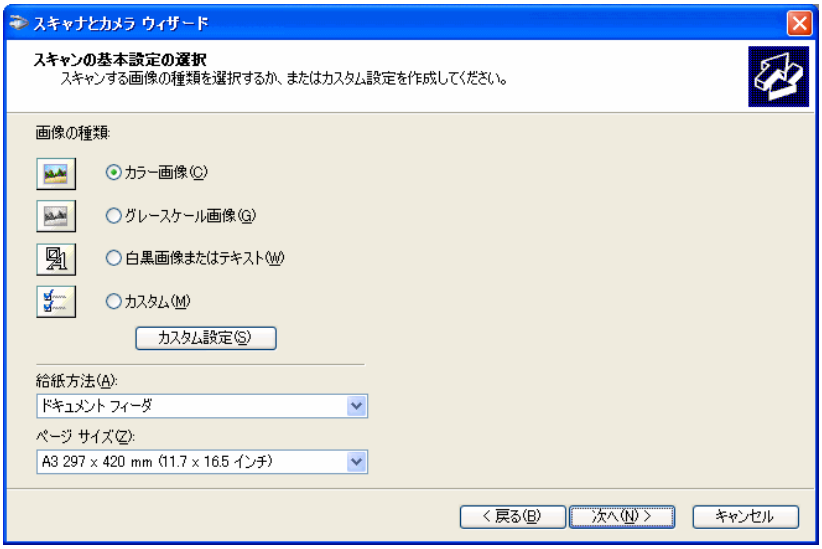
1. ご使用のスキャナ名のアイコンをダブルクリックします。



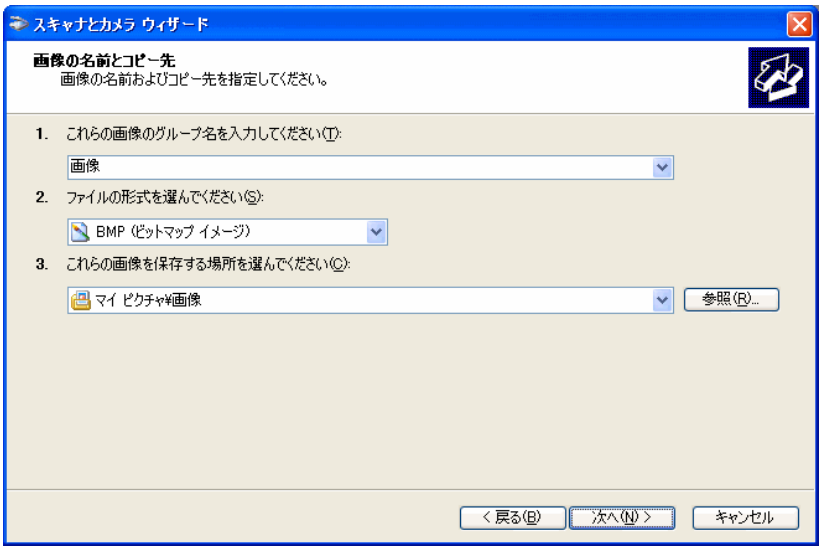
2. スキャナとカメラ ウィザード画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。



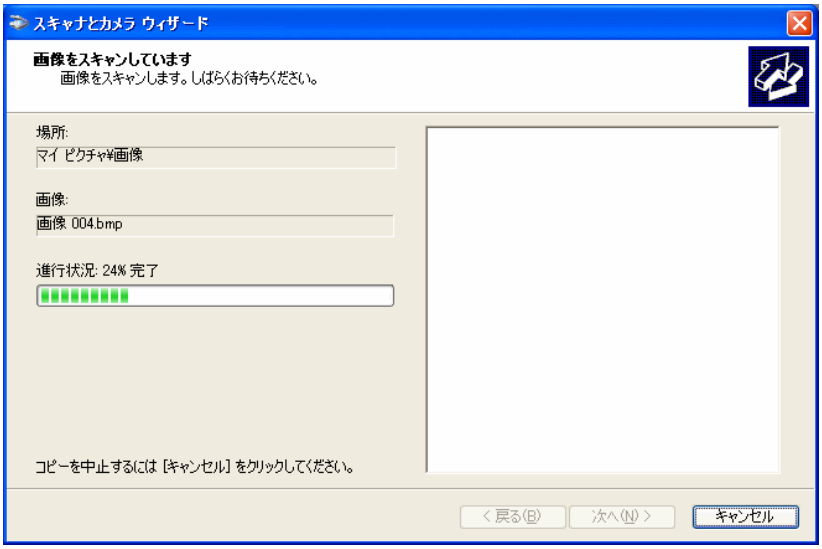
3. 「スキャンの基本設定の選択」画面が表示されるので、読み取り条件を設定して、［次へ］ボタンをクリックします。



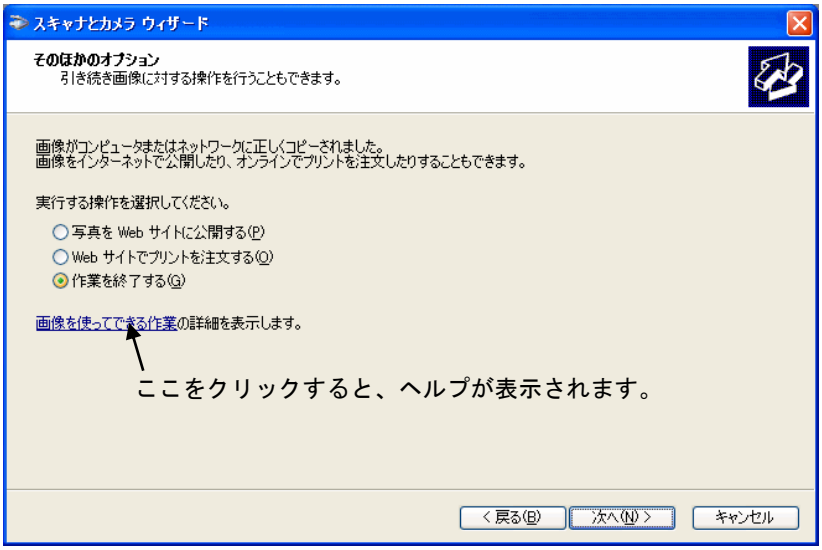
4. 「画像の名前とコピー先」画面が表示されますので、読み取る画像の保存条件を指定して、［次へ］ボタンをクリックします。



⇒読み取りが始まり、以下の画面が表示されます。



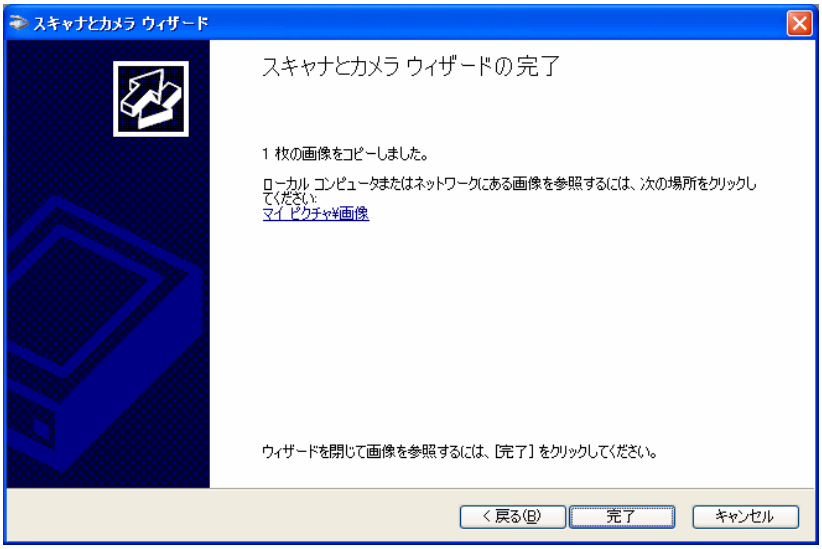
5. 読み取りが完了したら以下の画面が表示されるので、実行する操作を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



※詳細は、Windows のヘルプを参照してください。

6. 作業が終了したら、「作業を終了する」を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

7. ［完了］ボタンをクリックして、「スキャナとカメラ ウィザード」を終了します。



7. トラブルシューティング

7.1. メッセージ

7.1.1. ドライバに関するメッセージ

・入力された値は範囲外です。

原因：入力項目が取り得る範囲を越える値が入力されました。

対策：正しい範囲の値を設定しなおしてください。正しい範囲については、当該項目かイメージスキャナの仕様を参照して確認してください。

・入力された値に誤りがあります。

原因：入力項目がとりうる範囲を越える値が入力されました。

対策：正しい範囲の値を設定しなおしてください。正しい範囲については、当該項目のヘルプまたは「取扱説明書」を参照してください。

・指定のファイルは反対面で指定されているため削除できません。

原因：ディザパターンまたは、ガンマダウンロードバターンファイル設定ダイアログにて、削除しようとしている設定ファイルが、反対の面(表面であれば裏面、裏面であれば表面)で使用されています。

対策：削除を行う前に、反対の面での設定を変更してから、削除してください。

・初期値データファイルに不正な値がありました。標準値を設定します。

原因：初期値データファイルの項目の中に、範囲外の値／不適切な文字などが発見されました。(Entry=XXXXX が示す XXXXX の項目)
もし、意図的にファイルの書き換えを行った場合は、その項目の

設定値について間違った可能性があります。書き換えを行っていない場合は、何らかの原因でファイルが壊されている可能性があります。

対策：値そのものは標準値に設定されます。
また、ハードディスクのチェック(chkdsk/scandsk)やウィルスチェックなどは、定期的に行うようにしてください。

・最大読み取りサイズを越えています. 解像度を小さくするか、読取領域を小さくしてください。

原因: スキャナが読み取ることのできるデータサイズを越える値が指定されました。解像度が大きくなると、読み取るデータの量も増加します。

対策：解像度を少なくするか、読取領域を小さくしてください。

・最大読み取りサイズを越えています。横幅を 279mm 以下にするか、長さを 420mm 以下にしてください。

・最大読み取りサイズを越えています。横幅を 11inch 以下にするか、長さを 16.53inch 以下にしてください。

・最大読み取りサイズを越えています。横幅を xxx pixel 以下にするか、長さを xxx pixel 以下にしてください。

原因：スキャナの読取領域の制限を越える値が指定されました。

対策：カスタム用紙の指定は、装置で指定可能な値よりも小さい値を指定してください。

・最大読み取りサイズを越えています。横幅を 259mm 以下にしてください。

・最大読み取りサイズを越えています。横幅を 10.24inch 以下にしてください。

・最大読み取りサイズを越えています。横幅を 2048 pixel 以下にしてください。

原因：スキャナの読取領域の制限を越える値が指定されました。

対策：カスタム用紙の指定は、259mm（10.24inch、2048pixel）以下の値を指定してください。

・多値(ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ)で指定できる解像度値を越えています。xxx dpi 以下に設定してください。

・カラーで指定できる解像度値を越えています。xxx dpi 以下に設定してください。

・長尺指定時は、解像度を 400dpi 以下にしてください。

原因：長尺帳票指定、カラー指定、または、グレースケール指定による読み取りにおける解像度値の制限を越える値が指定されました。

対策：xxx で示される値以下の解像度値を指定してください。

・多値(グレースケール)指定時はカスタム解像度を選択できません。

・カラー指定時はカスタム解像度を選択できません。

原因：カラーまたは、多値(グレースケール)指定時に、カスタム解像度が指定されました。

対策：カスタム解像度以外の解像度値を指定してください。

・多値(ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ)指定時は両面読み取りを選択できません。

原因:多値(グレースケール)指定時に、両面読み取りが指定されました。

対策：両面読み取り時には、[画像ﾀｲﾌﾟ]に白黒二値またはハーフトーンを選択してください。

・表裏別設定を行う場合には、多値(グレースケール)を選択できません。

・長尺読み取り時は、多値(グレースケール)を選択できません。

原因：表裏別設定または、長尺帳票指定時に、多値(グレースケール)が指定されました。

対策：多値(グレースケール)を指定した場合には、設定対象に、両面を

指定してください。
また、長尺帳票指定時には、[画像ﾀｲﾌﾟ]に白黒二値またはハーフトーンを選択してください。

・ご使用のアプリケーションは、後端検出、もしくは、自動サイズ検出に対応していない可能性があります。

原因：後端検出、もしくは自動サイズ検出機能をサポートしていないアプリケーションで、これらの機能を有効にして読み取った場合に画像が乱れることがあります。

対策：読み取りを行ってみて画像が乱れるような場合は、後端検出、もしくは自動サイズ検出を無効にしてください。

・ディザパターンファイルが指定されていません。

原因：ファイルのダウンロードが指定されているが、ファイルが選択されていない状態です。

対策：[ファイル...]ボタンによりファイルの指定をしてください。

・ガンマパターンファイルが指定されていません。

原因：ファイルのダウンロードが指定されているが、ファイルが選択されていない状態です。

対策：[ファイル...]ボタンによりファイルの指定をしてください。

・選択された設定ファイルを削除できませんでした。

原因：選択された設定ファイルが書き込み禁止などになっている場合には、正常に削除できない場合があります。

対策：後ほどエクスプローラ等で、削除してください。

・設定ファイルの概要が指定されていません。

原因：設定ファイルの概要が指定されていません。

対策：設定ファイルの概要欄に入力を行い、再度操作をやり直してください。

・設定ファイルのファイル名が指定されていません。

原因：設定ファイル名が指定されていません。

対策：設定ファイル名を指定して、再度操作をやり直してください。

・文字列の指定が長すぎます。

原因:指定されている文字列の長さが長すぎます。指定可能な文字数は、半角 128 文字、あるいは全角 64 文字までです。

対策：入力している文字列を半角 128 文字以内までにして再度、操作をやりなおしてください。

・ファイル名には次の文字は使えません。¥ / : ; ? ” < > |

原因：指定されているファイル名に¥ / ： ； ？ ” 〈 〉 |が含まれています。

対策：上記の文字列を使用しないファイル名を指定して、もう一度、設定をやり直してください。

・イメージスキャナが見つかりません。

原因：**以下の原因が考えられます。**

- 本ドライバがサポートする機種以外のイメージスキャナが接続されている。イメージスキャナが接続されていない。ケーブルがはずれている。など.....
- ドライバが他のアプリケーションで使用されている。
  （本ドライバは、複数のアプリケーションで同時に使用することができません。）

対策：イメージスキャナの接続を再度確認してください。
また、ドライバが他のアプリケーションで使用されていないことを確認してください。（Windows®XPでは、[ユーザー切り替え]を使用すると、プログラムやファイルを開いたままで、他のユーザーがログオンすることができます。そのため、[ユーザー切り替え]によってログオンした場合、他のユーザーがドライバを使用している可能性があります。）

・指定されたイメージスキャナは使用中です。

原因：イメージスキャナが、他のアプリケーションなどですでに使用中となっている可能性があります。あるいは、TWAINドライバを２回起動したなどが考えられます。

対策：すべてのアプリケーションを終了してから、再度起動して読み取りを行なってください。

・イメージスキャナの入出力エラーです。

原因：イメージスキャナの読み取り動作において、障害が発生しました。
イメージスキャナ本体に障害が発生した可能性があります。

対策：一度、すべての電源を切り、コンピュータから電源を入れなおして、再度読み取りを行なってみてください。それでもエラーとなる場合は、お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・ご使用中のスキャナ装置の電源が切断されました。

原因：イメージスキャナ使用中に、電源が切断されました。

対策：イメージスキャナ装置の電源を再投入してください。
それでも改善されない場合は、パソコン本体をリブートしてください。

・原稿づまりです。

原因：装置内で、紙づまりが発生しました。

対策：装置の電源を切り、装置内から用紙を取り出してください。
複雑な詰まり方をしている場合、無理に取り出そうとすると故障の原因となります、気を付けて作業してください。
頻発する場合は、スキャナ装置内部を清掃してください。

・ＡＤＦが開いています。ＡＤＦを閉じて用紙をセットし直してください。

原因：ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパが開いたままになっています。

対策：ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパを閉じて、再度読み取りを行ってください。

・ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパに用紙がありません。・ＡＤＦ給紙シュートに用紙がなくなりました。

原因：給紙方法としてＡＤＦが選択されましたが、ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパに用紙がありません。

対策：他の給紙方法を選択するか、ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパに用紙を補給してください。

・ＡＤＦが開いているか、またはＡＤＦ給紙シュート／ホッパに用紙がありません。

原因：ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパのカバーが開いたままになっているか、または給紙装置に用紙がありません。

対策：原稿カバーを閉じるか、ＡＤＦ給紙シュートまたはホッパに用紙を補給してください。

・スキャナ装置内のバッファメモリが不足しています。

原因：イメージスキャナ装置内のメモリオプションが載っていないか、スキャナのサポートしていない大きな領域、解像度が指定されました。読取画像のデータサイズが大きいため、スキャナ装置内のメモリが不足していることが考えられます。

対策：読取領域、解像度を小さくするか、スキャナ装置の取扱説明書をご覧の上、メモリオプションを増設してください。

また、カラー読取の場合は、データ圧縮率の設定を高くしてみてください。

・指定値に異常があります。

原因：異常な値が装置に指定されました。アプリケーションからの指定値との組み合わせによる問題の可能性があります。

対策：指定値をいくつか変更して読み取りをしてください。

・装置異常が検出されました。

原因：ヒューズが切れている、読み取り部にごみが付着しているなどの装置の異常です。

対策：**・一旦、**装置の電源を切り、再度投入してください。

・ケーブル類の接続を確認してください。

・装置内部を清掃してください。

それでも、エラーとなる場合には、お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・スキャナとの通信のコマンド内容に異常が検出されました.

・スキャナとの通信に異常が検出されました.

原因:SCSIケーブルが外れているか､切断されている可能性があります。

対策 : まず、SCSIケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。ケーブルが断線している場合は、新しいものに取り換えてください。それでも、エラーとなる場合には、お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・'輸送ロックが解除位置にあるか確認してください。

・フラットベッド部の動作不良を検出しました。

原因 : **スキャナ装置の**輸送用ロックが解除されえていない可能性があります。

対策 : **装置取扱説明書をご参考の上、**輸送用ロックが解除されているかどうかをご確認ください。

・インクカートリッジが正しく取り付けられていません。

原因 : インプリンタ（または、エンドーサ）内にインクカートリッジが入っていないか、正しく取り付けられていないので、指定された印字ができません。

対策 : インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。

・印字領域が用紙外です。インプリンタの位置が、原稿の位置にあることを確認のうえ、再度読み取りを実行してください。

原因 : インプリンタの印字部が、用紙幅から外れた位置にあるため、用紙上に印刷できない状態になっています。

対策 : インプリンタの印字部が用紙幅内にくるように、インプリンタの位置を調整してください。

・インプリンタまたは、エンドーサに関わる装置の異常が検出されました。

原因：インプリンタまたは、エンドーサが故障している可能性があります。

対策：**インプリンタ、エンドーサが正しく取り付けられているか再度ご確認ください。**

問題が改善しない場合はお買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターにご連絡ください。

・マルチフィードを検出しました。

原因：装置内で、用紙がマルチフィード（重なったまま紙が搬送）して、読取されようとしています。

対策：マルチフィード状態で止まっている原稿を取り除き、再度、原稿をセットし直してください。

・ＰＣ上のメモリが不足です。

原因：読み取りのために使用するメモリが足りません。ＧＤＩメモリを多く消費するアプリケーションが動作していたり、バックグラウンドで動作するプログラムや、登録されているデバイスドライバの数により、メモリが不足していることが考えられます。

メモリを増設すれば「メモリ不足」が解消されると誤解されている場合があります。たいていの場合、メモリ不足はコンベンショナルメモリ（640KB以内におけるいわゆるメインメモリ）の不足により発生します。CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATを調べてみるのも一つの手段といえます。

対策：作業に直接関係のないデバイスドライバの登録をやめたり、バックグラウンドプログラムを動作させないようにする。

また、メモリの最適化ツールなどを使用してコンベンショナルメモリをできるだけ多く獲得する。

・テンポラリファイルに異常が発生しました。

原因：イメージ読み取りの際に使用している、内部的な一時ファイルのアクセスに異常があります。ディスクスペースの不足や、あるいは一時ファイルが破壊されているか、ディスクアクセスに関する他のプログラムによる影響などが考えられます。

対策：ディスクの空き容量を増やしてみる。

ハードディスクの検査をしてみる。（chkdsk, scandskなど）

バックグラウンドでディスクアクセスを伴うプログラムの起動をしないなど。

それでもエラーメッセージが出つづけるような場合はお買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターにご連絡ください。

・ダウンロードファイルが見つかりません。

原因：ディザパターンまたはガンマパターンとして指定されたファイルが見つからない。

対策：指定されたディレクトリに、ダウンロードファイルがあるかを確認するか、ファイル選択ダイアログで、存在するファイルを指定してください。

・ダウンロードファイルの書式かデータに異常があります。

原因：指定されたダウンロードファイルの書式が不正か、データに誤りがあります。

対策：ファイルの書式またはデータをエディタなどで確認してください。

・マニュアルなどを参考の上、対象スキャナ用のミニドライバをインストール

してください。

原因：ミニドライバがインストールされていないか、または削除された可能性があります。

対策：「3章 インストール」の手順に従い、ドライバをインストールしてください。

・スキャナＤＬＬファイルが見つかりません。

原因：イメージスキャナが選択されたときに、本ドライバがインストールされているディレクトリに、選択されたスキャナのＤＬＬファイルがインストールされていません。

対策：セットアップをやり直す必要があります。

・パラメータエラーです。(内部)

・呼び出し手順に誤りがあります。(内部)

・領域の指定に誤りがあります。(内部)

・計算結果が表現できる値を超えました。(内部)

・ユーザー定義が登録されていません。(内部)

・装置から不正な値を受信しました。(内部)

原因：ドライバとイメージスキャナの間でのコマンドのやり取りの際に発生するプログラム上のエラーです。

対策：パソコン本体のリブートから、もう一度やり直してみてください。それでも発生するようでしたら、お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・MSG_XXXXXX の応答についての一般違反です。

原因：内部的なメッセージの送受信の際に発生したプログラム上のエラーです。

後述のサブメッセージを伴います。

対策 : お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・DAT_XXXXXX についての一般違反です。

原因 : 内部的なデータの送受信の際に発生したプログラム上のエラーです。

後述のサブメッセージを伴います。

対策 : お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・DAT_XXXXX,MSG_SET 未サポートタイプの応答についての一般違反です。(内部)

原因 : 内部的なデータの設定の際に発生したプログラム上のエラーです。

対策 : お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・未定義エラーです。

・メモリが足りないため続けられません。

・データソースが見つかりません。

・接続可能な最大数を越えました。

・オペレーションエラーが発生しました。

・不正な機能が指定されました。

・許されない MSG DG DAT の組み合わせです。

・不正な値が指定されました。

・DG DAT MSG の 不正な手順が指定されました。

原因 : 「MSG_XXXXX の応答についての一般違反です。(内部)」および、「DAT_XXXXX についての一般違反です。(内部)」のエラーメッセージに付加されて表示されるサブメッセージです。

メッセージ／データの処理の際に発生する、プログラム上のエラーについての詳細を示します。

対策：お買い上げの販売店または最寄りの保守サービスセンターまでご連絡ください。

・そろそろ消耗品の交換が必要な時期です。

給紙性能が下がっている場合には、早めに用紙給紙部にある XXX を交換して下さい。

原因：消耗品（パッド、またはピックローラ）の交換時期がきました。

対策：装置の取扱説明書をご参考の上、消耗品を交換してください。

7.1.2. ガンマ補正パターン編集ユーティリティに関するメッセージ

・10 進数の正の値で入力してください。

原因：ガンマ補正値に、数字以外の値が入力されている。
または、0 やマイナスの値が入力されています。

対策：正しい値を再度入力してください。

・ファイルを作成できません。

原因：保存するためのファイルを作成できませんでした。
保存先に容量がない、保存先ディスクが壊れている。
あるいは、保存先が書き込み禁止になっているか、ディスクアクセスに関する他のプログラムの影響が考えられます。

対策：ディスクの空容量を増やしてみる。
ハードディスクを検査してみる。(chkdsk、scandisk など)バックグラウンドで、ディスクアクセスを伴うプログラムを起動しないなど。
それでも、エラーメッセージが出続けるような場合には、お買い上げの販売店または、最寄りの保守サービスセンタにご連絡ください。

・ファイルを開けません。

原因：ファイルを開けませんでした。
指定されたファイル名が間違っているか、読み出し側のディスクが壊れている。あるいは、指定されたファイルが読み出し禁止になっているか、ディスクアクセスに関する他のプログラムの影響が考えられます。

対策：指定されたファイル名に間違いがない場合には、ハードディスクを検査してみる(chkdsk、scandisk など)、バックグラウンドでディスクアクセスを伴うプログラムを起動しないなどをご確認ください。

それでも、エラーメッセージが出続けるような場合には、お買い上げの販売店または、最寄りの保守サービスセンタにご連絡ください。

・ファイルのフォーマットに誤りがあります。

原因：指定されたファイルのフォーマットに誤りがあります。

間違ったファイルが指定されているか、または、指定されたファイルの内容が、ただしくありません。

対策：本取扱説明書をご確認の上、指定されたファイルの内容が正しいか確認してください。

7.2. 操作に関するトラブル

・［読取］ボタンを押しても、読み取りが行なわれない。

原因：スキャナの電源は入っていますか？　ＳＣＳＩケーブルはきちんと接続されていますか？　［TWAIN 入力機器の選択...］で正しい機器を選択しましたか？

・スキャナは動作しているようだが、画像が表示されない。

原因：スキャナと本体の間のＳＣＳＩケーブル（または、USB ケーブル）はきちんと接続されていますか？

「明るさ」の値や「スレッシュホールド」の値が小さすぎませんか？

一度「最小化」してから「元のサイズに戻す」としても表示されませんか？

アプリケーションの設定でファイルにのみ出力となっていませんか？

対策：「最小化」してから「元のサイズに戻す」として表示される場合は、お使いのディスプレイドライバに原因がある場合があります。ディスプレイドライバのメーカに問い合わせてみてください。

イメージスキャナ動作確認ユーティリティでの環境設定で出力先にファイルが選択されている場合は、画面に変更してみて下さい。

・消耗品交換のやりかたがわからない。

対策：交換手順につきましては、本取扱説明書の「6.6 章 装置設定タブ」－[ページカウンタ]の説明をご参考ください。

また、交換方法につきましてはスキャナ装置の取扱説明書をご参考ください。

・原稿をスキャナにセットすると、勝手にアプリケーションが起動する（または、アプリケーションを選択するウィンドウが表示する）。

原因：“デバイスのイベント”が有効になっています。

対策：「6.3 章 イベントタブ」をご参考の上、“デバイスのイベントを実行しない”にチェックを入れるか、または、適切な設定を行ってください。

7.3. インストールに関するトラブル

・インストールができない。（インストールを実行しても途中で終了してしまう。）

原因：旧バージョンの FUJITSU TWAIN ドライバが既にインストールされていませんか？

対策：まず旧バージョンのドライバをアンインストールしてから、インストールをおこなってください。

・スキャナ装置を接続してパソコンを起動したのに、スキャナ装置が自動認識されない。

原因：以下のことを確認してください。

①スキャナ装置の電源は入っていますか？ ケーブルは正しく接続されていますか？ エラーが上がっていませんか？

②旧バージョンのドライバが既にインストールされていませんか？

③以前に、インストールが不完全な状態で終了していませんか？

④Adaptec 社の EZ-SCSI がインストールされていませんか？

・ドライバをインストールしたのに、スキャナで読取ができない。

原因：以下のことを確認してください。

①正しくインストールを行っていますか？

②ご使用のアプリケーションで、スキャナを正しく選択していますか？

対策：①「3 章 インストール」の手順に従い、正しくインストールを行ってください。

②アプリケーションのマニュアルをご参考の上、ご使用になるスキャナを正しく選択して読取を行ってください。

8. 付　録

8.1. イメージスキャナの仕様

型番　　：fi-4010CU

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ) 片面読み取り

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：600dpi

読取密度変換[1]：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（1ﾊﾟﾀｰﾝのみ）

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

フラットベッド読取速度：モノクロ　８秒以下 (200dpi，A4)

カラー　１０秒以下 (150dpi，A4)

ＡＤＦ読み取り速度[2]：モノクロ片面　１０枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

カラー片面　３．３枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大２５枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：フラットベッド　２１０㎜×２９７㎜　（最大）

ＡＤＦ　１１４mm×１４０mm （最小）

２１６mm×３５５mm (最大)

対応定型用紙[3]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，

ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

[1] ドライバ内部で変換処理を行います。

[2] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

読取領域指定：有り（１ヶ所）
下地追従　：　不可
明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階
ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）
ガンマパターン　：内蔵パターンなし（ダウンロード不可）
（カスタム指定時の、数値入力によるパターン設定のみ可能。）
画像処理機能：白黒反転，モアレ除去、256 色カラー、8 色カラー
インターフェース：ＵＳＢ１．１
プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定：不可
画像回転：可
自動傾き/サイズ検出　：　不可
オーバースキャン：　不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可
ジョブ制御　：　不可
マルチフィード検出　：　不可
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　可

スキャナとカメラのプロパティ：
・イベント機能－不可
・装置設定－ページカウンタのクリアのみ可

型番　　：M3091DC (装置名：fi-4110C)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式(ＡＤＦ) 両面読み取り

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：300dpi

読取密度変換[1]：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[2]：　モノクロ片面　１５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

モノクロ両面　７．５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝１５面／分）

カラー片面　５枚／分　(150dpi，A4，55Kg)

カラー両面　２．５枚／分　(150dpi，A4，55Kg)

（＝５面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５２mm×７４mm（縦・横）

最大　２１６mm×３５６mm (縦)

対応定型用紙[3]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横, ﾚﾀｰ, ﾘｰｶﾞﾙ,

ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　不可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

---

[1] ドライバ内部で変換処理を行います。

[2]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

ガンマパターン ：カスタム指定のみ
画像処理機能：自動二値（浮動ｽﾗｲｽ方式）、輪郭強調、モアレ除去
白黒反転、256 色カラー、8 色カラー
インターフェース：ＳＣＳＩ-Ⅱ
プレビュー ： 可（ADF 読み取り時）
両面とじ方向指定 ： 可
画像回転 ： 可
自動傾き/サイズ検出 ： 不可
オーバースキャン： 不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 不可
ジョブ制御 ： 不可
マルチフィード検出 ： 不可
プレピック制御 ： 不可
異常スキュー検出 ： 不可
ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮） ： 不可
フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー ： 可
sRGB 出力 ： 不可
画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

<その他の機能>
・省電力設定：可
・低速用紙搬送設定：可
・速度優先モード：可
・スキャナパネル設定：可
・ページカウンタクリア：可（２種類）
・詳細設定：可（自動原稿搬送の倍率調整、オフセット調整のみ）

型番　　：fi-4110CU

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式(ＡＤＦ) 両面読み取り

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：300dpi

読取密度変換[1]：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[2]：　モノクロ片面　１５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

モノクロ両面　７．５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝１５面／分）

カラー片面　５枚／分　(150dpi，A4，55Kg)

カラー両面　２．５枚／分　(150dpi，A4，55Kg)

（＝５面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５２mm×７４mm（縦・横）

最大　２１６mm×３５６mm (縦)

対応定型用紙[3]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横, ﾚﾀｰ, ﾘｰｶﾞﾙ,

ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　不可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

---

[1] ドライバ内部で変換処理を行います。

[2]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

ガンマパターン ：カスタム指定のみ
画像処理機能：自動二値（浮動ｽﾗｲｽ方式）、輪郭強調、モアレ除去
白黒反転、256 色カラー、8 色カラー
インターフェース：ＵＳＢ１．１
プレビュー ： 可（ADF 読み取り時）
両面とじ方向指定 ： 可
画像回転 ： 可
自動傾き/サイズ検出 ： 不可
オーバースキャン： 不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 不可
ジョブ制御 ： 不可
マルチフィード検出 ： 不可
プレピック制御 ： 不可
異常スキュー検出 ： 不可
JPEG 転送（装置圧縮） ： 不可
フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ
ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
ドロップアウトカラー ： 可
sRGB 出力 ： 不可
画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

<その他の機能>
・省電力設定：可
・低速用紙搬送設定：可
・速度優先モード：可
・スキャナパネル設定：可
・ページカウンタクリア：可（２種類）
・詳細設定：可（自動原稿搬送の倍率調整、オフセット調整のみ）

型番　　：fi-4120C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　　：原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可[1]

長尺読み取り可

２値白黒時　　：最大　216mm×711mm

グレースケール、カラー時[2]　：最大　216mm×610mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：６００dpi

読取密度変換：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[3]：　　モノクロ片面　２５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

モノクロ両面　１２．５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

（＝２５面／分）

カラー片面　２５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

カラー両面　１２．５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

（＝２５面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５３mm×７４mm

最大　２１６mm×３５５.６mm

対応定型用紙[4]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，

ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

[1]表裏別設定は指定できません。
[2]カラー、グレースケール読み取りは、装置ファームウェア版数D00版以降から対応。
[3]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。
[4]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

読取領域指定：有り（１ヶ所）
下地追従　：　不可
明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階
ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）
ガンマパターン　：カスタム指定のみ
画像処理機能：簡易自動二値（SDTC）、輪郭強調、モアレ除去
256 色カラー、8 色カラー
インターフェース：ＳＣＳＩ-Ⅱ，ＵＳＢ１．１
プレビュー　：　可（ADF 読み取り時）
両面とじ方向指定：可
画像回転：可
自動傾き/サイズ検出　：後端検出
オーバースキャン：　不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可
ジョブ制御　：　不可
マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　可

<その他の機能>
・スキャナパネル設定：可　　・速度優先モード：可
・ページカウンタクリア：可（２種類）
・詳細設定：可（倍率調整、オフセット調整）

型番　　：fi-4120C2

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　　：原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可[1]

長尺読み取り可　　：最大　216mm×864mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：６００dpi

読取密度変換：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[2]：　モノクロ片面　２５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

モノクロ両面　２５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

（＝５０面／分）

カラー片面　２５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

カラー両面　２５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

（＝５０面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５３mm×７４mm

最大　２１６mm×３５５.６mm

対応定型用紙[3]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，

ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　不可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

[1]表裏別設定は指定できません。

[2]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

ハイライト／シャドウ設定 ： ２５５段階（カラー、グレースケール時）
ガンマパターン ：カスタム指定のみ
画像処理機能：簡易自動二値（SDTC）、輪郭強調、モアレ除去
256 色カラー、8 色カラー、4bit グレースケール
インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小 5mm）[1]
最大印字可能文字数 40 文字
カウンタ表示範囲 0～99999（5 桁表示時）
0～16777215（8 桁表示時）
印字方向 上から下，下から上
フォント向き 縦，横 太字フォント対応
インターフェース：SCSI-Ⅱ，USB1.1/2.0
プレビュー ： 可（ADF 読み取り時）
両面とじ方向指定 ： 可
画像回転 ： 可
自動傾き/サイズ検出 ：後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景
オーバースキャン：可（「黒背景」指定時）
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 可
ジョブ制御 ： 不可
マルチフィード検出 ： 可（厚さ・長さ検出）
プレピック制御 ： 不可
異常スキュー検出 ： 不可
ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用、両メモリ使用時）
JPEG 転送（装置圧縮） ： 可
フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー ： 可
sRGB 出力 ： 可
画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

[1] インプリンタの印字位置で0mmを指定した場合、原稿先頭から5mmの位置に印字されます。

<その他の機能>

・スキャナパネル設定：[SendTo]／[Scan]ボタン、原稿検出

・速度優先モード：可

・装置設定 ： 消耗品交換（パッド／ピック／インク カウンタクリア）、
オフセット調整、倍率調整

・スキャナとカメラ ウィザードによる読み取り ： 可（Windows® XP のみ）

型番　　：M3092DC (装置名：fi-4210C)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

　　原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：６００dpi（ﾌﾗｯﾄﾍﾞｯﾄﾞ），３００dpi（ＡＤＦ）

読取密度変換[1]：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[2]：　モノクロ片面　１５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

　　モノクロ両面　７．５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

　　（＝１５面／分）

　　カラー片面　５枚／分　(150dpi，A4，55Kg)

　　カラー両面　２．５枚／分　(150dpi，A4，55Kg)

　　（＝５面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５２mm×７４mm（縦・横）

　　最大　２１６mm×３５６mm (縦) <ADF 使用時>

　　最大　２１６mm×２９７mm (縦) <ﾌﾗｯﾄﾍﾞｯﾄﾞ使用時>

対応定型用紙[3]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，

　　ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　不可

---

[1] ドライバ内部で変換処理を行います。

[2]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定 ： ２５５段階

ハイライト／シャドウ設定 ： ２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン ：カスタム指定のみ

画像処理機能：自動二値（浮動ｽﾗｲｽ方式）、輪郭強調、モアレ除去
白黒反転、256 色カラー、8 色カラー

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ

プレビュー ： 可（フラットベッド読み取り時、ADF 読み取り時）

両面とじ方向指定 ： 可

画像回転 ： 可

自動傾き/サイズ検出 ： 不可

オーバースキャン： 不可

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 不可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 不可

ジョブ制御 ： 不可

マルチフィード検出 ： 不可

プレピック制御 ： 不可

異常スキュー検出 ： 不可

ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮） ： 不可

フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー ： 可

sRGB 出力 ： 不可

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

<その他の機能>

・省電力設定：可
・低速用紙搬送設定：可
・速度優先モード：可
・スキャナパネル設定：可
・ページカウンタクリア：可（２種類）
・詳細設定：可（自動原稿搬送の倍率調整、オフセット調整のみ）

型番　　：fi-4220C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可[1]

長尺読み取り可

２値白黒時　　：最大　216mm×711mm

グレースケール、カラー時[2]　：最大　216mm×610mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：６００dpi

読取密度変換：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

フラットベッド読取速度：モノクロ　２．２秒以下 (200dpi，A4)

カラー　２．１秒以下 (150dpi，A4)

ＡＤＦ読み取り速度[3]：　モノクロ片面　２５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

モノクロ両面　１２．５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

（＝２５面／分）

カラー片面　２５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

カラー両面　１２．５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

（＝２５面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５３mm×７４mm

最大　２１６mm×３５５.６mm <ADF 使用時>

最大　２１６mm×２９７mm <ﾌﾗｯﾄﾍﾞｯﾄﾞ使用時>

[1]表裏別設定は指定できません。
[2]カラー、グレースケール読み取りは、装置ファームウェア版数D00版以降から対応。
[3]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

対応定型用紙[1]： A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横, ﾚﾀｰ, ﾘｰｶﾞﾙ,
ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ, 名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従 ： 不可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定 ： ２５５段階

ハイライト／シャドウ設定 ： ２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン ：カスタム指定のみ

画像処理機能：簡易自動二値（SDTC）、輪郭強調、モアレ除去
256 色カラー、8 色カラー

インターフェース：ＳＣＳＩ-Ⅱ，ＵＳＢ１．１

プレビュー ： 可（フラットベッド読み取り時、ADF 読み取り時）

両面とじ方向指定：可

画像回転：可

自動傾き/サイズ検出 ： 後端検出

オーバースキャン： 不可

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 不可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 不可

ジョブ制御 ： 不可

マルチフィード検出 ： 可（厚さ・長さ検出）

プレピック制御 ： 不可

異常スキュー検出 ： 不可

ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮） ： 可

フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー ： 可

sRGB 出力 ： 不可

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

[1]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

<その他の機能>

・スキャナパネル設定：可　　・速度優先モード：可

・ページカウンタクリア：可（２種類）

・詳細設定：可（倍率調整、オフセット調整）

型番　　：fi-4220C2

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可[1]

長尺読み取り可：最大　216mm×864mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：６００dpi

読取密度変換：50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

フラットベッド読取速度：モノクロ　２．２秒以下 (200dpi，A4)

カラー　２．１秒以下 (150dpi，A4)

ＡＤＦ読み取り速度[2]：　モノクロ片面　２５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

モノクロ両面　２５枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

（＝５０面／分）

カラー片面　２５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

カラー両面　２５枚／分　(150dpi，A4，80g/m^2)

（＝５０面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小　５３mm×７４mm

最大　２１６mm×３５５.６mm <ADF 使用時>

最大　２１６mm×２９７mm <ﾌﾗｯﾄﾍﾞｯﾄﾞ使用時>

対応定型用紙[3]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，

[1]表裏別設定は指定できません。

[2]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ，名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　不可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン　：カスタム指定のみ

画像処理機能：簡易自動二値（SDTC）、輪郭強調、モアレ除去

256 色カラー、8 色カラー、4bit グレースケール

インターフェース：ＳＣＳＩ-Ⅱ，USB 1.1/2.0

プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時、ADF 読み取り時）

両面とじ方向指定：可

画像回転：可

自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン：　可（「黒背景」指定時）

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　可

ジョブ制御　：　不可

マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）

プレピック制御　：　不可

異常スキュー検出　：　不可

ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時および、両メモリ使用時）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　可

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　可

sRGB 出力　：　可

画像処理ソフトウェアオプション使用　：　可

<その他の機能>

・スキャナパネル設定：[SendTo]／[Scan]ボタン、原稿検出

・速度優先モード：可

・装置設定 ： 消耗品交換（パッド／ピックカウンタクリア）、
オフセット調整、倍率調整
・スキャナとカメラ ウィザードによる読み取り ： 可（Windows® XP のみ）

型番　　：M3093GX[1] (装置名：fi-4320S, VSP210)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査（フラットベッド）
　　原稿搬送方式（ＡＤＦ）

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi
　　画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度：１.６秒以下　(A4, 200dpi)

ＡＤＦ読み取り速度[2]：２７枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，55Kg 連量，上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２１６㎜×３５６㎜　（最大）

対応定型用紙[3]：A4，A5 / A5 横，A6 / A6 横，B5,B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，
　　ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）
　　画像処理オプション搭載時
　　輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転
　　自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り

---

[1] 本スキャナをご使用になる場合には、画像圧縮オプションボード(CMP-2)をスキャナ装置内に組み込むことが必要になります。

[2] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定：不可
画像回転：可
自動傾き/サイズ検出　：　不可
オーバースキャン：　不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可
ジョブ制御　：　可
マルチフィード検出　：　不可
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し
ドロップアウトカラー　：　不可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

型番　　：M3093DG (装置名：fi-4320, VSP220)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査（フラットベッド）
　　原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読取り可

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準二値出力　600[1], 400, 300, 240, 200, 150, 100dpi
　　標準ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力　　400, 300, 240, 200, 150, 100dpi
　　画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度[2]：１.６秒以下　(A4, 200dpi)

ＡＤＦ読み取り速度：　　片面　２７枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)
　　両面　２２．５枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)
　　（＝　４５面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量:最大 50 枚　(A4,55Kg 連量,上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２１６㎜×３５６㎜　（最大）

対応定型用紙[3]：A4，A5 / A5 横，A6 / A6 横，B5,B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ，
　　ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

---

[1] 装置の版数により、8Mbytes拡張メモリオプションを組み込む必要が有ります。
[2] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。
[3] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

画像処理機能：自動二値（簡易方式）
画像処理オプション搭載時
輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー ： 可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定 ： 可
画像回転 ： 可
自動傾き/サイズ検出 ： 後端検出
オーバースキャン： 不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 不可
ジョブ制御 ： 可
マルチフィード検出 ： 不可
プレピック制御 ： 不可
異常スキュー検出 ： 不可
ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可
JPEG 転送（装置圧縮） ： 不可
フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー ： 不可
sRGB 出力 ： 不可
画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：fi-4340C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可

長尺読み取り可（最大：216mm×1541mm，２値白黒のみ）

光源　　：白色キセノン蛍光灯

基本読取密度：600dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

標準ｶﾗｰ、ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力　　50dpi ～ 600dpi (1dpi 単位)

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

フラットペット読み取り速度：　１．２秒以下（200dpi, A4，モノクロ）

２．８秒以下（200dpi, A4，カラー）

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　モノクロ片面　４０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

モノクロ両面　４０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝８０面／分）

カラー片面　１６枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

カラー両面　２４．５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝２９面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大１００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２１６㎜×２９７㎜　（最大）

または、２１６㎜×１５４１㎜　（長尺帳票読取モード時）

対応定型用紙[2]：　A4, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ，ﾘｰｶﾞﾙ

読取領域指定：有り（１ヶ所）

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出、モアレ除去
選択的強調、白黒反転、256 色カラー、8 色カラー
画像処理オプション搭載時
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
自動像域分離

インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　7mm）[1]
最大印字可能文字数４０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～99999（５桁表示時）
0～16777215（８桁表示時）
印字方向　　上から下，下から上

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ

プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）

両面とじ方向指定：可

画像回転：可

自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン：　可（「黒背景」指定時）

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可

ジョブ制御　：　可

マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）

ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　可（JPEG オプション搭載時）

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　可

sRGB 出力　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から7㎜の位置に印字されます。

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：fi-4530C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　　：原稿搬送方式(ADF)、両面同時読み取り可[1]

長尺読み取り可（解像度による制限なし）

2 値白黒時　　：最大　297mm × 864mm

グレースケール、カラー時　　：最大　297mm × 864mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：600 dpi

読取密度変換：50 dpi ～ 600 dpi（ 1dpi 単位）

読取階調　　：10 bit　1024 階調

グレースケール（8 bit）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（24 bit）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[2]：　モノクロ片面　35 枚/分　(200dpi，A4，80g/m^2)

モノクロ両面　17.5 枚/分　(200dpi，A4，80g/m^2)

（＝35 面/分）

カラー片面　45 枚/分　(150dpi，A4，80g/m^2)

カラー両面　22.5 枚/分　(150dpi，A4，80g/m^2)

（＝45 面/分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大 100 枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：　最小 53mm × 74mm

最大 297mm × 432mm

対応定型用紙[3]：　A3, A4/A4 横, A5/A5 横, A6/A6 横, B4, B5/B5 横, B6/B6 横,

ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ/ﾚﾀｰ横，ﾘｰｶﾞﾙ，ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ/ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横，名刺

読取領域指定：有り（１ヶ所）

---

[1]表裏別設定は指定できません。

[2]本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3]用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙サイズに関しては、カスタム設定をご使用していただくことが可能です。

下地追従　：　不可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン　：　カスタム指定のみ

画像処理機能：簡易自動二値（SDTC）、輪郭強調、輪郭平滑化、モアレ除去
256 色カラー、8 色カラー、色反転

インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　5mm）[1]
最大印字可能文字数 40 文字
カウンタ表示範囲　0～99999（5 桁表示時）
0～16777215（8 桁表示時）
印字方向　上から下，下から上
フォント向き　縦，横　太字フォント対応[2]

インターフェース：　Ultra SCSI, USB2.0

プレビュー　：　可（ADF 読み取り時）

両面とじ方向指定：可

画像回転：可

自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン：　可（「黒背景」指定時）

ジョブ制御　：　不可

マルチフィード検出　：　可（重なり・長さ検出）

プレピック制御　：　可

異常スキュー検出　：　不可

ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　可

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　可

sRGB 出力　：　可

[1] インプリンタの印字位置で0mmを指定した場合、原稿先頭から5mmの位置に印字されます。
[2] 太字フォントは、装置ファームウェア版数K00版以降から対応。

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

〈その他の機能〉

・スキャナパネル設定：[SendTo]／[Scan]ボタン、原稿検出

・速度優先モード：可

・装置設定 ： 消耗品交換（パッド／ピック／インクカウンタクリア）、
オフセット調整、倍率調整、ランプタイマー

・スキャナとカメラ ウィザードによる読み取り ： 可（Windows® XP のみ）

型番　　：M3096GX[1] (装置名：fi-4620S, VSP310)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査（フラットベッド）
　　原稿搬送方式（ＡＤＦ）

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi
　　画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度：２．０秒以下　(A4, 200dpi)

ＡＤＦ読み取り速度[2]：２１枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大５０枚　（A4，55Kg 連量，上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[3]：A3，A4/A4 横，A5/A5 横，A6/A6 横，B4,B5/B5 横，B6/B6 横，
　　ﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ横，ﾘｰｶﾞﾙ，ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ/ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横，ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）
　　画像処理オプション搭載時
　　輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転
　　自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り

---

[1] 本スキャナをご使用になる場合には、画像圧縮オプションボード(CMP-2)をスキャナ装置内に組み込むことが必要になります。

[2] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定　：　不可
画像回転　：　可
自動傾き/サイズ検出　：　不可
オーバースキャン：　不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可
ジョブ制御　：　可
マルチフィード検出　：　不可
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　不可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

型番　　：fi-4640S

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)

長尺読み取り可（最大：297mm×1387mm，２値白黒のみ）

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

標準ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力　100,150,200,240,300,400dpi

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度：０．９秒以下　(200dpi, A4)

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　　片面　４５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大１００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

または、２９７㎜×１３８７㎜　（長尺帳票読取モード時）

対応定型用紙[2]：　A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横

B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横, ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ

ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出

選択的強調、白黒反転

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

画像処理オプション搭載時

自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り

自動像域分離

インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可

（裏面、印字位置最小　42mm）[1]

最大印字可能文字数４０文字

ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～99999（５桁表示時）

0～16777215（８桁表示時）

印字方向　　上から下，下から上

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ

プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）

両面とじ方向指定　：　不可

画像回転　：　可

自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出

オーバースキャン：　不可

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可

ジョブ制御　：　可

マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）

プレピック制御　：　不可

異常スキュー検出　：　不可

ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　不可

sRGB 出力　：　不可

画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から42㎜の位置に印字されます。

型番　　：M4097D (装置名：fi-4750, VSP330)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可

長尺読み取り可（最大：297mm×1387mm，２値白黒のみ）

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

標準ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力　100,150,200,240,300,400dpi

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度：０．９秒以下　（200dpi，A4）

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　片面　５０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

両面　４５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝９０面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大１００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[2]：　A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横

B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横, ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ

ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出
選択的強調、白黒反転
画像処理オプション搭載時
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
自動像域分離
インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　42mm）[1]
最大印字可能文字数４０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～99999（５桁表示時）
0～16777215（８桁表示時）
印字方向　上から下，下から上
インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定　：　可
画像回転　：　可
自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出
オーバースキャン：　不可
ジョブ制御　：　可
マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　不可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から42㎜の位置に印字されます。

型番　　：fi-4750L

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可

長尺読み取り可（最大：297mm×1387mm，２値白黒のみ）

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

標準ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力　100,150,200,240,300,400dpi

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度：０．９秒以下　（200dpi, A4）

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　片面　５５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

両面　５０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝１００面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大２５０枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[2]：　A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横

B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横, ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ

ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出
選択的強調、白黒反転
画像処理オプション搭載時
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
自動像域分離
インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　42mm）[1]
最大印字可能文字数４０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～99999（５桁表示時）
0～16777215（８桁表示時）
印字方向　上から下，下から上
インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定　：　可
画像回転　：　可
自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出
オーバースキャン：　不可
ジョブ制御　：　可
マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　不可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から42㎜の位置に印字されます。

型番　　：fi-4750C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：3 色 LED による光学切替＋縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)

原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可

長尺読み取り可（最大：297mm×1387mm，2 値白黒のみ）

光源　　：ＬＥＤ　（Ｒ・Ｇ・Ｂ三色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

標準ｶﾗｰ､ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力 50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

フラットベット読み取り速度：　０．９秒以下（200dpi, A4,モノクロ）

３．６秒以下（200dpi, A4,カラー）

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　モノクロ片面　５０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

モノクロ両面　４５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝９０面／分）

カラー片面　１２枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

カラー両面　１１．５枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝２３面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大１００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[2]：A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横 B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横,

ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ横，ﾘｰｶﾞﾙ，ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出、モアレ除去
選択的強調、白黒反転、256 色カラー、8 色カラー
画像処理オプション搭載時
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
自動像域分離

インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　42mm）[1]
最大印字可能文字数４０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～99999（５桁表示時）
0～16777215（８桁表示時）
印字方向　　上から下，下から上

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ

プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）

両面とじ方向指定　：　可

画像回転　：　可

自動傾き/サイズ検出　：　後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン：　可（「黒背景」指定時）

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可

ジョブ制御　：　可

マルチフィード検出　：　可（厚さ・長さ検出）

ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　可（JPEG オプション搭載時）

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　可

sRGB 出力　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から42㎜の位置に印字されます。

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：M3097G[1]

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査（フラットベッド）
　　原稿搬送方式（ＡＤＦ）

光源　　：蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi
　　画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 1600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：スキャナ装置の版数によって一部制限あり

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

読み取り速度：１.３秒以下　(A4, 200dpi)

ＡＤＦ読み取り速度[2]：３６枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大１００枚　（A4，55Kg 連量，上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

ＡＤＦ読み取り速度：３６枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

対応定型用紙[3]：A3，A4 / A4 横，A5 / A5 横，A6 / A6 横，B4, B5 / B5 横, B6 / B6
　　横，ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ横，ﾘｰｶﾞﾙ，ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

コントラスト設定：２５６段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

---

[1] 本スキャナをご使用になる場合には、画像圧縮オプションボード(CMP-2)をスキャナ装置内に組み込むことが必要になります。

[2] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[3] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

画像処理機能：自動二値（簡易方式）
画像処理オプション搭載時
輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー ： 可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定 ： 不可
画像回転 ： 可
自動傾き/サイズ検出 ： 不可
オーバースキャン： 不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 不可
ジョブ制御 ： 可
マルチフィード検出 ： 不可
プレピック制御 ： 不可
異常スキュー検出 ： 不可
ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮） ： 不可
フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー ： 不可
sRGB 出力 ： 不可
画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：M3097DG

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査（フラットベッド）
原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読み取り可、
長尺読み取り可（最大：297mm×700mm，２値白黒のみ）

光源　　：キセノン蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi
画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 800dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

フラットベット読み取り速度：１．３秒以下（A4，200dpi）

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　片面　３６枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)
両面　３０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)
（＝　６０面／分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大１００枚　（A4，55Kg 連量，上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[2]：A3，A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B4, B5 / B5 横, ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ,
ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

画像処理機能：自動二値（簡易方式）
画像処理オプション搭載時
輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー　：　可（フラットベッド読み取り時のみ）
両面とじ方向指定　：　可
画像回転　：　可
自動傾き/サイズ検出　：後端検出
オーバースキャン：　不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可
ジョブ制御　：　可
マルチフィード検出　：　不可
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　不可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

型番　　：fi-4860C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読み取り可

　　長尺読み取り可（最大：297mm×878mm，２値白黒のみ）

光源　　：蛍光灯　（白色）

基本読取密度：４００dpi

読取密度変換：カラー　400, 300, 200，150，100dpi

　　モノクロ　400, 300, 240，200，150，100dpi

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式、誤差拡散方式

カラー（24 bit）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　モノクロ片面　６０枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

　　モノクロ両面　６０枚／分　(200dpi，A4，80g/m^2)

　　（＝１２０面／分）

　　カラー片面　６０枚／分　(150,200dpi, A4, 80g/m^2)

　　カラー両面　６０枚／分　(150,200dpi, A4, 80g/m^2)

　　（＝１２０面／分）

ホッパ容量　：最大５００枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

　　または、２９７㎜×８７８㎜　（長尺帳票読取モード時）

対応定型用紙[2]：A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横,

　　ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。また、カラー読み取り速度はJPEG圧縮時の値です。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

ハイライト／シャドウ設定 ： ２５５段階（カラー、グレースケール時）
ガンマパターン ： 内蔵３種（ダウンロード可能）
画像処理機能：自動二値（簡易，完全）
輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像(二値白黒のみ)、
白黒反転、自動２値化、256 色カラー、8 色カラー
インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小 約 5mm）[1]
最大印字可能文字数４０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲 0～99999（５桁表示時）
0～16777215（８桁表示時）
印字方向 上から下，下から上
プレインプリンタ/ポストインプリンタ切り替え可能
インターフェース：Ｕｌｔｒａ Ｗｉｄｅ ＳＣＳＩ
プレビュー ： 不可
自動傾き/サイズ検出[2] ： 後端検出、自動傾き補正、自動用紙サイズ検出、黒背景
オーバースキャン： 可（「黒背景」指定時）
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 可
ジョブ制御[3] ： 可
マルチフィード検出：可（厚さ・長さ検出）
プレピック制御：可
異常スキュー検出：可
ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時および、両メモリ使用時）
JPEG 転送（装置圧縮） ： 可
フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー ： 可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から約5㎜の位置に印字されます。
[2] 「自動傾き検出」および「自動用紙サイズ検出」は、カラー指定時使用不可。
[3] [キャッシング]の設定で、「スキャナ内メモリ使用」および「両メモリ使用」を選択したときは、[ジョブ制御]は使用できません。

sRGB 出力 ： 不可

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：M4099D (装置名：fi-4990)

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読み取り可

　　長尺読み取り可（最大：297mm×878mm，2 値白黒のみ）

光源　　：蛍光灯　（白色）

基本読取密度：400dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi

　　画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 400dpi（1dpi 単位）

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可　(ただし、200dpi のみ)

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

ＡＤＦ読み取り速度[1]：

　　通常モード

　　片面　９０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

　　両面　９０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

　　（＝１８０面／分）

　　スキャナ内メモリ使用時

　　片面　８０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

　　両面　６０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

　　（＝　１２０面／分）

ホッパ容量　：最大１０００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[1]：　A3, A4/A4 横, A5/A5 横, A6/A6 横, B4, B5/B5 横, B6/B6 横,

　　ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ/ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

画像処理機能：自動二値（簡易方式）

画像処理オプション搭載時

輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転

自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り

インプリンタ（エンドーサ）：エンドーサオプション搭載可

（裏面、印字位置最小　20mm）[1]

最大印字可能文字数３０文字

ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～99999（５桁表示時）

0～16777215（８桁表示時）

（スキャナ装置の版数により、一部制限あり。）

印字方向　上から下のみ

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ

プレビュー　：　不可

両面とじ方向指定　：　可

画像回転　：　可

自動傾き/サイズ検出　：後端検出、自動傾き補正

オーバースキャン：　不可

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　可

ジョブ制御[2]　：　可

マルチフィード検出：可（厚さ・長さ検出）

プレピック制御　：　不可

異常スキュー検出　：　不可

ブランクページスキップ　：可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時および、両メモリ使用時）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から20㎜の位置に印字されます。

[2] [キャッシング]の設定で、「スキャナ内メモリ使用」および「両メモリ使用」を選択したときは、[ジョブ制御]は使用できません。

sRGB 出力 ： 不可

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：fi-4990C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読み取り可

長尺読み取り可（最大：297mm×878mm，２値白黒のみ）

光源　　：蛍光灯　（白色）

基本読取密度：４００dpi

読取密度変換：カラー　400, 300, 200，150，100dpi

モノクロ　400, 300, 240，200，150，100dpi

読取階調　：１０ｂｉｔ　１０２４階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式、誤差拡散方式

カラー（２４ｂｉｔ）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[1]：

スキャナ内メモリ使用時、通常モード（モノクロ）

片面　９０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

両面　９０枚／分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝１８０面／分）

ホッパ容量　：最大１０００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

または、２９７㎜×８７８㎜　（長尺帳票読取モード時）

対応定型用紙[2]：A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横,

ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ，ﾚﾀｰ横，ﾘｰｶﾞﾙ，ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ハイライト／シャドウ設定　：　２５５段階（カラー、グレースケール時）

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

ガンマパターン ： 内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易，完全）、
輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像(二値白黒のみ)、
白黒反転、自動２値化、256 色カラー、8 色カラー

インプリンタ（エンドーサ）：エンドーサオプション搭載可
（裏面、印字位置最小 20mm）[1]
最大印字可能文字数３０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲 0～99999（５桁表示時）
0～16777215（８桁表示時）
（スキャナ装置の版数により、一部制限あり。）
印字方向 上から下のみ

インターフェース：Ｕｌｔｒａ Ｗｉｄｅ ＳＣＳＩ

プレビュー ： 不可

両面とじ方向指定 ： 可

画像回転 ： 可

自動傾き/サイズ検出[2]： 後端検出、自動傾き補正、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン： 可（「黒背景」指定時）

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 可

ジョブ制御[3] ： 可

マルチフィード検出：可（厚さ・長さ検出）

プレピック制御 ： 不可

異常スキュー検出：可

ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時および、両メモリ使用時）

JPEG 転送（装置圧縮） ： 可

フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー ： 可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から20㎜の位置に印字されます。
[2] 「自動傾き検出」および「自動用紙サイズ検出」は、カラー指定時使用不可。
[3] [キャッシング]の設定で、「スキャナ内メモリ使用」および「両メモリ使用」を選択したときは、[ジョブ制御]は使用できません。

sRGB 出力 ： 不可

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 不可

型番　　：M3099G / M3099GX

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読み取り可

光源　　：蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：200dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi

画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 400dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：不可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　<M3099G>

片面　５５枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

両面　５０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

（＝　１００面／分）

<M3099GX>

片面　６０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

両面　５０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

（＝　１００面／分）

ホッパ容量　：　<M3099G>

最大５００枚　（A4, 55Kg 連量, 上質紙, 常温常湿）

<M3099GX>

最大１０００枚　（A4, 55Kg 連量, 上質紙, 常温常湿）

原稿サイズ　：２９７㎜×４３２㎜　（最大）

対応定型用紙[2]：A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横, B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横,

ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

---

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

下地追従　：　可
明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階
ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）
画像処理機能：自動二値（簡易方式）
画像処理オプション搭載時
輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転
自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り
インプリンタ（エンドーサ）：エンドーサオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　20mm）[1]
最大印字可能文字数２０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～65535（５桁表示）
印字方向　　上から下のみ
インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ
プレビュー　：　不可
両面とじ方向指定　：　可
画像回転　：　可
自動傾き/サイズ検出　：　不可
オーバースキャン：　不可
スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可
両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可
ジョブ制御　：　可
マルチフィード検出　：　不可
プレピック制御　：　不可
異常スキュー検出　：　不可
ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）
JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可
フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ
ドロップアウトカラー　：　不可
sRGB 出力　：　不可
画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から20㎜の位置に印字されます。

型番　　：M3099GH

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式（ＡＤＦ）、両面同時読み取り可

光源　　：蛍光灯　（緑色）

基本読取密度：200dpi

読取密度変換：標準　400, 300, 240, 200dpi

画像処理ｵﾌﾟｼｮﾝ搭載　50dpi ～ 400dpi（1dpi 単位）

読取階調　：８ｂｉｔ　２５６階調

グレースケール（８ｂｉｔ）出力：不可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　片面　８０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

両面　６０枚／分　(200dpi, A4, 55Kg)

（＝　１２０面／分）

ホッパ容量　：最大１０００枚　（A4，55Kg 連量、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：２１６㎜×３５６㎜　（最大）

対応定型用紙[2]：　A4 / A4 横, A5 / A5 横, B5, B6 / B6 横，ﾚﾀｰ, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：　可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定　：　２５５段階

ガンマパターン　：　内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）

画像処理オプション搭載時

輪郭強調、輪郭抽出、自動像域分離、鏡像、白黒反転

自動２値化、スムージング、フィルタリング、ごみ取り

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

インプリンタ（エンドーサ）：エンドーサオプション搭載可
（裏面、印字位置最小　20mm）[1]
最大印字可能文字数２０文字
ｶｳﾝﾀ表示範囲　0～65535（５桁表示）
印字方向　　上から下のみ

インターフェース：ＳＣＳＩ－Ⅱ

プレビュー　：　不可

両面とじ方向指定　：　可

画像回転　：　可

自動傾き/サイズ検出　：　不可

オーバースキャン：　不可

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ　：　不可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ　+　ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ：　不可

ジョブ制御　：　可

マルチフィード検出　：　不可

プレピック制御　：　不可

異常スキュー検出　：　不可

ブランクページスキップ　：　可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用時のみ）

JPEG 転送（装置圧縮）　：　不可

フィルタ機能　：　縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー　：　不可

sRGB 出力　：　不可

画像処理ソフトウェアオプション使用　：　不可

[1] ｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀの印字位置で0㎜を指定した場合、原稿先頭から20㎜の位置に印字されます。

型番　　：fi-5650C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可

長尺読み取り可（解像度 400dpi 以下）

２値白黒/グレースケール/カラー時：最大　305mm×864mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：600dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

標準ｶﾗｰ､ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力 50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：10bit　1024 階調

グレースケール（8bit）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（24bit）出力　　：可

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　モノクロ片面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)

モノクロ両面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝110 面/分）

カラー片面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)

カラー両面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)

（＝110 面/分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大 200 枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：最小　53mm × 74mm

最大　297mm × 432mm

対応定型用紙[2]：A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横 B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横,

ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従　：可

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

[2] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定 ： ２５５段階

ハイライト／シャドウ設定 ： ２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン ： 内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出、モアレ除去
選択的強調、白黒反転（2 値白黒、グレースケール時）、256 色
カラー、8 色カラー

インプリンタ（エンドーサ）：インプリンタオプション搭載可
（裏面、印字位置最小 5mm）[1]
最大印字可能文字数 40 文字
カウンタ表示範囲 0～99999（5 桁表示時）
0～16777215（8 桁表示時）
印字方向 上から下，下から上
フォント向き 縦，横 太字フォント対応

インターフェース：SCSI-Ⅱ、USB2.0

プレビュー ： 可

両面とじ方向指定 ： 可

画像回転 ： 可

自動傾き/サイズ検出 ： 後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン： 可（「黒背景」指定時）

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 可

ジョブ制御 ： 可

マルチフィード検出 ： 可（重なり・長さ検出）

プレピック制御 ： 可

異常スキュー検出 ： 不可

ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用、両メモリ使用時）

JPEG 転送（装置圧縮） ： 可

フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー ： 可

sRGB 出力 ： 可

[1] インプリンタの印字位置で0mmを指定した場合、原稿先頭から5mmの位置に印字されます。

画像処理ソフトウェアオプション使用　：　可

型番　　：fi-5750C

形式　　：デスクトップ

読み取り方式：カラーCCD、縮小光学系

動作方式　：原稿固定、読取ユニット移動走査(フラットベッド)、
原稿搬送方式(ＡＤＦ)、両面同時読み取り可
長尺読み取り可（解像度 400dpi 以下）
２値白黒/グレースケール/カラー時：最大　305mm×864mm

光源　　：白色冷陰極管

基本読取密度：600dpi

読取密度変換：標準二値出力　　50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）
標準ｶﾗｰ､ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ出力 50dpi ～ 600dpi（1dpi 単位）

読取階調　：10bit　1024 階調

グレースケール（8bit）出力：可

中間調　　：ディザマトリクス方式（ダウンロード可能）、誤差拡散方式

カラー（24bit）出力　　：可

フラットベット読み取り速度：　0.9 秒以下（200dpi, A4,モノクロ）
0.9 秒以下（200dpi, A4,カラー）

ＡＤＦ読み取り速度[1]：　モノクロ片面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)
モノクロ両面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)
（＝110 面/分）
カラー片面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)
カラー両面　55 枚/分　(200dpi，A4，55Kg)
（＝110 面/分）

ＡＤＦ給紙シュート容量：最大 200 枚　（A4，80g/m^2、上質紙，常温常湿）

原稿サイズ　：最小　53mm × 74mm
最大　297mm × 432mm

[1] 本速度はスキャナ装置単体の仕様ですので、システムの構成などにより実際の読取速度は異なる場合があります。

対応定型用紙[1]： A3, A4 / A4 横, A5 / A5 横, A6 / A6 横 B4, B5 / B5 横, B6 / B6 横,
ﾀﾞﾌﾞﾙﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ, ﾚﾀｰ横, ﾘｰｶﾞﾙ, ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ / ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ横

読取領域指定：有り（１ヶ所）

下地追従 ： 可

明るさ／スレッシュホールド／コントラスト設定 ： ２５５段階

ハイライト／シャドウ設定 ： ２５５段階（カラー、グレースケール時）

ガンマパターン ： 内蔵３種（ダウンロード可能）

画像処理機能：自動二値（簡易方式）、輪郭強調、輪郭抽出、モアレ除去
選択的強調、白黒反転（2 値白黒、グレースケール時）、256 色
カラー、8 色カラー

インターフェース：SCSI-Ⅱ、USB2.0

プレビュー ： 可

両面とじ方向指定 ： 可

画像回転 ： 可

自動傾き/サイズ検出 ： 後端検出、自動用紙サイズ検出、黒背景

オーバースキャン： 可（「黒背景」指定時）

スキャナ内メモリ使用によるキャッシュ ： 可

両メモリ（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ + ｽｷｬﾅ内ﾒﾓﾘ）使用によるキャッシュ： 可

ジョブ制御 ： 可

マルチフィード検出 ： 可（重なり・長さ検出）

プレピック制御 ： 可

異常スキュー検出 ： 不可

ブランクページスキップ ： 可（ﾎｽﾄ PC 内ﾒﾓﾘ使用、両メモリ使用時）

JPEG 転送（装置圧縮） ： 可

フィルタ機能 ： 縁消し、デジタルエンドーサ

ドロップアウトカラー ： 可

sRGB 出力 ： 可

画像処理ソフトウェアオプション使用 ： 可

[1] 用紙の厚さや材質により、すべての原稿を正常に搬送できることを保証している訳ではありませんので、用紙の条件などについては、ご使用の装置の取扱説明書などをご参考ください。なおその他の用紙ｻｲｽﾞに関しては、ｶｽﾀﾑ設定をご使用していただくことが可能です。

8.2. 保守サービスについて

保守サービスの上手な受け方について、簡単に説明します。

スタッフはあなたのそばにいるわけではありません。つまり、「読み取りがうまくできません」などといった、漠然とした質問をいただいても回答できないことを理解していただきたいのです。

そこで、必要な事項をあらかじめ書き出しておくとスムーズに保守サービスを受けられることになります。

以下に、問い合わせのポイントを記述しておきます。

（各項目はわかる範囲で結構です）

・本製品のシリアル番号、バージョン、日付など。

・使用しているイメージスキャナの名称や品番など。

・使用しているイメージスキャナのオプションの有無。

・使用しているコンピュータのメーカ・品名・型番。

・Windows® のメーカとバージョン。（アップデートしたかどうかなど）

・ディスプレイドライバの名称とバージョン。

・プリンタドライバの名称とバージョン。

・画面の解像度（1024x768 とか）や色数、ドット数（またはポイント数）。

・SCSI アダプターの品名、SCSI ドライバの名称、バージョン。(SCSI 接続の場合)

・USB コントローラの名称、およびドライバのバージョン。(USB 接続の場合)

・障害が発生する手順。（できるだけ簡単な手順で発生させることができると、解決が早くなることがあります）

保守サービスを受ける前に、今一度設定などを確認してみてください。

・電源は入れてありますか？

・ケーブルはきちんと接続されていますか？

・正しいイメージスキャナドライバを選択されていますか？

FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ／ユーティリティ

“Scanner Utility for Microsoft® Windows®”

取扱説明書

〈32bit 版〉

2004 年 5 月　　初版発行

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2004

●本書は、改善のため事前に連絡なしに変更することがあります。

●本書に記載されたデータの使用に起因する第三特許権その他の
権利については、当社はその責任を負いません。

●本書を無断で他に転載しないようにお願いいたします。